

**第4次日向市地域福祉計画策定のための
関係団体紙面インタビュー調査
結果報告書**

**令和4年10月
日向市**

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
◎組織・団体について.....	2
1 活動状況について.....	5
2 これからの日向市の地域福祉のあり方について.....	48
3 地域福祉に関連する取り組みや制度について.....	70

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、関係団体等の皆様に福祉についてのお考えやご意見を伺い、「第4次日向市地域福祉計画」策定のための基礎資料とさせていただくことを目的に実施しました。

2 調査概要

- ◇調査対象者：日向市内の地域福祉に関わる団体
- ◇調査期間：令和4年8月3日（水）～8月17日（水）
- ◇調査方法：郵送、メール、FAXでの配布・回収による本人記入方式

3 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
353件	190件	53.8%

4 報告書の見方

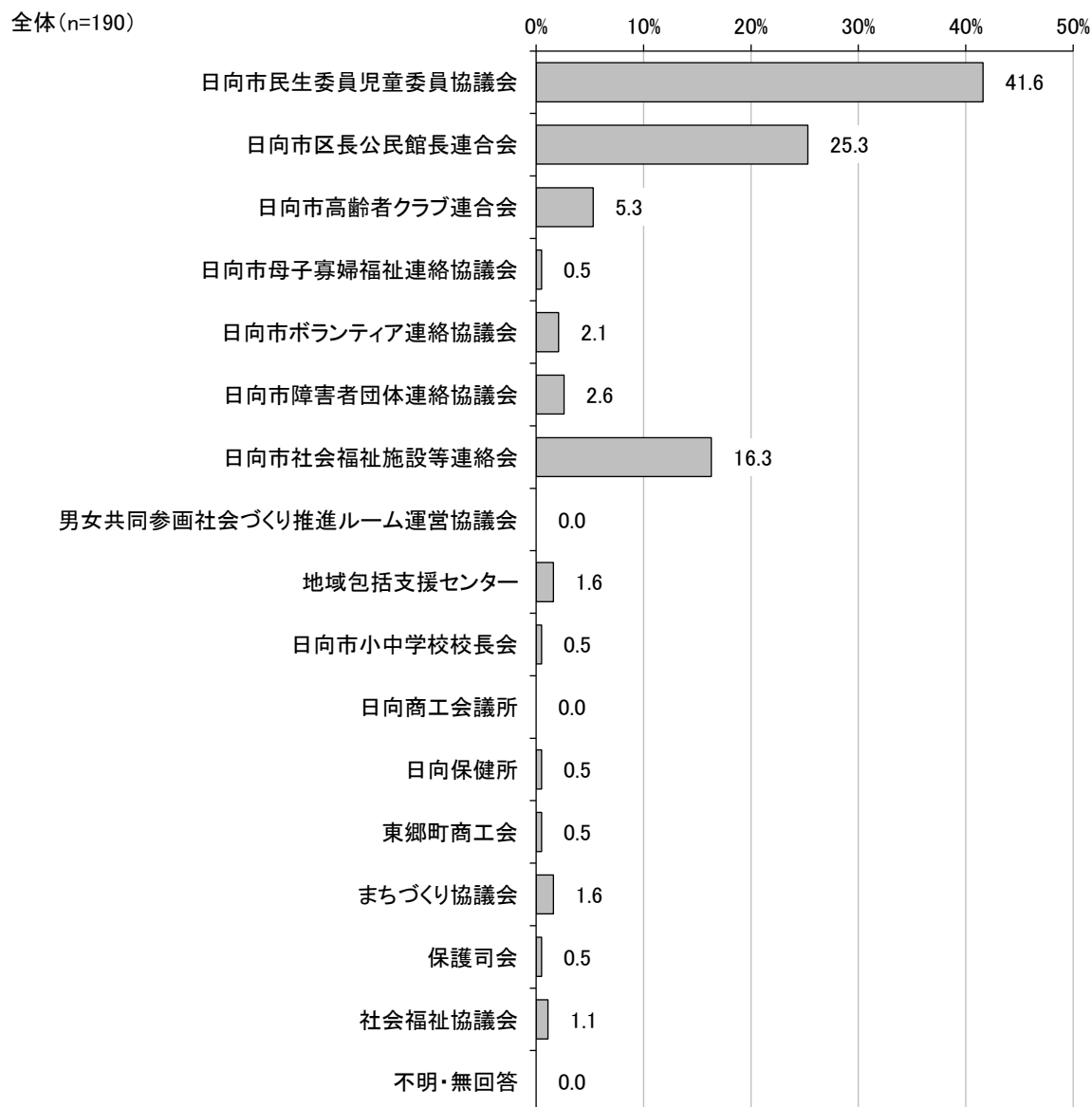
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位に網掛けをしています。

Ⅱ アンケート調査結果

◎組織・団体について

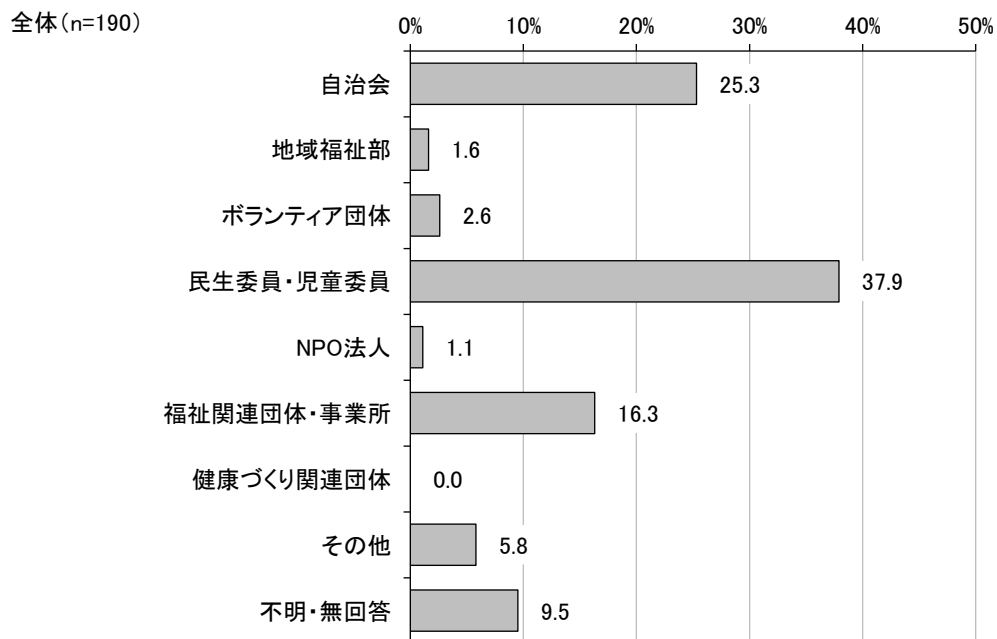
①組織・団体名

組織・団体名についてみると、「日向市民生委員児童委員協議会」が41.6%と最も高く、次いで「日向市区長公民館長連合会」が25.3%、「日向市社会福祉施設等連絡会」が16.3%となっています。



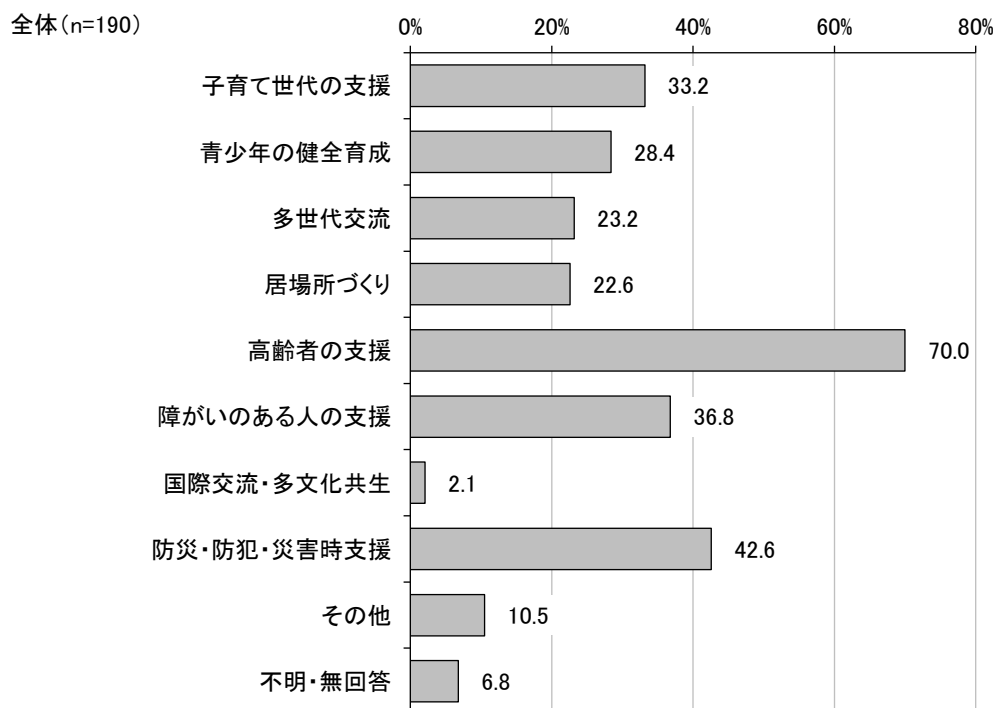
②組織形態

組織形態についてみると、「民生委員・児童委員」が37.9%と最も高く、次いで「自治会」が25.3%、「福祉関連団体・事業所」が16.3%となっています。



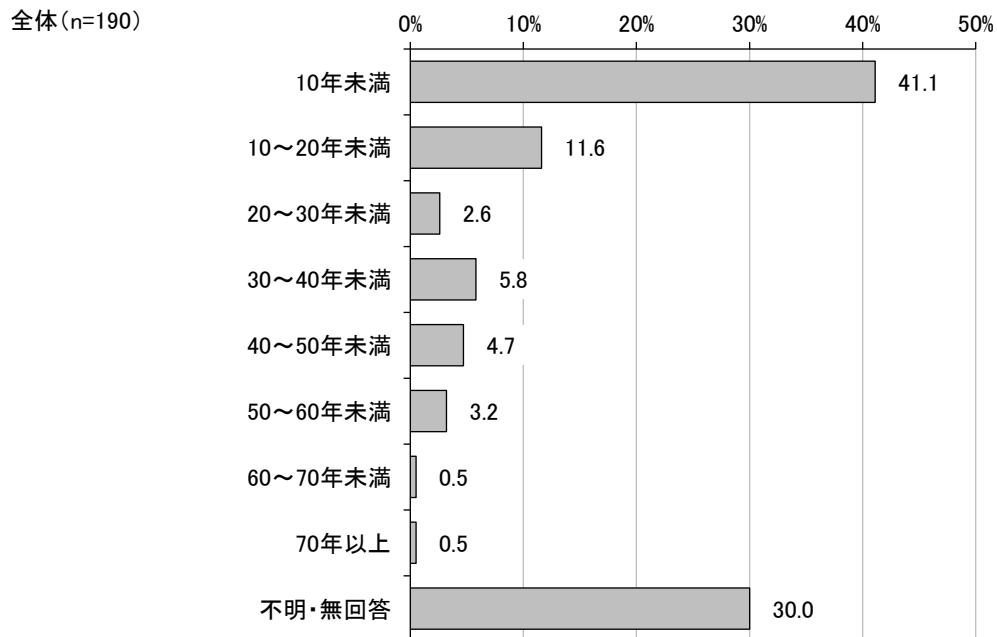
③活動の分野（あてはまるものすべてに○）

活動の分野についてみると、「高齢者の支援」が70.0%と最も高く、次いで「防災・防犯・災害時支援」が42.6%、「障がいのある人の支援」が36.8%となっています。



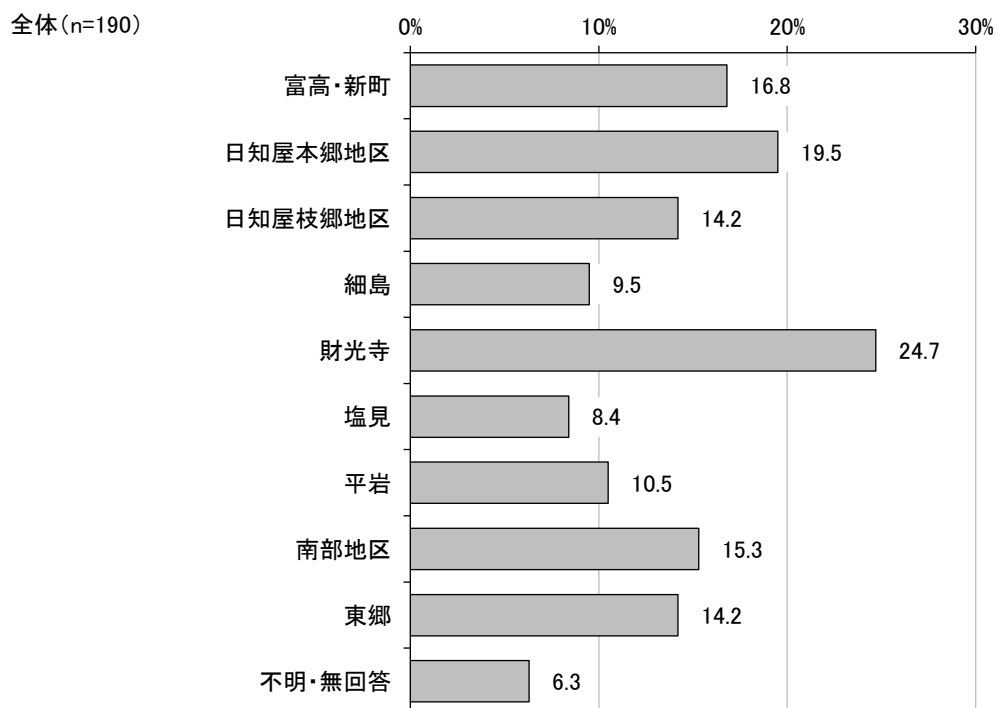
④活動年数

活動年数についてみると、「10年未満」が41.1%と最も高く、次いで「10～20年未満」が11.6%、「30～40年未満」が5.8%となっています。



⑤活動している地区（あてはまるものすべてに○）

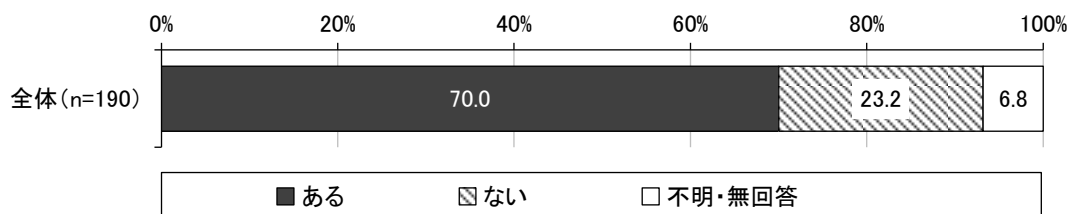
活動している地区についてみると、「財光寺」が24.7%と最も高く、次いで「日知屋本郷地区」が19.5%、「富高・新町」が16.8%となっています。



1 活動状況について

問1 普段活動をされている中で、地域の人々から日常の困りごと、地域の問題などをお聞きになることがありますか。

普段活動している中で、地域の人々から日常の困りごと、地域の問題などを聞くことがあるかについてみると、「ある」が70.0%、「ない」が23.2%となっています。



【団体別クロス】

上段: 件数 下段: %	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	133 70.0	44 23.2	13 6.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	58 73.4	16 20.3	5 6.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	36 75.0	7 14.6	5 10.4
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	5 50.0	1 10.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	19 61.3	12 38.7	0 0.0
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

■ 具体的な内容

高齢者からの日常生活についての相談が多い。身体のこと、病院での検査の結果など。
①ゴミを燃やし臭いがする。ビニール②床下に水が流れてくる。市の係りの方がみえて富士山の水は止められない。住宅ができて水の流れが変わったと思います。水の逃げ道をつくれればいい。
住民の高齢化が進み役員のなり手がいない。何をすることも車が必要で、乗り合いで参加するのが一番なのですが、運転手も高齢で事故の保障を思うと「乗せて行くよ」と言えない。
ごみを出すのに、ひとりで出すのが困難（ごみ出し場が少し離れているため）。同じ敷地内に住んでいる子どもとのコミュニケーションがうまくとれていない様だ（近所の方からの相談）。
独居高齢者となったための今後の生活に対する不安について。施設への入所関係について（介護施設）。免許返納後の移動などについて。
身体のこと。文書が届いて、内容がよくわからない。
ひとり暮らしの方で物盗られ妄想で年に2、3回、何を盗られた、写真盗られている、いつも家の鍵をあけられる。本人には自覚がないので、すぐに来て欲しいとの電話があります。
2年6ヶ月の内2年位、足が悪いので市・県営住宅には入れないだろうか？現在アパート2階に住んでいる。認知（姉）になったみたいだけどどうしたらよいか（妹からの相談）。
高齢者の方から災害時の避難について。高齢者の方から健康面、介護などについて。子どもに関する「189」などの件について。
ヘルパー利用希望。郵便物の内容確認。生活が困窮（年金だけでは…働きたいが…）。生活環境。ひとり世帯（高齢者）同世代の方々との交流がほしい。
近くのコミュニティセンターが閉館により勝手が悪くなった。
区画整理で道路に側溝の蓋がないため、児童の登下校時が危険である。
ひとり暮らしの施設、デイサービスへのすすめ、女性は何回かで説得に応じますが、男性はすごく時間がかかります。
高齢になり、日常生活が困難になったので、福祉のお世話になりたい。
未就労の方の経済的不安。仕事がなく、50代の男性の生活困窮。自治会、高齢者クラブの会員減と活動のパターン化（コロナ禍もあるのですが…）。
産業廃棄物の撤去、道路の不備など。独居高齢者の生活上の困りごと。
軽い認知症ではないか？とかの問い合わせ。徘徊者の声かけ、見守り。家庭での困りごととも話される。
近隣トラブル（洗濯時に使用する柔軟剤の臭いが強くて食事もできないと文句を言われた）。顔を合わせても無視される。
近所の庭木の剪定などについて。
ひとり暮らし高齢者で身体的（認知症もあり）不自由になっており、この先どうしてよいかと相談される（家族も市内にいて、それなりの対応はしているが…）。
ゴミの私有地投棄。近隣との喧嘩トラブル。近隣との浮気妄想、相談。多頭猫の異臭とか始末など。
隣との境の木についてトラブルがあったと高齢者の人から聞いた。
台風などでの避難方法。ひとり暮らし者への支援方法。姉妹の陰悪。
私の担当している地域のひとり暮らしの高齢者の方は、娘さんや息子さんが市内や門川町に住んでいるので、何かあったら電話したら30分程で来てくれるから大丈夫です！ってことです。

隣との考え方の違いのもめごと。グランドゴルフでの友人関係。
免許返納した結果、交通の便が悪くて不便。庭の草刈り、剪定が大変。
生活保護の利用者のお金が足りないことがある。
二世帯同居で住んでおられて義父（91歳）が家の中でも非常に強く、お嫁さん（50歳代）が困っておられます。私は只々相談を受けるだけしかできないのでその先が見えません。
自宅で倒れた。その人は車（タクシー）を呼んだそうです。そのために交通費がすごく負担であったと、私に伝えました。
土地問題。
高齢者の買い物支援、及び通院が特に多い。また、家庭内外の支援。
空き家、草木繁茂（居住地環境）。猫の害（居住地環境）。健康への不安。
自家用車の爆音。排便。ゴミの不法投棄など。駅前の交番に対応してもらった。
免許証の返納後、通院、買い物など不便を感じる。コロナ禍で人とのコミュニケーションの場が減少した。
高齢者の日常生活の支援、見守り。
ひとり暮らしの資源ゴミの日（月2回）を手伝っている。自宅まで行って資源場所に置くこと。
ゴミステーションの件他。防犯灯の件。
子育ての悩み。不登校。
高齢者の独居での緊急時の不安、ひきこもり世帯への対応。災害時の避難の際の不安。認知症高齢者を持つ家族の悩み。犬の鳴き声の苦情や猫の問題。
買い物（特に日用雑貨の大きいもの、重いものなど）車に乗らない高齢者。ひとり暮らしの孤独感。
主任児童委員のため、地域（各区）の中でいろいろ相談するようなことはできません。
猫の子どもがいる。崩れかけた家がある。ひとり暮らしで先が不安。介護の不安。
①ゴミ屋敷の悪臭の件。②生活困窮にて、その対策について。
通院。買物。
時間の余裕がない。仕事をしています。
隣人がひとり暮らしの高齢者を心配して連絡をされるが、本人は「元気で大丈夫です」と言われる。見たところ元気そうである。
①ひとり暮らし高齢者（家庭ゴミ処理について）②防災面（台風接近時の避難場所について）
病気で仕事ができない生活が苦しい。でも生活保護は受けたくない。
小学生の通学路の安全について、道路の片側が岩でその上に家に、ブロック壁があり、保護者から岩に亀裂はないか、ブロック壁が崩れ落ちてこないかの相談があり、市に相談。すぐに動いて調査して下さいました。まだ完全に払拭されたふうではありませんが、今のところはという事です。通学路の安全を。
独居老人の見守り（認知症）。
健康。介護施設利用するには、についてなど。
金の問題や近所の人のこと。
ひとり暮らしで子どももいなく入院したが、医療費が払えない。どうしたらよいかとのことや土地の境界についての争いごとの相談。デイサービスで施設内におけるメニューに対する不満。住民税非課税世帯への臨時特別給付金の申請など。

生活が大変で相談をうけたら、その内容によって包括か福祉課へ一緒に行く。
病院へ行くのに一緒に行ってもらいたい。車の運転できないため。
独居の方への見守りのあり方。未加入者世帯と区との関係。
民生委員への不満（親を残し村には居ない人から）。
近所間の騒音問題。空き家（シロアリ、撤去）対策。支障木の撤去など。
クリーンステーションの設置個所が少ない。ゴミ分別のマナーの低下（区に参加されていない方など）。
細島コミュニティセンターが使用できないので、色々な活動ができない（百歳体操、サロン、地区会、その他会合）。
独居高齢者の交流。
資源ゴミ、家庭ゴミ対応（不法投棄、不満のゴミ出し対応、猫、カラス、トビ、タヌキなどによる食い荒らし）。市・県道の凸部分や側溝蓋などの修繕、里道（階段）の改修相談、所有者不在の空地の雑草処理、空き家対策。日常食料品買い物弱者の交通手段相談など。
ゴミ関連、道路状態。および大型車通行による振動、騒音、空き家空地の雑草問題、公園内のポイ捨てなど。
高齢化に伴い発生する問題（生活支援、認知症、孤独死、引きこもりなど）。
通学路の路盤状況。幹線横断時の交通情報。高齢世帯の自治会活動について。
ひとり暮らし高齢者の交通手段。プラットバス経路から遠い所に住んでいる人からの不便の相談。
石櫃山の立木が大きく成長して、山の西側の住宅には朝日が当たるのが遅くなり、洗濯物も乾きが悪くなる。台風などの時には木々の枝や木、葉などが中庭に舞い散り苦慮している。何とか日向市にお願いしたい。
ゴミ不法投棄やカラスなどのゴミ荒らし、街灯の破損、雑草などの苦情。
道路の穴ぼこの修理、公園の立木の毛虫の駆除。避難通路の階段部分にスロープを設置など。班長のなり手が少なくなっている。地区の高齢化。
高齢社会になり、次の人がいない（役員になる方）。アパートの人達の区加入が、難しい。
ゴミステーションの件。近所の騒音の件。地区内の悪臭の件。
高齢者のひとり暮らしで不安である。
高齢化の加速化により集落維持が困難になりつつあること。コロナ禍による住民同士のふれあいの減少など。交通の不便解消への対策強化。
①捨て猫対策②特定空き家対策
①除草、剪定②買い物③交通移動手段④防災、避難⑤経済（お金）⑥理容⑦病院の受付（順番取り） ←免許返納したが、病院が遠く順番取りに行けない。
①ルール違反のゴミ②庭木の越境③駐車車輛④発達障がい児への理解を深めてほしい。
地区内の高齢者が多く、夫婦または独居老人が多くコロナで交流がなく寂しい思いをしている人が多い。買い物など不便。
自治会と行政の連携のあり方。ボランティアゴミ、および困りごとの対処（対応）が要望に沿って無い。
ゴミ出し、ゴミ置き場に関して。公園清掃（年々参加者が減少）。防犯灯の設置基準。通学路の草刈りと整備。区への加入推進。

ごみの取り扱い。行事の参加。
隣人とのトラブル。ゴミ出し問題。
防災、災害時支援。居場所無い。
高齢者が時間の経過と共に手足などの不自由を感じるようになっている。活動のための移動問題。 (ゴミ問題) ゴミステーション、当区と隣区アパートの非加入世帯) 同じ所を出している。意思疎通ができないので毎回分別していないゴミが残り困っている。色々と知恵を出してはいるが、まだ改善されていない。など色々。
地域の高齢化が進む中、公共交通が限られ、買い物、病院に移動が困難。
環境問題。高齢者による班脱会。若い方の自治会参加の減少。
文書などが届くと、自分で理解できない人がある。区のルールを守ってくれない。特に70歳以上の 人、自分が一番と思っている。
地域活動の連絡が地域(区)住民全員にとれず、ほとんどの活動の参加者(協力者)が少ない。 クリーンステーションのこと。
1. ゴミ出しのマナーが守られていない(プラと生ゴミが一緒くたに出されたり、分別していないためカラスの害が後を絶たない)。2. 大雨時に排水溝が詰まる。3. 空地の樹木が生い茂り、通行の妨げになるなど。
雑草刈り。樹木剪定、年1件位。
地域全体としてのコミュニケーションづくりの減少、個性化、多様化などでより難しくなった。
高齢者の突然の病院への入院。および施設への入所、怪我などの世話、不審電話などの言及。 以前民生児童委員を12年やっており、介護相談、高齢者活動、家族関係について相談がある。
コロナ禍で疲れ切った母子世帯の貧困問題、介護や育児の問題の深刻さは私達の組織ではもはや限界にきていると思う。
地域の人々ではありませんが、聴覚障がい者からの相談。
スーパーなどのセルフレジが億劫である。掃除やゴミの片づけができない。スマホなど新しい技術についていけない。買い物に行くための交通手段が限られている。自宅の補修を手伝ってほしい。など。
将来のこと、老後、終の住処などについて。高齢者の独居。
1. 障がい者福祉関連①差別、虐待について②障がい年金③預貯金の払い出し。2. 自治区に「地域福祉部」をつくってほしい。
高齢者の通院。
雑談的に話せる場がほしい。
施設利用者のご家族が面会にバスを利用してお越しになりますが、バスの便が少なく帰ることに困っている。
ひとり暮らしの方より災害時の対応について、特に大雨、台風時: どうなったときに、どのような判断、行動をすればよいか。
法人全体で0歳から高齢障がい者の支援をしているため、障がいに関する様々な相談を各部署で受けている。
近隣の園へ入園できず、遠方の園への通園を余儀なくされている。

田の原地区にある当事業所では地域住民の声を聴くことが多いです。一つは高齢者の交通手段についてです。プラッとバスは毎日運行されていないこともあり利用しにくいとのことでした。
子育てのこと。
地域の移動に伴う課題。生活に伴う課題（手続きが理解できないなど）。家族などの問題（親なき後のこと、家族の介護など）。世の中の便利さ（タッチパネルで注文できない。スマホなど）についていけない。
日知屋小学校の学校運営協議会委員をしています。その中で、不登校の問題や家庭的に支援が必要と思われる件などを耳にします。
長期休暇時の学童保育。
災害（水害・津波）発生時など、高齢者が安全に避難できる場所が近くにない。
区の公民館（大王谷亀崎東区）に入る習い事（公文、そろばん）を利用する子ども達が、保護者の迎えを待つ間、駐車場で遊んでいることが多く、児童館利用の児童クラブの保護者が迎え時に「危ないので何とかしてほしい」との相談がある。児童館の活動そのものに支障があるわけではない。
①在宅で介護をしてあげたいができない（理由：老々会議で介護力が無い。就労があり介護する時間が確保できない。身内が近くにいない。医療依存度が高い。経済的負担。など）②災害時の連携（津波避難所、福祉避難所などとして）
中山間地であるため、在宅支援サービスが受けにくい。また、移動手段が無いため近隣との交流やコミュニケーションが取りづらく引きこもりになりがちである。高齢者世帯が多い。
①育児休暇後に仕事に復帰したいけれど、保育所の入所枠が空いておらず子どもを預けられず困っている。②特養に入所できず、有料老人ホームの入所では経済的な負担が大きく生活が厳しい。
高齢者の介護の問題。高齢者虐待問題。貧困問題。地域課題（高齢者の移送サービス）。
高齢者に関わる介護、医療問題。高齢者に関わる買い物や受診などの移動問題。高齢者に関わる経済的問題。
生徒の障がい特性に向き合った福祉事業所が少ない。生活介護事業所、グループホーム。肢体不自由などの子ども達が、訓練を行う場所がほとんどない。
移動手段がない（公民館、スーパー）。集いの場が少ない。
移動手段が乏しい。
放課後子ども教室のサポーターのみなさんから本校の子どもへの関わり方が難しい。うまくいかないという話をよく聞きます。
精神疾患を持つ方（持っていると思われる方）への関わり方での相談があります。
通院や買い物の輸送の支援。
「塩見はいいところだけど、（調整区域の関係で）家を建てることができない」など。
普段居住していないところで、隣近所が高齢者ばかりになっており共助が困難になってきている。
罪を犯した家族の一員の更生の悩みや立ち直りの具体的な方法など。
移動手段。道路のゴミと住宅の雑草。
免許返納後の移動や買い物へ行くことが難しい。下肢力低下のため地域の集いの場所へ行くことが難しくなった。自治会へ加入しないことで地域のつながりの希薄化が進んでいる。役職のなり手不足。

問2 その中で、あなた(または貴団体)が対応できること、また、あなた(または貴団体)だけでは対応できないことはどのようなことがありますか。

■対応できること

年をとると身体のこといろいろ不安であり人には言えない結果のことなど話す。笑顔で話を聞くことで心の悩みがとれるとのこと。
ゴミを燃やす臭いについては、市にTELをかける。
家族にお願いする。会員を集めること。
市の清掃課に連絡し返答を相談者に伝える。時々家の方を訪ね、声かけをする。
話を聞いてあげて不安を軽減させること。補助金などを活用して、手すりなどの取付けに助言してあげること。
自分が知っていることを言う。でもそれが適切か？正確かどうかは？
その度に一時間位ゆっくり話しを聞いてあげます。調子が悪い時(身体に異変がある時は何度か包括などに連絡をした)。
市・県営の申し込み用紙を用意してあげた。包括センターに何度も相談に行って対応してもらった。
話を聞いてあげること。高齢者、親子会など近隣とのトラブル。
専門機関へ繋いだ。
関係機関に相談した。現地調査を行い優先して対応する。
あきらめないで通うことです。
状況を把握し、関係機関につなぐ。
事例やクライアントに寄り添うこと、伴走すること。横のつながり、関係機関へのつなぎ。
地域内の問題は区の担当役員へつなぐ。独居高齢者の困りごとを聞いてできることはするが。
気軽に声かけし、家迄誘導したりしている。
福祉関係団体へ相談する。
日常の定期的なゴミ出しで訪問し安否の確認はしている。変わったことがあれば家族、包括支援センターへ連絡している。
高齢者支援、子ども支援など、相談窓口や包括支援センターがあるので相談した。
避難支援。
時々訪問して安否確認しながら民生委員を活用することがあったら、いつでも電話してください！ って、名刺を渡して連絡を取っております。
お互いを思い合って笑顔で話しかけてみてはと、どちらかが大人になって下がって話し合おうと… うまく両方に話しかけ落ちついたことかなあ〜。
日常のちょっとした困り事(資源ごみ回収、電球取り替え、買い物支援)。区の福祉部へのつなぎ (有償ボランティア)。
お嫁さんのお話を聞いてあげただけです。
それぞれあてられた所にTELなどします。
両者の話し合い。
大王谷区では福祉部を立ち上げ機能している。
家の住民がいて自分では樹木の剪定等ができない人への支援。ゴミ出しなどの支援。

少人数での百歳体操の実施。
関係機関に相談し、その人にあった支援をお願いする定期的な見守り。
住んでいる区域の相談があったときは、区長に連絡している。
ゴミステーションの件。防犯灯の件。
市役所の市民課に取次いでもらった。
前段で困りごと内容をお聞き、機関毎につないでいきます。
登校時の見守り。学校との連携。
相手のことに真剣になり考えてみる。
認知症症状のある高齢者に対する支援～地域包括化支援 C につなぐ。高齢者の話し相手になり対応について検討する。災害時への日頃からの備えについて一緒に考え、台風などの際、状況確認をしている。
見守り。買い物に誘い、一緒に買い物をする。交流できるサロンの開催。
どこ、誰に相談したらよいか伝える。
生活困窮については、事情を聞き、すぐに福祉課へ連絡し対応を依頼した。
自分の買い物ついでに。
ときどき見守りをする。話を聞く。その様子を包括センターに連絡する。
ひとり暮らし高齢者のゴミ処理については、環境生政策課、社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携して対応した。台風接近時の避難場所については、福祉課、防災推進課、家族との情報交換を密に行った。
安否の確認とたまに差し入れをすること。
地域の方に問い合わせ（その時の区長さんをはじめ子どもさんのいない方にも）現状を知る（皆さん危ないと思っていた災害が起こるかも）。
週一くらいの見守り。
いきいきサロン。百歳体操などの紹介。
市や包括センターの窓口につなぎ相談を受け、人にその旨を伝え、生活保護などの申請をすすめたり、境界については当事者間で話しをするようにすすめたりしましたが、未だに電話がある。
自分だけでは対応できないので包括と保護課の担当の方の力を借りて情報を共有しながら進めています。
連れて行き医師の説明を聞くことができる。
実情を話し理解して頂く。※民生委員の報酬が誤解されているので公開してはどうか？
本人、持ち主への連絡、報告は出来る範囲で対応。
他の地区で場所を借りるが遠いので高齢者には難しい。
交流の場所づくり。
ゴミステーションの散乱、食い荒らし、都度処理している。放置空地の草刈り…実施している。
大型車通行は会社側に協力要請。
見守り（高齢者）など。
児童通学路については、不具合を関係機関へつなぐ。
行政への対応指導など。
行政と相談したい。

聞いてあげること。市のそれぞれの部署へのお話をとおすこと。
公園などの草刈り清掃。
班長は順番でできるが。
現状の確認とアドバイス。事後確認。
民生委員、福祉部署による声かけ、見まわり。
班を超えた区民総会にて助け合う組織づくりにて集落機能を維持する。
捨て猫対策。
①除草、剪定②買い物支援③防災、避難④理容
ゴミ出しマナーの啓蒙、庭木の越境や駐車車輛について所有者への要望。発達障がい児への理解を深めるための勉強会を企画したが、コロナ対策で開催できていない。
今の所無理。
自治会の作業内容が下請化状態。
公園清掃。防犯灯の設置基準。
行事は、工夫して参加者を増やす。
区民への働きかけ、周知徹底。
各種行事に参加される方々の移動について、各部会の方々に依頼する。
環境整備課に連絡することもある。アドバイスをもらうことも。ゴミに関しては、色々工夫しているつもりだが、改善されない。アパートの住民に手招きでお願いしたりしているが…。
地域の交流。
高齢者の相談は、民生委員方が対応されているが健康問題と生活の悩みが多く対応に窮している。
ひとり暮らしの人が多くて見守りなど難しい。
参加者は少なくともリーダー（各専門部長など）達は、大事な公式行事は対応しています。
クリーンステーションの修理。
大雨時に排水溝が詰まる、空地の樹木が生い茂り通行の妨げになっている等については、建設課に相談済み。
その時の条件による。
仲間募集。
役員などの訪問。
相手の言い分を十分聞いてやり、助言、身内などに相談を持ちかけている。
通訳として、地域や関係機関との連携。
ボランティアとして自分たちに許されている時間や範囲内で協力したいと思うことを対応していく。
コミュニティの場での談話、傾聴。
障がい者への差別、虐待については、市役所福祉課への通報、連絡。障がい年金申請の手続、説明、アドバイス。自治区に「地域福祉部」をつくることに関しては、自治区の役員に要望伝える。
話し相手はできる人もいる。
本数のあるバス停まで送迎する。
施設での防災訓練を通して、非常時持ち出し備品の準備や避難場所の確認、テレビや携帯電話を使用して、大雨や災害の情報を取得する方法を練習する。

知的障がい者の支援：日中活動支援、ショートステイ利用、障がい者全般の相談支援事業。
現在、日向市では市全体を対象として保育の需給調査が行われています。それが、近隣の園へ入園できず、遠方の園への通園を余儀なくされている原因のひとつではないでしょうか？人口変動（減少）が著しい今こそ、保育の需給に関しては中学校区などで細かく調査していき、保育を利用しやすい環境の整備が大切だと思います。それは、保護者の育児負担を軽減し、子どもの発育発達にいい影響を及ぼすと思われます。
この様な機会に住民の声を上げていくこと。
子育て相談。
基本的には相談に応じ、支援をしている。
児童センターに遊びに来る子どもの名前もその中にあり（最近は遊びに来ない）センターに来たときには話を聞いたり、困りごとがないか相談にのっている。
子育て相談に関する支援。
開園の時間帯であれば、避難の場所として1部屋提供できる。ただし、津波などの場合は避難場所としては不適切（高さが低い）である。現在、避難場所になっていない。
大王谷コミュニティーセンター（大王谷公民館）の責任者の方にその実情を知らせ、どうしたらよいかを相談する。その後、区の公民館を利用される公文やそろばんの責任者の方に注意をさせていただくようにお話ししていただいている。
①在宅福祉サービス（調整）。住宅環境整備（改修など）の提案。入所施設の案内。介護教室。②地域の防災会議などへの参加、施設見学（コロナ感染状況による）。
デイサービスの送迎車の空き時間を利用して介護保険対象者以外で地域との交流がとりづらい高齢者を対象に施設を開放し、送迎付きの集いの場を提供している。
育児休暇後に仕事復帰したいが、保育所の入所枠が空いておらず、困っている方に対しては、育児休暇の延長（法制度上の上限まで）。特養に入所できず、有料老人ホームは経済的に厳しい方に対しては、宮崎県や所轄庁の特養床の転換や増床申請。
介護保険に関すること、高齢者の権利譲渡に関すること。
高齢者の介護問題。
高齢者支援に関する各種制度利用で課題解決を望めること。
福祉、行政などできるだけ多くの支援機関と連携し、ネットワークを構築すること。
介護保険のこと。
各関係機関との課題共有と資源づくり。
介護保険に関すること、高齢者の権利譲渡に関すること。
該当児童への指導、保護者との連絡。
相談内容を聞き、必要時に関係機関と連携し、訪問などで対象者やその家族の話を聞きます。その上で必要な対応を検討します。
運転手の確保。
調整区域の指定がS45年なので、それ以前から宅地となっている物件を探している。
山間地であることから定期的な通院などについては無理をしている。
対象者の話を親身になって聞くこと。再犯をしないように、また立ち直りができるように関係機関と連携すること。

東郷かんむり。

団体として地域福祉を推進することが使命であるため、個別課題や生活課題について住民が集まる場や各種団体が集まる場において、課題の定期を行い、住民主体などで解決できる部分については、その仕組みづくりを行っている。

■対応できないこと

身体のごことは病院に通院されているので医師とのコミュニケーション、信頼関係を促す。家族にも協力求めたりしています。
農作業の方がまだ大切だと思ひ参加を控える。家族みんなが介護状態であること。
家族間のご問題が含まれている場合、どこまで踏み込んでよいのかわからない。デリケートな問題。
過度な生活資金などに関する相談（保証人等）。家族関係に関する相談（家族間トラブル等）。
健康のごことなどはちょっと難しい。そんな時病院に行つた方がと。
病院に連れて行つてくれと頼まれた時、そんな時は慎重にお断りをします。
関係機関にどうすればよいか尋ねれば対応できないことはないと思ひ。
災害時の避難同行…ひとりではないため。近隣など空家の件でトラブル…市役所に相談中。
集合住宅内のアレコレ。
市役所関係の事情なので無理です。
経済。
社会、経済的な側面、制度の壁。
できないことは機関につないだり、家族に相談する様にアドバイスする。
包括支援センター、社会福祉協議会などにその都度連絡している。
相手方が話し合いを拒否する。
認知症特有の物が無くなった、他人が家に入ったなど。
近親者間の喧嘩、浮気などの情報は身内で解決。
両方の言い分を聞いて回るようなことはできないと思つた。
姉妹の険悪。
ひとり暮らしでお金を貸して下さいという事でした。
公共交通手段の増便など（市への要望）。
家庭の中までは入れません。
自宅で倒れてタクシーを呼んだために交通費が非常に負担になったなど、後で知らせられるので、私は手助けできませんでした。
昔からの（親子2代、3代）に、わたる人間関係！
空家の環境美化。
交通の便については行政で対応してほしい。
家族間関係。
個別訪問。
犬や猫の問題については、行政、区長に相談。ひきこもり世帯の対応についても行政に相談している。
家の片づけ（家族がいるため）。
区役員会に提示し解決を願つたが、当の住人が全く反応なく、現在もその周辺の住民は悪臭に耐えている。
車に乗せられないのでタクシーを使つてもらつた。
岩の調査、ブロック壁の所有の方との話し合いなど。
毎日の見守り、生活支援。

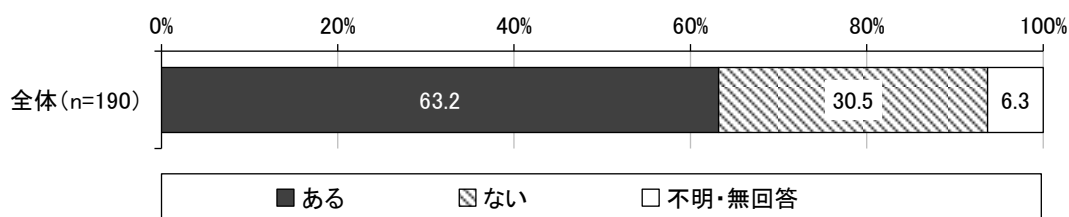
関係機関に相談、連絡する。
隣近所の間でいさかいがあったが包括の方に相談。始めに比べたらよくなりました。
市役所、保健所などの行政機関に相談する。
分別の収集日、分別の仕方を知らない（特に自治会に参加して無い人など）。市営住宅街など、宅建協会が市の委託を受けて管理している、民営のアパートも同じだが、入居者には契約書などに自治会に参加しなければ入居できない旨を記載することが必要では。
市・県道の補修、階段の補修工事、空き家対策。買い物弱者の交通対策など。
ゴミ問題は掲示するが根本的に解決できない（公園内含む）。
一方の言うことだけではわからないし、あんまり個人の中に入りたくない。
要介護者に対しては行政がやらなければ地域レベルでは無理。
高齢世帯の自治会活動は近隣の方の御配慮をお願いするしかない。
個人情報などに関する対応。
相当の費用がかかるので区の予算では対応できない。太陽の光は区民が平等に受ける権利であるので何とかできないものかお願いしたい。勾配が急で素人には難しい。
隣人の苦情、非難（感情的なこと）。
道路の穴ぼこの修理、公園の立木の毛虫の駆除。避難通路の階段部分にスロープを設置など。班長のなり手が少なくなっている。地区の高齢化。
アパートの人で持ち家でない人の区の加入。あの人は加入していなくても色々に対応できている。だから、あの方と同じでよい。これ以上は言えない。
市の担当者への対応依頼。事後確認。
災害時、急病時での対応。
県や市への要請事項（主に道路関係）。
財政的な対応。世帯数の減少により区の財政が厳しくなりつつある。
特定空き家対策。
①交通移動支援 ②経済（お金）③病院の受付（順番取り）
60 才になってもほとんどの方が仕事をしているので役を持ちたがらず内面的に活動できない。
ゴミ問題にしても搬入応援が出来てない。
ゴミ出し、ゴミ置き場に関して。通学路の草刈りと整備。区への加入推進。
活動費。
強制力がないため、それ以上は不可。
人材不足で対応ができない。
ゴミの出し方は、ルールが多すぎて伝わらない。シンプルでないとダメだ。環境～課へ行ってみて、対策を聞いてもなかなかよい案が出ない。わかりやすい表示など考えるが、複雑すぎて無理。どう伝える？
悩みの相談は伺っても対応するのは限界があるので対応できない問題もある。
緊急時など携帯 TEL をもっていない方がいて大変。もう少し家族とのコミュニケーションをとってほしい。
地域内住民の約半分しか区民（区に加入している住民）でなく、住民全員に情報伝達ができない。
クリーンステーションの移設など（班の話し合いが必要）。

ゴミ出しマナーは、個人個人の意識を喚起するしかないのでは？環境政策課とも相談しているが、どの区も同じような問題に頭を悩ませているのでは。
民生委員・児童委員、区長などに依頼。
プライバシーを前面にだされると対応不可。
社会福祉協議会、地域包括支援センターへの継ぎ役をやっている。
家庭内トラブル。
予期せぬ若年妊娠、貧困という現実金銭的男性の不信などがからみ援助できぬもどかしさもあり、支援救拠点があればと思いましたが…。それ以前の人格的養成は私達、大人が子どもの育成にもっともっと支点をおかなければとつくづく考えさせられました。
災害時などの急な対応。
社会的責任を伴う範囲（仕事や家庭）を犠牲にしてまでのことはできない。
家庭への立ち入りや助言。
①事業所への聞き取り、調査。②医師へ診断書の依頼。③成年後見人の代理。
移動手段がむずかしい。
いつもは送迎できないため、待つていただくことがある。
各利用者の居住地区での避難訓練への参加。
医療的ケア児者の支援：日中、ショートステイともに施設の構造的なことと、専門の看護師がおらず対応できない。
当事業所のマイクロバスはほぼ毎日運行しているため活用できればよいと思うが、地域住民の利用による金銭の徴収はできない、住民のニーズ（行きたいところ、行きたい時間）に十分こたえられるか、また事故などの保障ができないこと。
虐待や専門分野に関すること。
自分でできるのにやらない場合は対応していない。
より専門性が必要とされる案件については、子ども課などへつなげていきたい。
保育園では人数やコロナの状況で限界があるため、学童保育を確約できないこともある。
子育て相談以外の相談など。
閉園時間帯は、提供できる態勢（職員不在）がとれない。富高地区に避難タワーがひとつもない。
①身内が近くにいない方、または、天涯孤独の方など、支援者（協力者）がいない方への支援。②地域全体の防災訓練。
①待機児童をなくすための保育所の整備。②定員枠を超えての入所、特養枠の増床や転換。
医療に関すること、金銭に関すること、住居に関すること、高齢者だけではなく複合世帯の支援（未成年者など）。
地域課題（高齢者の移送問題）。
65歳以下の方の対応に関すること。
在学中は宮崎市清武町まで行って訓練を受けなくてはならない。そして、卒業後はその施設は利用できない。身体機能の維持向上のためPT、OT、STを配置していただきたい。
住居や仕事のこと。
直接処遇、介護。
医療に関すること、金銭に関すること、住居に関すること、高齢者だけではなく複合世帯の支援（未

成年者など)。
放課後子ども教室内での直接的な指導。
車輦、保険、一部支払いの賃金。
定期的な通院などについて長期になるとひとりでの対応は難しい。
更生が困難な事例の場合は、宮崎保護観察所の主任官と随時相談している。
仕事がある時とコロナ。
仕組みづくりを行う中で、住民主体では解決できない、または前へ進めることができない部分があり、その部分に関しては公的な制度であったり、市としての既存の仕組みを十分に活かしながらも新たな仕組みをつくる必要性を感じる。例) 住民主体が行っている移送や家事支援サービスもひとつ。

問3 あなた(または貴団体)は、他の団体等と定期的な情報交換や交流などの連携がありますか。

他の団体等と定期的な情報交換や交流などの連携の有無についてみると、「ある」が63.2%、「ない」が30.5%となっています。



【団体別クロス】

上段: 件数 下段: %	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	120 63.2	58 30.5	12 6.3
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	37 46.8	34 43.0	8 10.1
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	32 66.7	14 29.2	2 4.2
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	27 87.1	4 12.9	0 0.0
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0

問4 問3で「ある」を選んだ方に伺います。具体的にどのような団体と、どのような連携をとっていますか。

連携している団体名	連携内容
市全体の児童福祉部会、市全体の主任児童委員会、市要対協など	情報交換、活動の在り方、本の紹介、パンフ作成、配布。
要対協	実際の案件についての共通理解と今後の方向について検討など。
社会福祉協議会	わからない。また自分ではどうしていいか。その時は気軽に相談する。
包括支援センター	親族から、家の中には居る様だが返事がない。包括に来てもらい、窓から入って安否確認をした。
区長	登下校道路の側溝に穴があいている。同じ場所にゴミが散乱など。
民生委員・児童委員	子どもがいじめにあっている。下校時間に何日か様子を見に行く。
浜カフェ	コロナで中止中。
公民館活動	区長からの要望があれば参加して、意見交換します。
社会福祉協議会、ボランティア活動	てつだっちゃう会。買物ツアー（コロナで中止）。ひなたカフェへの参加。
高齢者クラブ	誕生会、日帰り観光。グラウンド・ゴルフ練習、または大会を通して親睦を深めている。
交通安全協会	朝の子ども見守り隊。
社会福祉協議会	いきいきサロン。ひとり暮らし高齢者、包括支援。
小学校	児童の交通安全、登下校の見守り。
社会福祉協議会	福祉関係の会議や事業、研修会など。
福祉事務所	福祉関係の会議や事業、研修会など。
包括支援センター	地域の高齢者の情報。
小野田区サロン	毎月1回サロンの方々が高齢者の方を集め、公民館での対話やバスを使っの研修などで一人ひとりの体調など確認しています。
百歳体操	登録メンバーは17名。コロナで半数に、身体の状態を知ることができる。
社会福祉協議会	毎月の定例会、課題の共有。定期的な研修。
行政、包括	毎月の定例会。
手をつなぐ育成会	会員としての情報共有。
地域包括センター	高齢者の情報交換。勉強会、百歳体操と通して安否確認。
社会福祉協議会	定例会などによる情報収集。研修による勉強会。活動上の問題共有。
Hososhima まちづくり協議会	地区の情報共有。市などの情報共有。
サロン活動団体	区が近いので年に数回と一緒に活動している。
要対協、財光寺中学校区	情報交換。地区定例会（毎月1回）民生員の存在を地区住民に理解してもらうため。
主任児童委員	読みきかせ絵本パンフレット作り。各地区メンバーとの情報交流。

連携している団体名	連携内容
学校運営協議会（財光寺南小学校）	学校関係とメンバーとの情報交換。
社会福祉協議会	児童福祉部会所属。月1回の定例会でその日の協議連絡事項。民生委員の活動した日は活動記録簿に集計して出す。
東郷町まちづくり協議会	福祉、健康づくり部会所属。①夏祭り計画…草刈り②健康教室を開催（医師による講話）。③健康づくり活動（グラウンド・ゴルフ、ラジオ体操）。
鶴野内区福祉推進員会議	推進委員長他10名の推進員で構成され、年2回開催され活動などの取り組みや意見交換。
区の自治会。区の福祉部	区の行事など内容によって月1度の運営委員会に参加。区の福祉部員として参加、活動して協力したり助言したりしている。
社会福祉協議会。市福祉課	月1回の定例会にて情報提供の共有。相談事は地域支援コーディネーターに相談。いきいきサロン活動への助言をもらう。情報提供の共有。
包括支援センター	介護保険につなぐための相談。問題のある世帯への同行訪問をしてもらう。
春原区	班長会への参加。地区防災メンバーの。
民生委員・児童委員	月1回地区の民生委員・児童委員に関わることなど定例会の日に話します。
担当地区団体	区長と定期的な情報交換。
大王谷区福祉部	会議が定期的に行われ意見交換を実施している。
地区民児協会	月1回定例会で課題提供や情報の共有化。
地区役員会	毎回は出席していないが、地区の課題、情報共有。
社会福祉協議会、市関係部署、包括支援センター	地域の問題、情報などの連絡対応。また、それにあたって協力依頼した方がよいと判断したとき。ひとり暮らしや高齢者の健康、生活などの相談支援。
社会福祉協議会	地区定例会において、情報交換を行っている。
南部地区包括支援センター	地区定例会での情報交換の他、個別の案件で情報の共有など行っている。
市高齢者あんしん課 市こども課	地区定例会での情報交換。
社会福祉協議会	サロン関係の相談。
中央包括	高齢者の生活支援の相談。
支援学校小学校	評議会。安全見守り。
社会福祉協議会、包括支援センター	相談ごとの対応を連絡している。
平岩まちづくり協議会	まちづくりの中に福祉部会があり、高齢者の日頃不自由な面を見つけたす。
小中学校	学校での交流。

連携している団体名	連携内容
民児協	定例会。委員さん達への伝達。
包括支援センター	-
自治会	定例の役員、班長会に出席。区主催の行事参加。
地域福祉部	主催の研修会や行事に参加。
高見橋サロン	年1回、交流会。
日向中学校	花壇づくり。今後、避難訓練、非常食づくりなどで交流予定。
遠見区自治会	-
日知屋包括センター	病気のこと。
社会福祉協議会	買い物ボランティア。
健康づくり関係団体	健康づくりのため、週一回ストレッチ体操をしている。先生の元、高齢者と一緒にする。
社会福祉協議会	定例会。
子ども食堂	日向市の子ども食堂が始まった頃からお手伝いさせて頂いています。
民児協	月1回の定例会。
民生委員・児童委員	いきいきサロン、月1回。
民生委員・児童委員	子ども達の見守り活動。小学校での2年生サポート「はなまる先生」。
民生委員・児童委員	社会福祉協議会・行政との定期的な情報交換。
市こども課（福祉課）	年に何回かある会議に出席させていただいています。研修講演してもらいました。おすすめ絵本のちらし（主任児童委員発行）を置かせていただいています。
小学校	コロナで定期的には、このところできていませんが、主任児童委員として、毎月の学校行事予定表や（コロナで今は止めていますが）学校の情報を頂いたり、保護者や地域の方の話を届けたりしています。
社会福祉協議会	活動の多くを支えてもらっています。
市福祉課	民児協にてヒュー日向に添った連絡など。
社会福祉協議会	民児協にて連絡事項、研修など。
警察	防犯などについて。
財光寺包括支援センター	-
自治会（住還区）	-
社会福祉協議会	-
社会福祉協議会	学費援助などの相談。
包括支援センター	家族と同居しているが昼間ひとりになるのでデイサービス。訪問の利用について。
社会福祉協議会	会長会。地区民児協定例会。

連携している団体名	連携内容
富高区長会	区長同士での情報共有。
春原育成会	地区の子ども達への活動支援。
春原高齢者クラブ	公園管理委託や、クラブ活動への支援。
農業委員会	経験者（区長）。
椎茸部会	経験者（区長）。
旧幸脇小学校内の「遠見区、飯谷区」	3区意見交換会を毎月実施（今年8月で22回目）。連携してできる行事など（敬老会、自主防災組織）は協力して実施する。自治会運営が将来的に継続できるか懸念している。「まちづくり協議会」を目指している。陳情、要望活動①サンパーク温泉の再会②市道改良工事③南部ぷらっとバス運行路線延長。
細島地区区長会	細島全体の情報交換。
HOSOSHIMA まちづくり協議会	その時の問題点を話し合う。
南部地区区長公民館長会	情報交換。
グループホームみみつ2号館	情報交換。
細島小学校	月例区長会へ出席。登下校の児童見守り。
社会福祉協議会	月例区長会へ出席。登下校の児童見守り。
まちづくり協議会	社会福祉協議会の例会へ出席。
本郷区区長会	問題となる事案について意見交換。
大字区長会（区公連）	他地域の課題や現状について。
平岩地区区長会、平岩まちづくり協議会	代表者の参画。
大字区長会	情報交換。
まちづくり協議会	情報交換。各種活動行事を連携して行う。
自治会	情報交換。各種活動行事を連携して行う。
中原地区、高見橋通り地区	高見橋通り地区、中原地区、新財市地区は高見橋通りから新財市に抜ける道路と地域が度々浸水するので、その対策を3地区合同で要望している。また、石櫃山避難道の整備作業も3地区で年4回整備作業を行っている。
区公連	新町6区で区長会を行っている。
本郷区長会	毎月集まって、情報交換をしている。
永寿園小規模多機能ホームゆたっと	地域で困ったことなど相談する。
枝郷地区自治会（向江、中区）	供養盆踊り大会（8月）
枝郷地区自治会	ソフトボール大会（10～11月）
南部地区区長公民館長会	市の事業の把握、他自治会の状況。
東郷地区区長会	情報の共有。
日向市、手をつなぐ育成会、スマイルホーム360	行事などの共同開催など。

連携している団体名	連携内容
地区長	行事、活動など。
社会福祉協議会	福祉活動に対する支援。
財光寺区長会	イベントの共同実施、各区との情報交換。
市区公連運営委員会	活動内容の問題について。
富高区長会	定期的な情報交換。
財光寺区長会	各区間の情報交換など。
新町地区区長会	定期的情報交換（月1回）。
日向市公民館連合会	各種イベント、行事。
福祉健康づくり部会	役員体制および年間事業計画。健康ウォーキング大会。福祉部会勉強会。地域福祉部会勉強会（社会福祉協議会）年3回。ヒマワリプロジェクト（ヒマワリ全世帯配布）（美化運動など）。
女性部会	敬老会支援、小野田区さくら公園清掃（美化運動など）。健康ウォーキング大会支援。ごみ減量推進勉強会。
百歳体操、サロン	参加者を募っている。美化運動。
日知屋本郷区区長会	定例会。
社会福祉協議会	百歳体操立ち上げ！
自治会	自治会の代表会議で解決していただく問題をお願いして話し合う。
遠見区長会	区長会参加。
富高区長会	月1回の運営委員会で10区が問題を持ち寄って話し合っています。その中で区未加入の問題が多くきます。
日知屋地区区長公民館長会および区公連各会合	自分達以外の各活動情報を確認。共同で行事開催。
江良育成会	小学生保護者と子ども達との交流。公園清掃。盆おどり協力（コロナで3年中止）。敬老会（コロナで3年中止）。
江良高齢者クラブ「みどり会」	百歳体操。グランドゴルフ大会。
大字財光寺区長会連合会	月1回の区長会を通して、各区の公民館活動について報告、調査研究など。区民の経済的、社会的地位の向上を図るため、事業を円滑に進めることができるよう連携をとっている。

連携している団体名	連携内容
枝郷地区高齢者クラブ	交流としてグラウンドゴルフ大会。
市高連クラブ	定期的な会合で年1回の行動スケジュール化。
自治会	情報収集、報告。
市高連	年間行事計画やその実施について。
自治会（区）（公民館）	区の助成金。区の清掃活動。草刈ボランティア。
市高連	文化（作品展、サンサンクラブ）行事。体育行事：グラウンドゴルフ、輪投。
日向市高齢者クラブ連合会	市高連に入会している。理事会、会長などで他クラブの会長と情報交換。市高連の開催する行事（スポーツ）などに積極的に参加し、他クラブとの交流を図る。
切島山一区自治公民館	寿会の会員は、切一区に入会している家族である。切一区の役員会などに出席して意見なども言える。切一区の行事などにも進んで参加する。切一区より助成金をいただき運営費の一部に当てる。
グラウンドゴルフ切一クラブ	切一クラブ員 33 名中 26 名が寿会の会員である。週 3 回の練習に参加する。切一区、切一クラブ、寿会のそれぞれが開催する大会に出席する。
日向市高齢者クラブ	各種スポーツ大会。さんさんクラブ大会。創作作品展。
南町区会	健康まつり協力。G ゴルフ大会。
日向市高齢者クラブ連合会	各種スポーツ大会。さんさんクラブ大会。健康まつり協力。健康づくり研修会。ボランティア活動。創作作品展。
各種地域団体	種々の生活問題。
ボランティア連絡協議会	ボランティア活動の協力。
日向市ボランティア連絡協議会	副会長（各団体と連絡）。
日向市肢体障がい者友愛会	副会長（各事業について打ち合わせ）。
日向市ボランティア連絡協議会	日向市ボランティア連絡協議会に加入し、他の団体と情報共有などを行っている。
社会福祉協議会	日向市ボランティア連絡協議会の定例会では、ボランティア担当の職員も参加し、情報共有を行っている。また、ボランティア要請などに応じている。
日向市役所	聴覚障がい者団体とともに手話の出前講座や手話通訳制度の意見交換などを行っている。
福祉施設など	ボランティアとしての事業協力。
ボランティア団体	ボランティア団体同士の情報交換、事業協力。
関係機関（市、社会福祉協議会、障がい者団体など）	ボランティアとしての事業協力。
日向市ボラ連。トムソーヤ、手話サークル、母子会	事務局担当。各団体との連絡、調整。ボラ連事業への参加。
肢体障害者友愛会	事務局担当。会員への連絡。会報の発行。

障害者団体(あいとぴあ)	あいとぴあにての協議。障がい者の地域活動推進など。
自立支援委員会	障がい者の自立について広報の福祉資源が集まりできることを協議。しかし、実際には会議などに出席する人からは何の発信もない。との声が聞こえます。
福瀬区公民館	地域の行事などに参加、交流。
日向市障がい者団体連絡協議会	合同での研修会の開催。協議会の運営。
日向市障がい者団体連絡協議会	市内、障がい者団体の6団体で構成。年5～6回の理事会で情報交換や運営、政策、事業についての協議。まちづくり、スキルアップの研修会。障がい者スポーツなど。
宮崎県重症心身障がい児(者)を守る会	重症児(者)の施設(国立病院機構宮崎病院、愛泉日南病院)と在宅の保護者で構成。県北地区に重症児の短期入所施設整備に向けて連携して県に要望活動を行った。
知的障害者手をつなぐ育成会	週に1回(今コロナ禍で休み)、「あいとぴあ」にて卓球練習をしています。常時、知的5名、肢体2名、ボランティア数名の参加で楽しくつながっています。
宮崎県障がい者支援施設協議会	全国障がい者施設協議会、九州障がい者支援施設協議会、九州社会福祉連盟障がい児者施設協議会と連携し、研究大会や研修会を行うとともに、県内施設間で職員を相互派遣するなどの事業を行っています。
日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会、日向市社会福祉施設等連絡会	各関連部会において情報交換、研修会、事例検討など行っています。
宮崎県災害福祉支援ネットワーク協議会(DWAT検討部会)	災害派遣やBCP策定に関する検討会を、定期的(今年度は年2～3会を予定)に行っています。
日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会	就労系事業所連絡会参加。事例や勉強会ととおして、情報共有や地域課題について検討。
就労系福祉事業所ネットワーク会議	県労働局、ナカポツの取り組み。事業別の事例発表、情報交換。
日向市社会福祉施設等連絡会	情報交換。
日向市社会福祉施設連絡協議会	各施設間の情報共有。
日向市東臼杵郡障がい者自立支援協議会	法人格事業所から委員として参加。協議会の運営や企画に関わっている。
日向市居住支援協議会準備会	今後の日向市の居住支援のあり方で障がい福祉分野の状況や課題について協議。
社会福祉施設等連絡会	情報交換。および研修活動など。
日向市子ども子育て協議会	情報交換など。および人材確保など。

幼保小連絡協議会	小学校との連携・接続。
自立支援協議会、就労系事業所連絡会	隔月開催される連絡会での情報交換、事例検討など。
日向市ボランティア連絡協議会。日向市ボランティア活動センター	ボランティアの派遣要請。および共同事業など。
中心の里保護者会	利用者支援、ニーズの共有など。
発達障がい部会自立支援協議会	地域における各福祉事業所、学校、行政などが障がい児者の情報を共有して、障がいの理解深め、支援の充実を目指して協議を重ねている。
ひまわり支援学校	月1回学校、学園の職員で定例会議を開き、学校、学園の行事の把握や確認を行う。また、児童生徒の課題や問題について共通の理解を持ち、指導、支援に活かす。
県内の各障がい児入所施設で構成する児童処遇委員会	年間に3回、各施設の児童処遇委員と施設長が集まり、施設における利用者の困難事例を検討し、発達障がい、自閉症」に詳しいひまわり学園の小野施設長より支援方法についてアドバイスをいただいている。
日向市保育協議会	部会ごとの開催。※現在コロナの影響で活動できていない状況。
日向市社会福祉施設等連絡会	事務局を柱に、必要に応じた研修会を計画していただいている。
社会福祉協議会	児童部会の研修。
日向市保育協議会	園長会、主任保育士会、給食部会などがあり、定期的に情報交換や研修会を行っている。
幼保小連絡協議会	情報交換や小学校訪問、研修会。
財光寺地区の各小学校	幼・保・小連絡協議会。
利用者に係る他支援者	必要に応じた報連相や支援の連携。
学校など教育機関	サービスの体験や事業所の説明など。
ボランティアや福祉関係団体、地域住民など	支援の見学の受入や行事などの案内。地域清掃活動など。
日知屋小学校	学校運営協議会を通じて、学校の様子や地域の区長、児童民生委員さんの情報を得ている。
子育て支援センター	行事などの情報交換。
ボランティア団体	活動参加
財光寺保育園	ピーマン狩り。研修。
岩脇保育園	ピーマン狩り。研修。人形劇観劇。
幼保小連絡協議会	幼稚園、保育園、小学校との連携を図る場。小学校との接続や交流。
要保護児童対策地域協議会	ケース会議・要保護児童などの説明。
日向市子ども課	保育園など訪問および相談。
日向市要保護児童対策地域協議会	地域において、要保護児童などに対し必要な情報を共有して児童虐待などを未然に防止し、家庭支援の取り組みを行う。

富島中学校および日知屋小学校	学校運営協議会で、学校の現状、取り組みなど情報を共有して、児童生徒の安全や指導育成を行う。
日向市保育協議会	各種部会に参加し、他の園の取り組みや考えを聞く場として利用している。
宮崎県保育連盟連合会	各研修会、部会に参加。キャリアアップ研修・保育士部研修会。
宮崎県社会福祉協議会	みやざき安心セーフティネット事業に参加。相談員研修会・支援活動（過去1回実施）。
日向市社会福祉施設等連絡会	福祉に関する情報交換や研修など。
幼保小連絡協議会	幼稚園、保育園、小学校との交流事業や幼稚園、保育園からの小学校への接続についてなど。
日向市	要保護児童対策等、児童の教育、保育について。
子育て支援センター	「児童館だより」と「支援センターだより」を毎月お互いにお渡ししてそれぞれの利用者へ行事の案内や参加の呼びかけをしている。
東郷町地域包括支援センター	包括支援センターが抽出した引きこもり傾向にある住民を対象に、施設を開放し、送迎付きのサロンのような憩いの場を提供し、活力の維持、向上を図っている。
社会福祉協議会	移動手段のない地域高齢者のためにデイサービスの車両を使用し社会福祉協議会と連携し、買い物ツアーを実施している。
高齢者福祉施設	県北ブロック養護老人ホームで定期的な研修を行っている。
社会福祉協議会東郷支所	地域の困りごとについての情報共有。
東郷診察所	地域住民の医療の保険に関する情報の情報共有や連携しての支援。
社会福祉協議会	貧困問題などで連携を図る。
日向市民児協	高齢者の実態把握の時に連携を図る。
日向市高齢者あんしん課	高齢者虐待や他対応困難な事例のとき。
関係施設など	医療機関、その他の福祉施設事業所との情報交換。
日向市東臼杵連携ネットワーク委員	医療と介護の連携などに関する事。
医療多職種研修委員	医療と介護の連携などに関する事。
FIT 会議	認知症についての地域支援体制推進に関する事。
日向市社会福祉施設等連絡会	交流会。
障がい者就労、生活支援センター	利用者の方の就労に向けた研修や実習時の訪問や会議などへの参加など情報共有しながら支援を行っています。
民生委員・児童委員	地区定例会へ参加し、各地区との情報交換。必要ケースの同行訪問。
自治会、地域福祉部	必要時、推進会議へ参加し、情報交換（23地区あるため、定期的にすべての区へ参加することは困難で、要請のあった所へ参加）。
社会福祉協議会東郷支所	地域の困りごとについての情報共有。
東郷診察所	地域住民の医療・保険に関する情報の情報共有や連携しての支援。

寺迫放課後子ども教室 (寺迫小として)	教室の中での児童の様子を聞き、学校での指導に活かす。学校での児童の様子を伝える。
民生委員	推薦委員会だけかもしれませんが。今年の4月からなので、詳細は十分把握できていません。
日向市要保護児童対策地域協議会	勤務校が寺迫小のため、平岩、美々津中学校区部会に参加。校区内の情報提供をいただき、児童生徒理解に活かしている。
相談支援事業所、行政機関、医療機関など	①障がい者の地域移行支援など。精神保健福祉活動についての協議②地域移行に関する事例の共有と対応の検討。
東郷地区区長会	月1回区長会に出席、まち協の活動報告やイベントの協力依頼などを行い、意見を聞いている。
社会福祉協議会	百歳体操への移送支援。
他のまちづくり協議会	情報交換。
他市のまちおこし団体	情報交換。
まちづくり協議会	各委員会との定期的会議。
日向市区長公民館長連合会	毎月自治会で開催される区長会へ本会より出席し、圏域ごとのコーディネーターが顔の見える関係性の構築を図りながら、地域での課題を聞き取るなど、情報交換、情報共有を図っている。
日向市民生委員児童委員協議会	毎月開催される地区ごとの民生委員児童委員定例会へ本会より出席し、圏域ごとのコーディネーターが顔の見える関係性の構築を図りながら、地域での課題を聞き取るなど情報交換、情報共有を行っている。

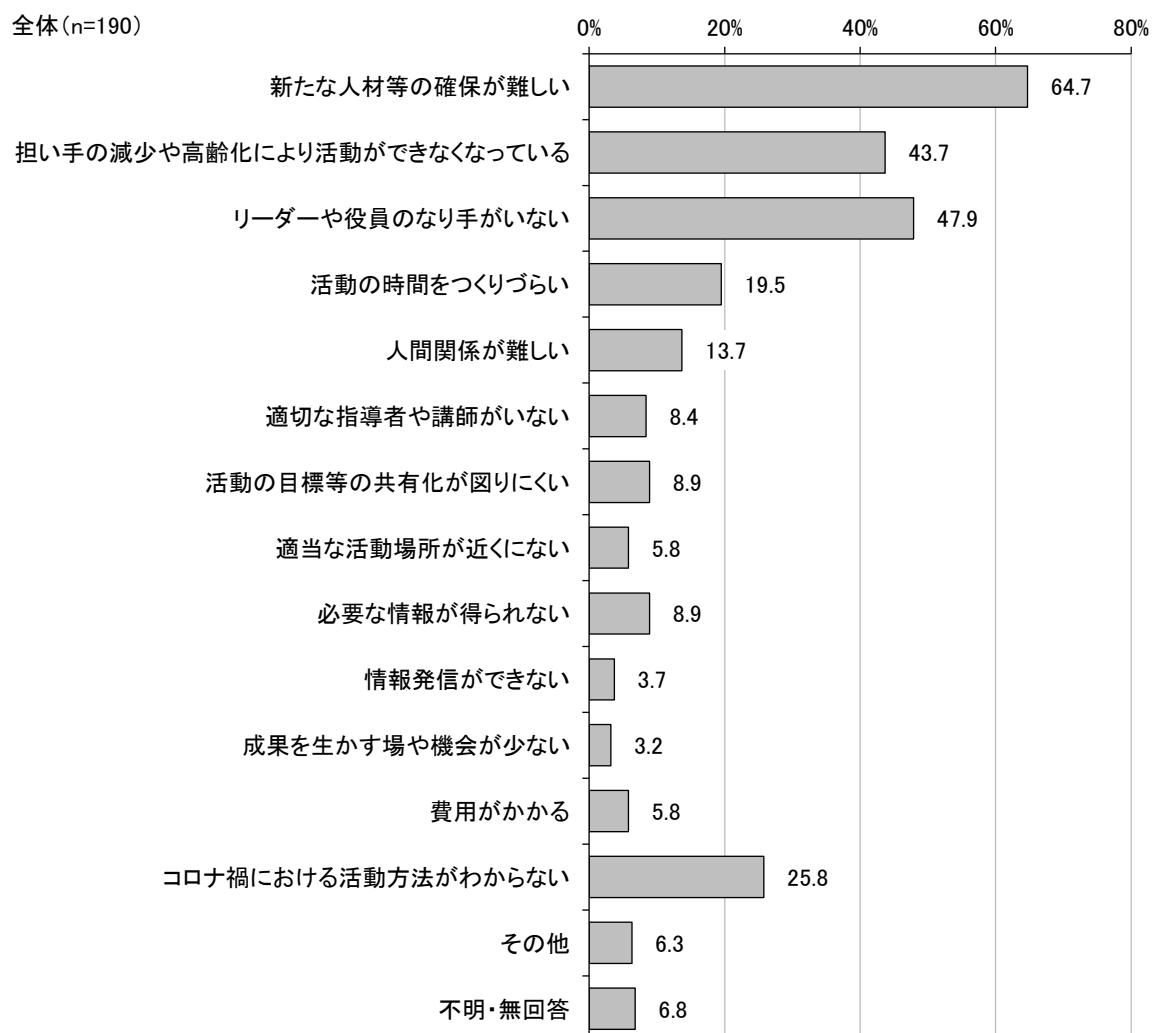
問5 現在連携していない団体で、今後あなた（または貴団体）が活動していく上で連携したい団体、活動内容があればご記入ください。

連携したい団体名	活動内容
社会福祉協議会	民生委員は気づいてつながが要素役割だから何でも相談できるので安心です。
サロン、百歳体操	3年ほど続いていたのですが、コロナ禍のため休止中でそれがあたり前となり今は再開のきざしが見えない。1年に2回のバス旅行を楽しみにしていました。
自治公民館（区長）	児童、高齢者などに関する情報共有。
区に福祉部	災害の時など声かけなど多数の方への確認ができる。
団体名不明	<大人食堂>また、その中で衣・食・住に必要な品々（不要になった品等）を販売、またはお持ち帰りする。レシピ情報や発信。
健康づくり団体	とにかく集まること。そして健康につながることです。
役員会、地区育成会	子ども達との接点がないので情報が取れない。地区内の情報交換。
サロン活動	-
消防団体	災害のときの自分自身がどこまで対応してよいかの連携。
社会福祉協議会、および市福祉課	側面からの支援。
保健所	特に猫の飼育。野良猫対策と動物愛護法との関連。
警察署	振り込め詐欺や不当販売と思われる事例が地区で発生。これらの対処法も今後必要。
幼保連	交流会などを持ち情報交換など。
自治会	今はコロナ禍だが（中止が多い）一緒に活動していく（班長出席など）。ひとり暮らしや心配なところを一緒に訪問する。
包括支援センター	支援、見守りが必要な人の状況が知りたい。
地域福祉部	困りごとなどを共有したい。
福祉関連団体事業所	活動内容を知りたい。
自治公民館班長、福祉推進委員	お互いの情報を共有し、地域の見守り活動。
社会教育委員会	子供の夢サポート（これは連携希望じゃなく応援団としてあくまで応援）。図書館（子供の希望を聞いてもらいステキな、素敵な図書館を）。
日向市スポーツ協会	スポーツ教室など。
ルーピンの会（住還）（財光寺）	-
他の自治体	お互いの活動、事業内容などの意見交換、情報共有。
鶴野内区以外の区	見守り活動など高齢者支援。
市消防本部（消防団）	防災に関する相談など。
消防団	防災や、人探しなど。
地域包括支援センター	高齢者および認知症などに対する支援、相談。
高原連合会	行事、まちづくり。

高齢者クラブ	意見交換地域美化運動（健康促進）。
高齢者クラブ	グランドゴルフ。
サロン	月の行事と合わせて活動。
百歳体操	週1回。
老人団体	長寿会のない近隣地区との健康、友愛、奉仕活動の連携活動。
老人団体	長寿会のない近隣地区との健康、友愛、奉仕活動の連携活動。
-	活動制限やむなしの状況もあり、今は自粛し世の中の経過を見ている。
就学中の障がい児、保護者	生きていく中での困り感の共有。仲間で出来る見守り、助け合いなど。ニーズと出来ることをひとつずつ共に解決したい。
難病団体	病気の理解と交流を図りたい（難病も300種以上あるが、組織化された団体と）。
精神障がい者団体	日向精神障がい者家族会（見原会長）との交流、情報交換。
介護保険施設	利用者の情報提供など。
各病院の地域連携室	入所者情報など。
司法関係団体	-
県内の児童館	他の児童館の活動内容や取り組みを知りたい。視察に行きたい。それらを活動に反映させていきたい。
大王谷幼稚園や大王谷保育園	同じ大王地区の幼稚園や保育園の子ども達との交流、児童館に来ていただいて一緒に遊ぶ、行事に参加するなど。
他の町の児童館	視察や見学をして、どのような取り組みをやっているかを知り、参考にしたい（前に何度か視察研修を行っている）。
施設周辺の自治会	災害発生時の対応。地域貢献事業（介護教室など）。
障がい者支援団体子育て世代の支援団体	重層支援体制構築のため、定期的な情報交換や研修。
社会福祉協議会	対象者の更生のためのいろいろな事業を共有していきたい。

問6 活動を行う上で、あなた(または貴団体)が課題だと感じていることや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

活動を行う上で課題だと感じていることや困っていることについてみると、「新たな人材等の確保が難しい」が64.7%と最も高く、次いで「リーダーや役員のなり手がいない」が47.9%、「担い手の減少や高齢化により活動ができなくなっている」が43.7%となっています。



【団体別クロス】

上段:件数 下段:%	合計	新たな人材 等の確保が 難しい	担い手の減 少や高齢化 により活動 ができなくな っている	リーダーや 役員のなり 手がいない	活動の 時間をつくり づらい	人間関係が 難しい	適切な指導 者や講師が いない	活動の 目標等の共 有化が図り にくい	適当な活動 場所が近く にない
全体	190 100.0	123 64.7	83 43.7	91 47.9	37 19.5	26 13.7	16 8.4	17 8.9	11 5.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	49 62.0	23 29.1	28 35.4	19 24.1	13 16.5	5 6.3	8 10.1	7 8.9
日向市市長公民館長連合会	48 100.0	30 62.5	37 77.1	35 72.9	6 12.5	5 10.4	5 10.4	2 4.2	3 6.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	9 90.0	7 70.0	9 90.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	20 64.5	4 12.9	6 19.4	7 22.6	2 6.5	1 3.2	3 9.7	1 3.2
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	3 100.0	1 33.3	2 66.7	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%	合計	必要な 情報が得ら れない	情報発信が できない	成果を生か す場や機会 が少ない	費用が かかる	コロナ禍に おける活動 方法がわか らない	その他	不明・ 無回答
全体	190 100.0	17 8.9	7 3.7	6 3.2	11 5.8	49 25.8	12 6.3	13 6.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	12 15.2	1 1.3	2 2.5	2 2.5	28 35.4	5 6.3	5 6.3
日向市市長公民館長連合会	48 100.0	2 4.2	1 2.1	2 4.2	5 10.4	7 14.6	0 0.0	4 8.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	2 6.5	3 9.7	1 3.2	2 6.5	7 22.6	5 16.1	1 3.2
地域包括支援センター	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

■具体的な課題や困っていること

当地区の日向台ではなり手がないのか、欠員のままになっている。
70歳前後の方達は自分の家族以外関心がない！目立ちたくない。個人プレー。
活動場所（公民館）までの交通手段がない。送り迎えの人材がない。80歳を過ぎても一家の働き手と考えている家がある。こんな活動を遊びと考えている家庭がある。ボランティアをするより仕事の方が大事？（優先する）
最近特にコロナ禍により活動ができない状態が続いているため、訪問ができない。仕事をしているため、思うように動けない。
自治会役員等との情報共有が少ないため、民生児童委員の候補者がわかりづらい。区内の班離脱者情報などがわからない（特に高齢者情報）。
コロナ禍で行って見ようかなと思っても、相手側が来てくれない方がよいと思っているかもなので、躊躇うことも少なからずある。
民生委員のなり手がいない。小学校で数人の子どもが授業の妨害をするとのうわさを聞いたりする（児童委員に連絡するだけ）。校長先生など直接聞く勇気はない。先生達も頑張っているのにと思ったら聞けない。
高齢化によりサロン会などや区の行事参加が難しくなって参加率が悪くなっていること。若者も子ども達の行事など、共稼ぎなどと勤務時間（交代制）などで区の行事などに参加者が少ない。メンバーはいつも同じ!!班によっても参加率に差がある。昔からの班の方は参加率がよいがアパートの方が多い班は参加率が低い。
仕事との両立。他のメンバーに負担をかけている。「気にすることではない。お互いに協力して助け合うから」と言われる。活動参加時には積極的にしている。セミナーや養成へ参加しづらい。住民からの相談の内容や経緯や結果をメンバーに報告時、一線を引き行動しているのですが、便利屋にならぬ様とか民員に言われたからとか忠告される。
民生委員、児童委員のなり手がいない。見つからない。
情報得るのが難しい。昔は人が集まって、つまり井戸端会議でいろいろと情報を得たものですが、田舎でも隣は何をする人ぞで、顔を合わせる事が少ない。つまり個人情報重視されますので。近所の人（男性）が庭に倒れたので助けを求めましたが、まわりの若い人はお勤め。そして残っている人は高齢者のみ、家まで高齢者2人でやっと家まであげました。その後入院され現在もです。
地域課題…防災について。医療的ケア児や、障がい者の保護者より、医療的ケア児は酸素吸入の機材や充電機が必要なため、避難場所への移動が困難とのことだった。高齢者を含む社会的弱者への避難体制を地域で整える仕組みをつくってほしい。また、日向市の防災推進課が市内の区長に対し、防災計画を立ててほしいと依頼されているが、ほとんど計画できていない現状とのことだった。もっと、日向市役所が主体となって、計画策定を急務としてほしい。今、震災が起きたら、被害にあわれるのは逃げられない人達だと思う。
高齢者などへの訪問の頻度が適切かどうか？
住民主体、住民自治をどうすすめるか…。いつも悩んでいる。多世代交流も含め、地域の課題を話し合い、共有できる場づくりがなかなか難しい。公民館で不定期にそうした話し合いの場をつくれぬか。地区で目標を共有できれば、それぞれのメニューに担当者を配置していくのはあくまでも地区、地域の仕事です。

<p>以前、バリバリ地区の役職をされていた方達が 80 代～90 代になられてお世話される方になり、60 代～70 代はまだ仕事をされている方が多く、地域の活動のリーダー不足を感じます。切二では、高齢クラブ、女性部、ルーピンの会、民生委員サロンなど活動が類似しているので統一したり、活動内容の見直しなども必要なのかなと思います。今まで通りという意識も時代の流れとともに変えることも必要だと思います。</p>
<p>活動したくてもコロナ禍で難しく、顔をあわせての情報収集もできていないのが現状です。</p>
<p>コロナ感染予防により年間の行事予定が中々順調にできない。</p>
<p>コロナ禍で活動の時間もつくりづらいし、情報も得られず活動もほとんどしていない。</p>
<p>サロンや百歳体操の会員さんも高齢化に伴い、公民館まで来るのが難しい方が増えて来ている。仕事をしている委員さんも多く、活動計画を立てるのにも非協力的でひとりの人に責任が重くなっている。</p>
<p>区画整理で区が大きく（西 1、2 丁目）なり世帯が増えたことで従来の公民館では、区民が集まって諸活動する上では手狭になり、今後大災害が発生した場合一時避難所としても、今の場所では困る。</p>
<p>定年（60 歳）が今では 65 歳 70 歳となり、75 歳でもバリバリと仕事のできる人がいる。現在は会社を定年した人でも継続雇用で働きシルバー人材に行き、私のように無職の人がいない気がするので人材確保が難しいのではないかと。</p>
<p>高齢化により、いろんなこと（スポーツ等）ができにくい。みんなで何かを始めようとする人達が少ないと思う。マイナンバーポイントも私はいらぬという人もいた。</p>
<p>地域住民の高齢化が進む中、働く方の年齢も上がり協力してくれる担い手が不足している。民生委員（なり手不足）や区で立ち上げた〇〇部員として協力する人がとても少ない。活動に必要な情報（市からの高齢者名簿）が得られず、ここ近年 65 歳以上の方々が不明。おまけに区からの世帯票も個人情報との理由で見せてもらえない。</p>
<p>民生委員のなり手がいない。</p>
<p>自宅訪問が少なくなっているので健康状態をなかなか目にする機会がなくなったので心配だけです。</p>
<p>まだ、現役で仕事をしているため、活動と仕事との両立。</p>
<p>個人情報のしぼりが強く、どこまで踏みこんでよいのか、必要な支援に対するときの躊躇感あり。</p>
<p>高齢のため。腰や膝が痛いため。</p>
<p>コロナ感染拡大のため、地域の行事など中止となり住民同士のコミュニケーションが取りづらくなっている。地区外からの転入の方はいるが、シェアハウスだったり、会社の保有だったり、居住する方の動向がよくわからない。</p>
<p>高齢者対象にサロンを開いて活動を行っていましたが、コロナで全く活動ができていなくてひとり暮らしの方とのふれあいがなく、お互いにさみしい思いをしています。</p>
<p>コロナ禍で活動ができない。活動しても不安があり、積極的に参加呼びかけができない。</p>
<p>コロナ禍もあり活動が低下している。</p>
<p>活動の目標などの共有化が図りにくい…について。社会福祉協議会より、特別賛助会員募集を民生委員がやらなくてはならず、区長の理解が得られず苦慮しています。特別賛助会員募集は、強制ではない…との社会福祉協議会さんの趣旨にて毎年の協力が出来ないのが現状です。</p>
<p>手伝ってくれるボランティアが少ないこと。歳を理由（80 歳以上の人は）に断られる。</p>

<p>コロナ禍で家庭訪問が難しく、近所の人は買い物などでお見かけし声かけするが、遠くの人の場合、困難である。</p>
<p>新たな人材などの確保が非常に難しい。</p>
<p>新たな人材確保ですね。区でもですが、ひとつの役が終わったと思ったら次の役が…。だいたい同じ顔ぶれです。民生委員は児童委員を兼ねていますが、できたら高齢者宅への訪問関係だけをしたいです。自分の家のこと、親のことなどなど、やることはたくさんあります。抱えている高齢者の人数も相当です。あれこれ仕事を増やすより一点集中でやりたいです。また定例会の時の書類が多いです。簡潔化された仕事内容だとわかりやすく意欲も湧いてくるのでは？と思います。</p>
<p>地域活動のメンバーがマンネリ化していて新しい力が育たない。</p>
<p>民生委員が相談にのれる（関われる）案件をもっと明確化していただき、地区会などで教えてもらいたい。</p>
<p>その他に○をつけましたが、「5. 人間関係が難しい」なのかもしれません。「難しい」まではないですが、スムーズにいきたいです。思いやりのない言葉を聞くことがあり（民生委員の間で…。お互い様なんでしょうけど…。）。</p>
<p>若い（年齢）世帯の自治会加入率が低いため、新たな人材などの確保が難しい。</p>
<p>高齢化により、活動場所の移動が大変。コロナ禍で思うように活動ができない。</p>
<p>私の地区も高齢者が多く、役をしてくれるような人がいない。</p>
<p>人ごとを我がごととして捉える「地域の強化」。年々地域の中で支え合い、助け合うという気風が薄れ、高齢化も進み担い手が減少していく今だからこそ、地域で支え合う一歩につながればと福祉部の班長がその一員となる制度の設置を呼びかけているが未だに実現しない。</p>
<p>いきいきサロン、ルーピンの会。集まってできないので1ヶ月に1回は訪問している。努力している所。「仲間をふやしていく」。高齢化が進んできて、亡くなったり、施設に入ったりする人が多くなってきています。</p>
<p>人材不足とコロナ禍による自粛での、通常活動でさえなかなか計画通りに進まないこと。</p>
<p>コロナ感染防止対策により、普段の行動が制限され、会長就任後、4～5人ごとの座談会が全くできていない。日頃の悩みごと、災害時の避難方法など話し合う機会を早く待ちたいと考えている。高齢化は待ったなしです。3年振りの盆踊りも結局中止となり残念です。伝統文化行事が廃れるのが心配です。</p>
<p>10年ほど前に個人から借用の区公民館が老朽化により解体。コミュニティセンターがあるため、活動拠点として利用するも令和4年3月で廃止されたために近くに集会場所もなく（漁協は有料）活動が鈍化。集会も情報の伝達も不便となった。新公民館までは多くの高齢者は車運転も望めず徒歩での集会参加は望めない。コロナ禍でもあるが、区活動、集会ができない状況下である。</p>
<p>もしものことを考えると、コロナ禍ではどこまで行動してよいかわからないところが多い。何もしないと横のつながりがなくなるが、何かやって、もしもコロナとか考えるとやりにくい。</p>
<p>自治会の加入促進について、ゴミステーションや防災だけでなく各種イベントの案内もしたいのだが、コロナ禍でイベントが開催できない点と、前回から数年空いているので担い手が少なくなっている。</p>
<p>自治活動に対する住民意識の希薄。隣人関係の希薄。</p>

<p>高齢化が進み、なり手がいない。仕事をしている人、農業などの人では多忙なためできない様である。よって、年金暮らしの高齢者がすることになる。</p>
<p>コロナ禍で活動できない。</p>
<p>高齢化などで班長のなり手が少なくなっている。2世帯だけで班長をしている班がある。これからそういう班が増えていくのではと心配している。</p>
<p>リーダーや役員のなり手がいない。</p>
<p>自治会役員選考の際、役員のなり手がなくて困っている。民生委員の改選に新たな人材の確保に困っている。</p>
<p>老人クラブが後の担い手がなく解散してしまった。モデル地区となり避難行動要支援者の個別計画を作成したが、実効性に乏しい。</p>
<p>高齢化の加速化による担い手の減少が一番の課題であり、地域での各種事業が実施できなくなりつつある。また、世帯数の減少で自治会の財政も厳しい環境になりつつあるのも課題と言えよう。</p>
<p>高齢化率が高く地域の担い手がいない。また、自分の生活を維持するのが精一杯で他人のことを考える余裕がない。個の生活を優先して、地域のことを考える人が少なく、区長、民生委員などの選定にも苦労しているのが現状である。</p>
<p>福祉活動を担っている人達の高齢化により、人材が減少していつているが、新たな人材がなかなか見つけにくい。</p>
<p>①70歳以上になっても生計のため働かざるを得ない人が多く、自治会活動ができる人が非常に少ない。今後、役員のなり手不足で解散もあり得る。②個人情報保護のため各家庭の同居人数を把握できず、災害避難や事件、事故など発生時に適切な対応がとれない。</p>
<p>リーダーや役員のなり手が少ない。このまま区の存続があやぶまれる。</p>
<p>区費の徴収（高齢者増のため）。公民館建設資金。</p>
<p>仕事をしていない年頃の方がほとんどいないため、仕事をしている方々に役員など打診しても断られる。</p>
<p>死亡、移転（住居）により区長の減少。活動のための場所がない。区の公民館がない。</p>
<p>高齢化が進み、役員のなり手がなかなかいない。人口が減少。今まで行われていた行事ができない。</p>
<p>高齢化が進み人口減少によって、地域の担い手不足から、いろいろな行動に対する活動づくりが困難である。コロナ禍により、年間行事が中止になることが問題。</p>
<p>自治会へ参加していただけない世帯が多くなっている。</p>
<p>民生委員がみつからない。区未加入世帯、団地の方は勝手に辞めたりが多く、未加入世帯を加入世帯にアップさせることは無理だと思う。入ってもらったと思ったら、一方で辞めている。たちごっこの様で、何を基準に増えた、減ったというのだろう。</p>
<p>民生委員・児童委員の引き受ける方がいない。引き受けても高齢者の方が多く若い方の参加者がいない。とくに、70才の方でも国は働いて下さいとPRする。この問題は厚生省で対策を考えてほしい。</p>
<p>若い人が出ていくので役員をしてくれる人がいなくなる。後から区に入って来てルールもわからずえらそうにしている。区の総会に出て来ない（後からの入居など）。管理組合の意味のわからない人がいる。</p>
<p>①区としての活動をするためには、区民（所属加入してもらう）の増加が必要ですが、約50%しか加入していない。区民だけでは十分に活動できない。</p>

<p>①1. について、班長が決まらない班が多い。その理由は高齢者のひとり暮らしの世帯の方は区費の徴収をすることが困難だったり、区の行事に参加できず結果的に自治会退会となることが多い。②2. 3. について。老人会の会長が病気で退任し、後任がない（高齢者が多い）ため活動が中止している。その他、区の役員も、改選の時期には区長はじめ三役、他のリーダーの選任に頭を抱えることになる。高齢者人口は増加するが、高齢者（クラブ）に入会する人の増加は見込めない。何となく世代が違うように思える。</p>
<p>コロナ禍で活動ができない。役員になれる年代の加入者がいない。</p>
<p>現在会員が 57 名であるが、新規入会者が少なく高齢化が進んでいる。役員、班長などのなり手が少ない。運営費に切一区、市の助成金、会費を充てているが十分といえない。</p>
<p>会員 39 名中、各種行事と実施しても参加者は、限られた人で単数程度である。</p>
<p>呼びかけをしても新規加入者がいない。高齢者が多く役員になってくれる人がいない。コロナ禍で定例会もできなくなり、コミュニケーションがとりにくくなってきた。</p>
<p>女子会の活動において、仕事をリタイアして自由に活動できる人がいないのが悩みです。私自身も後期高齢となり行動力のある人がほしいです。</p>
<p>コロナ禍の中で、手話講習会も継続できなかつたり（会場が使用できず休講）で、会員減少。</p>
<p>団体としては人材の確保やコロナ禍における活動もあるがモチベーションを維持することも困難になっている。会員もまた社会的責任が大きくなってきているため、以前のような自由さを持って活動することも困難になりつつある。</p>
<p>移動方法、サポートがない。高齢者、障がい者。</p>
<p>H18 年の障がい者自立支援法施行以来、障がい者が障がい者団体に入会しなくなっている現状がある。特に H25 年からは顕著である。その理由は①自分の要望する福祉サービスなどはほとんど（無料で）利用できるのので会に入会して運動する必要はない。②会に入会することによって会費の納入および自分の時間を拘束されたくない。との考えがある。</p>
<p>高齢化によるものだと思います。それと本人の意識がほしい。</p>
<p>人材確保については、特に看護職、介護職の確保が困難な状況が続いています。またコロナ禍により、特に福祉施設職員などに課される各種制限による精神面も含めた体調管理が困難な点も大きな課題です。</p>
<p>工賃向上のため、清掃作業や農作業を中心に活動している。現在、清掃作業では日向市役所トイレ清掃、あいとびあの定期清掃作業に取り組んでいるが、移動時間がかかるため、近場（南部方面）での清掃作業がほしい。農作業にも取り組んでいるが、利用者的高齢者もあり身体への負担を減らすため、農機具の購入を検討したいが金額が高い。売上＝必要経費＝工賃のため、あまりお金をかけられない。出費を減らすことが工賃アップにつながってくる。コロナ禍になり、外販に行く機会が減っており、野菜の売上が減っている。</p>
<p>日常的に人材不足。特に夜間勤務を行う職員の担い手が年々少なくなっている。</p>
<p>国は保育関係予算として様々なコンテンツを掲示されており、県もそれを受け予算化しているにも関わらず、日向市ではそれを活用するかどうかの議論も起きていない状況です。保育体制強化事業など、現場や子育て中の保護者が必要としている事業などについて、自治体や市議会議員、我々施設関係者と学びあい、協議していく場が必要だと感じています。</p>

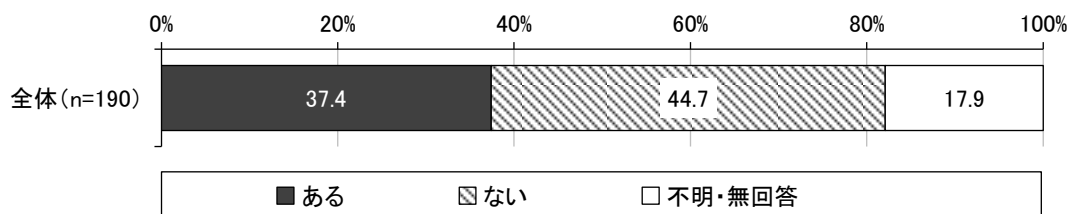
<p>障がい者世帯の見守りについて、以前若くてお元気な家族とふたり暮らしの利用者の世帯でご本人ではなく家族の自宅での死亡事故がありました。</p>
<p>現在の報酬体系は、月平均利用者工賃により単価が設定されています。工賃向上の努力を行っていくことは利用者の生活に直結するため当然のことです。しかし、重度障がい者も受け入れ支援していかななくてはならない制度の矛盾を感じています。</p>
<p>送迎加算について、数年前ハイブリッド車の普及による燃費の向上を理由に送迎加算の減額が行われました。当事業所は田の原地区にあるため送迎は必須です。毎日平均延べ250キロメートル以上の運行を行っています。実際当事業所の送迎に使用する車両はハイブリッド車ではなく、年式が古い車両がほとんどです。また、どの車両も耐久年数ギリギリまで走行させている現状です。全国一律ではなく、それぞれの地域性を考慮する柔軟な制度、もしくは市町村独自の制度の創設をお願いしたいと思います。</p>
<p>食事提供体制加算について、この加算は現在経過的措置となっていますが、食事提供を行っている家族が高齢であったり、障がいがあったりするため、果たして栄養バランスがとれた食事がとれているか疑わしい世帯があります。利用者のほとんどが自炊できませんので、当事業所で提供している昼食によりかろうじて健康維持が保たれている状況もあると思います。これ以上の加算減額および廃止となりますと食事提供を辞めざるを得ない状況となり、昼食持参に切り替えるとインスタント食品、レトルト食品、コンビニエンスストア弁当や総菜などに偏り、中には昼食を削る利用者もでてくる可能性があります。そうなりますと、これまでの事業所における一連の支援の一部が欠損し、メンタル面や実際の作業、工賃にも影響がでると考えます。なお、弁当をまとめて注文するにしても当事業所まで配達してくれる業者はいません。現在当事業所の給食は安価で提供させていただいていることから、利用者世帯の生計にまで影響がでてくることになります。例えば当事業所の支援が充実していたとしても、交通の便がよく弁当を配達してくれる市街地に近い事業所を選択する方もでてくる可能性は否定できず、それは経営難に陥ることを意味します。この加算についても全国一律ではなく地域性による加算の存続、あるいは市独自の取り組みを期待します。</p>
<p>1. 求人募集に対して応募者が少ない。職員の高齢化に伴い夜勤ができる職員が少なくなった。4. 利用者の食事支援に時間がかかり、（朝、夜約2時間）活動の時間が少なくなっている。</p>
<p>保育士不足が顕著に表れており、欠員補充ができない（求人を出しても問い合わせすらない）。みやぎ安心セーフティネット事業に加盟しているが、保育士不足で、相談員である主任保育士が保育現場に入ることも多く、受け入れを断ったことがある。</p>
<p>当事業所においては問題があれば、まず自己解決の道を探り解決に当たっているため、特に課題は感じられないが、地域の課題や住民の課題において当方が役立てられるのであれば、社会貢献は当法人の目的のひとつであるためできる範囲の協力をしていきたい。</p>
<p>特に今困っていると感じていることはありません。コロナ禍の中、行事の実施（開催）を迷うところはあります。人数制限や感染予防対策をとっているが、不安はあります。子ども達が喜んでくれる行事をこれからも工夫して行きたいと思います。</p>
<p>情報共有の場がほしいので、同じ悩みを抱えていたり、ともに学んでいけるような施設とつながることができるとよいと思う。</p>
<p>現場はギリギリで回している現状で、新たな人材確保も困難で活動も難しい。</p>
<p>理事や評議員など高齢化してきているが、代わりを見つけるのに当てもなく苦勞している。</p>

<p>保育士のなり手が少なく、保育士の募集をかけてもなかなか集まらない。以前は園庭開放で地域の方も園庭に入って、一緒に遊んだりなどの活動ができていたが、コロナ禍により、それができていない。</p>
<p>現在は、コロナ禍においても児童館は開館し、行事も実施することができている。ただし、参加人数の制限をかけて少ない人数となっている。制限をかけることは仕方がない。が、それによりいつも同じ子ども達の参加になってしまっていることは問題のひとつである。※児童館は開館しているが、児童クラブの子ども達が中心で、一般児童の来館が少ないことで、行事への参加も児童クラブの子ども達が中心になっている。</p>
<p>自治会との連携を図る機会がコロナ禍のもとでは厳しい（施設見学ができない。職場が現場を離れて活動できる時間を確保することが困難など）。</p>
<p>人材不足により通常業務以外の付加業務を担う余力がない。</p>
<p>人材不足により活動に割り当てる者が確保できない。むしろ慢性的な人材不足により本来の職務に多大な影響がでてきている。介護職員や看護職員は求人を出しても、ほとんど応募がなく、人材を確保しようとする待遇面（給与）などを上げざるを得ない。それに伴い、支出に占める人件費の割合が増加し、経営への負担が年々大きくなってきている。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、不特定多数の方との接触を避け、不要不急の外出も制限し、「かからない、持ち込まない」を実践している中で、どのように活動することができるのか不安がある。</p>
<p>地域包括職員のなり手がいない。</p>
<p>包括支援センターが創設されて10年程度経つが住民に対しその役割などの周知を十分に果たせていない。介護保険制度の利用方法などに関する住民への周知が十分ではない。当事業所が相談機関という位置づけであるために、定員などの概念はなく、所属職員について休職や離職があった場合に、極端に相談対応などに影響を及ぼすことが想定される。市内各包括の相談対応について、違いや差があると思われる。標準化への取り組みが必要と感じている。</p>
<p>日向市の自立支援協議会はどのような活動を行っていますか。</p>
<p>コロナにより研修や会議、または実習の機会の確保などそれぞれが難しいように感じております。以前より他事業所との交流の場も少なりつながりも減ってきているのではと思います。</p>
<p>人材確保。CMが少ない。包括の業務が多く、人気がない。</p>
<p>学校と地域と連携は必要不可欠だと考えます。その一方で職員の異動があり、着任1年目はよくわからないことも多く、戸惑いがあります。学校を会場とした交流活動もコロナの状況によっては中止せざるを得ない場合もあります。校内や学校間ではオンラインの研修やミーティング集会などもできるようになりましたが、学校外の方々とはまだ十分ではありません(本校だけかもしれませんが…)。働き方改革を進める中で、担当業務の精選も欠かせません。顔を合わせて話すことはとても大切で、連携を図るためにはそれが初めの一歩になります。時間、場所、内容、どれにも課題があると感じています。</p>
<p>関係機関、一般住民含め全ての方々が、精神障がい者への関わりに困っているのが、地域として精神障がい者への関わり方が課題のひとつではないかと考えます。</p>
<p>何の活動を行うにつけても人材の確保が難しい。</p>
<p>新任保護司の確保が年々難しくなっている。</p>
<p>個別課題や地域生活課題が多様化する現代において、自治会の加入率低下もあり、自治会では役職のなり手不足に喘いでいる。民生委員児童委員が市全体で現在6名欠員となっており、小規模の自治会や高齢化率が高い自治会においては確保が難しい。不在（欠員）地区の地域住民より生活に関する困</p>

り相談があり、必要性を感じている。また、新型コロナウイルスの影響により、これまで自治会内で立ち上がっていた住民主体型活動（百歳体操など）も、感染を心配するあまり、活動休止を長くされていた小規模の自治会においては、担い手減少や高齢化により再会が難しいところも出てきている。

問7 活動をしていく上で、あなた(または貴団体)は市や社会福祉協議会に相談したいことはありますか。

活動をしていく上で市や社会福祉協議会に相談したいことの有無についてみると、「ある」が37.4%、「ない」が44.7%となっています。



【団体別クロス】

上段: 件数 下段: %	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	71 37.4	85 44.7	34 17.9
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	24 30.4	37 46.8	18 22.8
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	18 37.5	20 41.7	10 20.8
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	3 30.0	7 70.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	15 48.4	13 41.9	3 9.7
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

■具体的な内容

1人で行けない所がある。時間外、夜間に直接相談ができること。
地域福祉部を市内全区に設置すること。※日向市が主体で、各区の福祉部員の活動内容や活動上の制限などわかりやすくまとめたものを配布してほしい。
地図上に住んでいない人の名前などを載せないでほしい。施設入所、死亡を明確に調べて、大きな文字の氏名を記入してほしい。
市などにはない。社会福祉協議会にはある。コロナ禍になって活動日数などが少なくなったため、百歳体操、サロン会などでの相談。活動以外は市に相談している。
人の紹介する時やその人物について「市役所のOB…」と伝えてくる。のであれば民児協の方々は、行政機関のOBにOGの方々に限るにすべきではなかろうかと思う。この意識がある限り、地域住民との一体は難しいと思う（上から目線）。ひとり世帯の方へのサロン参加をすすめる時に「淋しいでしょう〜？」と決めゼリフ声かけをする民児員。私はひとり世帯ですが、多数人の中で孤立するのが孤独感で淋しい。普段のひとり生活に淋しいを楽しいと思う私の様な人もいると思う。
コロナワクチンの用紙を捨てたと言われ、市に用紙の追加にお願いに行きました。
百歳体操教室の実施をコロナ禍での是非。
①社会福祉協議会会員制度のあり方。一般会員、年間500円（一世帯）。全世帯にきっちり募集しているか。区に加入していない世帯はどうしているのか。特別賛助会員は廃とするか、民生委員の活動から離してほしい。②避難行動要支援者（名簿）の取り扱いについて。その他。
数年前より区総会で取り上げられ区で建設委員会を立ち上げ、区民で積み立てをしているが、新たな建設地移転問題が発生し難航している。
コロナ禍で高齢者相手の活動が多い分、感染予防に注意はしているが万が一、うつしてしまったり私自身基礎疾患だったりと思うと、もうひとつ乗り気にならない。コロナの沈黙化を待つばかりである。
以前のようなつながり研修でそれぞれの職域の方々との顔を合わせて話し合う研修の機会があるとよい。年月を経て、市の担当の方も社会福祉協議会の民児協担当の方も次々と変わる中で、変わらずに引き継がれていくものの再度確認は必要と思う（あんしんカード、世帯票など）。
数多あり。猫の害。庭木の繁茂、ゴミの問題。金銭的に困っている人へのお金の貸与。
高齢者が多く免許証を返納されている方が多く、通院や買い物など、親族がおられる方はよいのですが、ひとり暮らしの方は不便な思いをされています。特に急に具合が悪くなった時は救急車をお願いするしかなく、タクシーでは料金が高くて二の足を踏む方も少なくありません。低料金で利用できるシステムを考えていただきたいと思っています。高齢者にも優しい市であってほしいと思います。
賛助会費が遠見自治会は、以前には1戸140円で納入していて、それが500円納入することとなり、この特別賛助会員徴集の理解が阻まれているのではないかと考えます。理解して貰えるために区長連合会等で説明をして下さいますよう、よろしくお願い致します。
仕事をしている以上、地域の見守りが手薄になっています。私の担当地区が家族的な地区なので助かっていますが、今のままではよくないと思っています。他の方はどうでしょうか？
市で対策などを考えるとき、各地区の地域性を考え区と連携して考えてほしい。

要保護児童の問題行動（地区内での）。コロナ禍での高齢者への対応（サロン開催の有無。訪問回数 の確認など）。
地域に気軽に行ける。居場所サロン。交流の場ができないかの相談。
90歳近い高齢の女の方で、夕ごはん、家の掃除、デイケアなど包括の人に相談してやっているが、 年金をもらっているものの、お金の支払いが多くて。また家賃や共益費などもあり、苦しい状態 です。何か補助とかないのでしょうか？
地域福祉部の設置が45地区で足踏みしている現状をみたとき、何らかのアクションを起こさないと いけないのではないかと。例えば今回、社会福祉協議会が市と協議を1つ作った「地域福祉部につい て」を基にして大字区ごとの区長会なり区の班長会に、市、社会福祉協議会、民生委員が同行して理 解していただくとか。
民生委員になっていただく人がなかなかいません。ひとり育てていましたが御主人が亡くなり、引 越して行かれました。
住宅の改造。安全に生活して行くために手すりなどの設置など。
あることはあるが、まずは地区内で協議し進めていきたい。
寄付金など市や社会福祉協議会などの要求が区民減少などにより難しくなっている。民生委員・児 童委員もなり手が少ないのは何故か、行政、社会福祉協議会、議員などの皆様考えて見た方がよいの では。老人ホーム、介護施設などに補助金を予算化して委託しては。
区の行事として毎年区内での清掃活動を50年近く実施してきたが、次年度から刈り取った草などは 区で調達した車で持ち込みを開いている。運搬車の調達には謝礼などが発生するために区の会計負 担となるが、区民ボランティアで実施する活動まで区負担となれば、次年から実施しない。社会福祉 協議会へ…日常食料品の買い物をする店がなくなり近い所でイオンとなります。一人世帯や高齢者 夫婦世帯の中には頼める家族もなく、徒歩、自転車での買い物姿を見かけます。買い物弱者の救済対 策を具体化してほしい。
どんな活動でも参加者が同じ様な人達ばかりなので、もっと全体を取り込むことができるようにし たい。何かいい方法があれば…。
他の地域の活動状況。何か好例があれば教えてほしい。
老人クラブの担い手がおらず、解散してしまったことや、モデル地区となり避難行動要支援者の個 別計画を作成したが、実効性に乏しいなどの問題の解消。
高齢者の見守り活動を実践する段階で、活動のあり方について定期的に指導・助言を受けている。 特定空き家対策。
活動の拠点となっている公民館が建築してから数十年が経過し、老朽化してきている。今後、活動 を行っていくうえで建て替えをしなければならないが地域的に用地の確保が難しいので、市の支援が 必要である。
地域が高齢化し子どもがいない。神社祭りなど人の楽しむ場所が衰退している。社会福祉協議会に は大変だが頑張してほしい。
公道（市道、里道）の草刈り作業、清掃作業など。自治会の負担及び担い手不足（住民の高齢化）。
区費を区のために使用するのではなく、社会福祉協議会や日本赤十字日向地区募金、赤い羽根共同 募金へ支払わなければならないのか。
高齢者宅の訪問など。民生委員の役割ではあるが、民間事業者等に一部やってはもらえないものか？

①民生委員になれる様な方を紹介してほしい。②高齢者に限定することになるが、地域にあるデイサービスの職員さんに民生委員の様なことは頼めないか？区から委託料を支払う方法…など、モデル地区として考えられないか？今後、ウチの様な無手の無い所が増えてくると思う。新しい考えなど取り入れてほしい。
高齢化により、ふれあいカード。訪問して聞き取りひとり暮らしの情報。
空家を減らして下さい。なるべく若い人の入居を！
個人的には区長と民生委員とのお付き合いはできているが、民生委員全員と区三役などとの定期的な会議、交流会が必要ではないかと思います。
民生委員を通じて、年数回講義（内容いろいろ）の実施。
組織の一員であることの自覚の向上。高齢者団体の僅少に伴う強化策。
中高連の会議で新規加入者の確保や役員のなり手などの件で話し合ってもよき実行すべき案がでにくい。三役の方はよく努力をしてくれています。
市に対して手話活動に対して要望したり、社会福祉協議会に対して、会場使用や助成金の依頼。
今の時代はグループや団体という組織が育ちにくい、ある意味合理化、システム化された世の中であると思います。しかしどんな合理化されてもグループ、団体はなくならないと思いますので公益に資する団体の育成、情報発信及び活動を継続させるための支援や援助を相談したいですね。
積極的なボランティア、派遣組織の仕組みの構築。
市からの情報が文字情報だけなので困っている。
市…障がい者団体の活性化に向けて（障害者手帳交付時に丁寧な説明および入会の勧め）。社会福祉協議会…ボランティア団体の活性化と障がい者団体との連携強化（障がい者団体と同様に高齢化による会員の減少があるが、ボランティアの意義や魅力などを発信してもらいたい）。
個人のプライバシーに対する考え方の変化や、法改正に伴う三障がい一元化により、利用者の障がいの形態が多様化するなど、施設建設当時の基準では対応できない状況がございます。利用者のQOL向上のために、築39年の施設本体を建て替える計画としていますが、コロナへの対応や資金面の不安もあり進捗が滞っております。つきましては、日向市に建設地の取得に関連した各種規制や施設整備に関する助成金などについてご相談させていただきたいと考えております。
清掃作業場所の情報。
新規事業や人材募集に関する広報を含めた財政的な援助。
現在、幼児教育保育に携わる施設に関する団体はまとまっていない状況です。幼児教育保育に関わる施設が一体となって日向市の抱える諸問題の解決に取り組むような団体が必要だと考えております。そのような団体の立ち上げを市や社会福祉協議会が声を上げてくださると助かります。延岡市では保育団体と市が協議のうえ、新卒の保育者が延岡市内の保育園に就職する際の準備金として50万円を貸し出す仕組みを作られました。これは県の少子化対策の補助金を原資としているとのことです。施設がまとまっていくことで、子育て中の保護者や現場の声をしっかりと市政に反映させていくことができるようになり、そのような環境の構築が重要だと感じております。
食事提供体制加算について。
あかつき学園は、昭和44年7月に障がい児入所施設（自動定員：50名）として開園したのですが、少子高齢化のためか定員割れが続いています。そのため、障がい者支援施設（成人）を併設し、平成27年には成人30名、児童10名に定員を変更しました。しかし、現在児童の現員は3名です。今後

も児童の入所ニーズが不明であるため、児童の廃止を検討する必要があります。知的障がいのある方の入所のニーズについて相談できる場所はないでしょうか。
発達で気になる子どもについての相談。虐待に関する相談。
児童館（センター）職員の待遇改善をお願いしたいと思います。児童クラブ職員との格差が大きい。相談したいが、どのようなことをどんな形で相談したらよいかかわからない。
市の方で、毎年入園児の割り振りをしているが、出生数の減少や育児休業制度の充実により0歳児の入園が極端に減っていくことが予測できる。3歳未満児を対象とした乳児保育園には、毎年一定の入園する0歳児がどうしても必要になる。決定前に相談する機会を設けていただきたい。勿論、保護者の希望を優先することが一番だとわかっているが、このままでは、経営が困難になることは容易に予想される。社会福祉協議会で、役員などの紹介や斡旋などはできないでしょうか。
コロナが落ち着いてきた時には…。児童館行事に、市内の児童クラブの子ども達を対象に参加させることができるようになるとうい。※ずっと前みたいに、各クラブ順番に参加を呼びかけで活動できるように相談したい（社会福祉協議会が運営している児童館と児童クラブだからこそ職員も子ども同士も交流できるようになると良い）。
活動を推進していくための助言（制度や組織の案内など）。
団塊の世代の多くの方が後期高齢者となる令和7年が間近に迫る中で、必然的に介護サービスの需要が高まることが明らかであり、それらを担う人材の確保が重要な課題となっている。ただし課題はわかっているが、その課題を担う人材がいなければ活動は維持することは不可能である。特に、ボランティアについては、地域福祉活動を推進していく上で欠かせない存在であり、活動へ参加するきっかけとなる情報発信などについて、コロナ禍の状況の中でどのようなことができるのか検討することすらできないのが現状である。
東郷は高齢者が著しく、今後の地域の在り方や支援体制についてどうしていくのか関係機関で話し合っていく必要があると思います。
生活困窮者の相談。
市内各包括の相談対応の標準化への取り組みについて。
東郷は高齢者が著しく、今後の地域のあり方や支援体制についてどうしていくのか、関係機関で話し合っていく必要があると思います。
保健所だけでは対応できないケースもあり、既に市や社会福祉協議会が関わっている場合は、対応方法を相談したいです。
対象の更生のための生活相談や「社会を明るくする運営啓発活動」の実施など。
安心カード。健康維持。

2 これからの日向市の地域福祉のあり方について

問8 あなた(または貴団体)がこの先(特に今後5年間)において、「もっとこんな活動をしたい」といった、現在の活動以外に取り組んでみたいことや、「地域でこんな存在でありたい」といった目指す姿があればご記入ください。

これまで通り、地道に関係機関や専門機関などと連携していくことが大切。
コロナで活動ができていない(いきいき百歳体操)。手仕事を持っている人が、小中学生に教える。自分自身が後期高齢者なので、いつどうなるかわからない。65歳~70歳まで今の方は仕事をされているので、こういった活動に参加するのは難しいようです。年金受給が昔は60歳、65歳からだったので老後は楽しくと言った言葉をよく聞いていましたが、今は老後も働かないと食べていけないと言う言葉をよく聞くようになった。
今後5年間と言ったら、老々介護の始まりで中々協力はできませんが、福祉部とかできましたらひとり暮らし世帯などの見守りの補助はできると思います。ひとりでは無理です。時間に余裕があればサロンの手伝いなどもしたい。
①区皆の方が安心、安全で暮らせる様な行動。②防災に対する活動。③区役員の活動(リーダーや役員のなり手不足)がなくなるように適切な指導者作りの活動をしたい。
高齢者夫婦+息子(独身)娘さん「仕事をしている」、この様な世帯内で、高齢者ひとり(夫)(妻)+息子(独身)娘さん「仕事をしている」、息子さんに関わる身のまわり(お弁当作り、洗濯、掃除…)をされている。元気の源と言いながらも、しんどいと口にはしている。
今の活動内容で精一杯です。
防災について、「誰ひとり取り残さない」避難計画を立ててほしい。策定について区長が主になり立てるのではなく、自立支援協議会の各部所や社会福祉協議会、社会福祉法人、福祉事業所、学校関係、病院関係など包括的に話しあえる地域ケア会議を開催していきたい。
地域の人が民生委員の活動を理解し、気軽に相談できるような存在でありたい。
私は今、民生委員と自治会の福祉部長をしています。3期目の民生委員の間、いきいきサロンの会員、ひとり暮らしの高齢者の多くが亡くなったり、介護施設に入居されました。地域福祉、つまり地域コミュニティの復権とは、社会的孤立と貧困(経済的な側面だけでなく)に対してどう向き合っていくかにかかっていると思う。高齢者はひとりで旅立つことへの大きな不安の中で日々暮らしています。地域の皆で慎み、死者を弔ってあげたい。そのためには、改めて不安、寂しさ、苦しさを「自己責任」ではなく、福祉部に「ふれあいサポーター」(仮称)を設置し、日常的に訪問、交流をして地域社会がひとつの家、家族としてのつながりを築きたい。そのために頑張れたら楽しいですね。地域の皆で笑顔で葬儀をだしてあげたい。
サロン活動を行って高齢者皆様が活気、明るく過ごすことができるようになったと喜ぶ姿。
高齢者と子どもの交流の場をつくる。
今ある区福祉部員を増やし、ひとり暮らし高齢者宅の諸問題に取り組む。
美しい故郷(里山)づくりを全員(地区民)で進めたい。
今後益々高齢化の時代で、担当する地域にもひとり暮らしの方々が增多と思うので安否確認の訪問や、相談事の対応に多忙になると思うので、現在の活動以外の取り組みは無理と思います。
せっかくできた区の福祉部をもっと理想的な形に持っていけたら。

今のままで皆様と共有することの方が大切だと思っておりますので、今後が目指せません。いきいきサロンもまた立ち上げましたので少しずつです。
現在は、コロナできびしいが、色々な所に研修に行ってみたい。
高齢化の進行は確実に増大する。特にひとり暮らしの家は施設に入所したり、亡くなったりすると空き家となる傾向。シロアリ発生、草木の繁茂で環境が大いに損なわれるなど危惧をしている。自分ひとりではどうにもならないので行政的な方向、取組みが急がれると考える。
サロン活動やひとり暮らしの方へのお弁当の宅配など、見守りも含めて実施したい。
サロンに加入している人達の平均年齢が 90 歳を越えているので、新加入者を増していけたらと思う。
財光寺地区は要保護対策の件数が多いので、できるだけ改善されるようにしたい。
地域で高齢者のみならず、世代を越えた交流ができる。顔見知りになり、気軽に声かけ合う地域づくりができる。
介護保険対象外の高齢者の生涯対策。
多世代交流…多世代の人達から声かけられる存在でありたい。
地域力の回復を望みます。昭和 32 年に当地区の先輩達が「婦人会」を立ち上げ、女性の存在をアピールし、諸々の会則も決め輝いていました。平成 18 年に、その婦人会は区に参入することになり、自立した活動からのがれました。会長になる者が居なくなったためです。その当時の名簿の先輩たちはもう全員天へ召されたが、今の婦人部のありようをどう思われるだろうと。地域力の復活を願っています。
サロンや体操など、今後も引き継いでやってくれる人を育てたい。
まだまだ、そこまで気持ちがいいっていません。
コロナ禍のため、必要なことがまだ自分自身習得できていないので、何がどうなのかかわからないです。
主任児童委員としましては、やはり子どもとの交流や、困っている子どもがいれば何らかの手助けをしたいと考えますが、具体的には今の活動（相談を受け、親身になって話を聞く。専門の機関につなぐ。見守り（通学金））を充実させる。声をかけたり、仲良し（オーラ）を出す。機会があれば一緒に遊ぶ。これは充分状況を踏まえてであります。
民生委員をやめても積極的にボランティア活動等に参加したい。
誰もが気軽に交流できる場があるとよいと思う。
コロナ禍で活動も思うようにいかないが、何ごともまずは足を運び、話を聞くということを心がけている。しかしより多くの地域の人達が少しでも福祉に携わっていただきたく地域福祉部の設置をこれまで 3 回程班長会に参加させていただきお願いしている。7 月の班長会では班長を変化させることへの理解は得られたかと判断したが、時間の関係で結論は見ないまま終わっている。
子ども達への育成活動に重点をおいて行いたい、春原地区には地区資源がないので、どうしても地区外での活動がメインとなる。その場合の交通アクセスなどでの支援がいただけたら助かる。独居の方の見守りのあり方。
現在、健康福祉部を中心に百歳体操を毎週火曜日、公民館で実施している。それ以外にも、料理教室、カラオケ教室（機材あり）などしたいと考えている。健康が一番大事、男性の参加を進めていきたい。

若い世代の方は、区加入に対してメリット、デメリットで考え、人との関係を負担と考えられる方が多い様である。高齢者は、班長などになるのが負担となり、区退会者も多くなっている。多くの方が区に加入して地域でしかできない問題解決もあるので区加入推進を進めたい。
高齢者参加の活動が多いようだ。それはそれでよいが。もっと子育て世代がゆっくりと活動できるようなことができれば、若い人が増えるのでは。何か若者の方にも目を向けてほしい。
自治会として様々な困りごとを聞き取り、課題として支援、解決をしていく。身近な人が支援していく。
多くの課題に包括的に取り組むのに、自治会会費を一般会費、アパート居住者会費、企業会費などに分け、多様な自治会参画のあり方を考えたい。
防災意識の高揚。
コロナ終息後に、「百歳体操」を実施したい。
地区の小学生や中学生と地区民と一緒に活動できる行事を行っていききたい。
市の区画整理計画で広い道路ができたのではよいが、人のための道でなく、車中心で人が存在しない空虚さを感じる。
曽根区独自の防災組織、避難方法など現状に合ったものをつくりたい。
自治会の各部、代表者からの要望や意見を集約して現在の活動以外の取り組みがあれば、役員会などで検討し、自治会活動の範囲内で取り組むことができる。例、地域住民が参加できるイベント的なもの。
コロナ禍で難しいが、世代を越えた住民相互の連携。
福瀬区にはスマイルホーム 360 という福祉団体 (NPO 法人) の活動施設もあることから、団体と連携し、地区内高齢者との「ふれあい活動、レフレッシュ活動」を活動しており、他の地域のモデル事業として取り組む実践系計画を策定中であり、関係団体や行政の支援を願いたいと思っている。
高齢者など生活弱者が安定して生活していくためには、地域住民の支え合い、助け合いが必要である。誰もが安心して生活できるよう支え合い助け合いの活動を推進していきたい。
地域の絆を構築。環境対策（まずはゴミのポイ捨て対策）。
昨今の情勢では5年後のことは想定できない。
地域のリーダーでなく、地域住民全体で意見交換できる活動に積極的に参加したい。
まだ区長になったばかり。コロナ以前からあまり活動して区なので全てが白紙の状態。とにかく小さな相談でも真摯にスピーディに取り組むこと。これからです。
各区にも区長の日常作業が多く、大事な地域福祉に動ける時間が足りません。取り組んでみたい新しい活動を計画するには、忙し過ぎると思います。
区の加入促進。
区長はじめ三役、リーダーの選任が難しい状況下で、地域の活動がますます思ったようにできなくなると思われる。現在の公民館活動は班が主体となっているが、実情は区費の徴収と回覧板を届けるのが班長の役目であり、今後は班毎の活動を活発にできないものかと考えます（人間関係の希薄化を少しでも食い止められるのでは？）。
単独地域のみでの活動は難しくなってくる。地域全体活動2～3の団体による総合的活動。
独居老人宅への訪問。南部地区（老人センター）への専門相談員の常駐。
いつまでも皆が元気で過ごせる様に、活発に活動できる様に加入増を図りたい。

旅行、社会見学、陶芸など創作活動。このような活動を通じて、仲間意識、互助の活動につながると思っている。
早く、コロナが収束して自由な活動ができることを願っている。高齢者が安心して集まり、楽しく過ごせる行事。
長年の経験を生かした地域活動。例えば、子ども見守り活動（登下校時）。
私達のクラブは80歳代の会員が多く、リーダーをする人が少なく、70歳代の人達が加入してくれれば活気が出てくると思う。声かけをしているのですが反応がありません（しかし、声かけはしなくてはいけないと思ってそれなりに努力はしているつもりです。（自治会の広報を通じて））。
日向手話言語条例が制定されたが、まだまだ市民へ伝わっていない。いつでもどこでも手話でつながるような（交流、会話できる）日向市を目指したい。
自分たちが取り組みたいと思えるような活動を見つけたら、積極的に取り組めると思いますが、コロナと共存の道を探る期間になりそうです。
公民館利用と活動の活発化、コロナ禍で、行動制限や自粛で楽しみや活動が又、情報交換もできない昨今です。公民館や近くの事業所の連携で、Wi-Fiで遠くの子どもや友人に会える、会話も安全確認もできる！災害が来なくても、いつでも隣人と助け合う関係づくりがあるとよいと思います。IT化を若い人だけのものと決めては可能性が狭くなりそうです。
病気の理解と交流を図りたい（難病も300種以上あるが、組織化された団体と）。
会員との交流。
若い人が入りたい魅力ある団体でありたいと思うが、むずかしい。
今回のような、感染症などにより利用者とご家族が分断されない体制を、設備面も含めて構築したいと考えております。また、災害時などの受け入れ先として、普段は地域で生活されている障がいのある方々をバックアップできる社会資源のひとつでありたいと考えております。
精神障がい者の就労訓練の場＝とうきゅう農園くらいの存在でありたい。
緊急時にも心配なくショートステイを受け入れることができるように、セーフティネットの役割を担う。
(1) 日向市における離婚率を下げる活動。(2) 日向市における虐待件数を下げる活動。
①地域との連携を強化していきたいと思います。②利用者世帯のニーズキャッチシステムを構築したいと思います。
地域に貢献できる活動を行い、地域福祉の向上に役立つ施設を目指したいと思います。コロナ禍以前は定期的に、塩見川堤防沿いやお倉ヶ浜海岸、コンビニやスーパーの駐車場などのクリーン活動に取り組んでいましたが現在は行えていません。これらの再開に加えて、限定的になりますその地区の区長と相談して公園の除草などに協力できないかと考えています。また、障がいを持つ方達のニーズや課題を把握できるような相談会の場があればと思います。
「もっとこんな活動を…」というより、コロナ前のような活発な保育活動や子育て支援活動がしたい。With コロナの中で、まだまだ模索中であり新しい事業まで気が回らないのが現状。
高齢者が多い地域なので、子どもと一緒に高齢者を見守っていきたい。
伝承されていければと思う。
地域住民と協力した生産活動を行っていきたい。市内で活躍の場を望む人に、活躍の場を提供していきたい。

<p>コロナ禍にあり、活動の難しさを感じますが、児童センターをもっと地域の方と子ども達の交流の場として活動できるようにしていきたい。ひとり暮らしの高齢者の方や認知症の方、障がいのある方と子ども達が触れあえる場になればと思います。</p>
<p>子育てに関する情報や用品、コミュニケーションの場の提供。</p>
<p>地域とつながった活動、取り組みがしたいが、コロナ禍でどこまでできるのかわからない。</p>
<p>地域に根差した子育て支援の場所であり、子どもの育ちを大切に育む場所でありたい。</p>
<p>日向市で唯一の乳児保育園である。3歳までの教育・養護がとても大切であると考え、0歳児からモンテッソーリ教育を取り入れているが、卒園後その教育を継続する手立てが今のところありません。これを継続する施設や協力していただける園を探して連携できればと考えている。現在3歳未満を3年延ばすようにして保育の事業拡大を目指す。高齢者施設の新規事業を目指す。</p>
<p>コロナ禍が終わった時には、また地域の人々との交流事業を再開していくことで、地域の人々との繋がりをもち、子ども達の成長へとつなげていきたい。</p>
<p>コロナが落ち着けば…思い切り活動できるようになった時には、大王谷児童館をもっと知ってもらうためにも、地域の方々（幼児親子、高齢者、区長さん、民生委員さん）にご協力いただいて大きなイベントをやってみたい。</p>
<p>「地域に根差した施設」を目指し、家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応できるようにしたい。市町村自治体や各種事業者、保険・医療・福祉機関などと連携し、地域一体となったケアを積極的担っていけるようにしたい。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上も図っていきたい。「在宅生活支援施設」として自立した在宅生活が継続できるよう介護予防に努め、法人内及び他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減にも努めたい。</p>
<p>老人ホームと言えば、以前と比べると閉鎖的なイメージから地域福祉に根差した「存在」として認知されている。ただ、まだまだ地域住民からの「老人ホーム」という存在に対する認識は閉鎖的なイメージを持つ方も少なくない。地域福祉に根差した「存在」として地域住民に認識されるためには、施設を「地域福祉活動拠点」として地域福祉地域住民に開放し、地域住民同士のつながりづくりとなる「場」として、地域に愛され、必要とされる施設でありたい。</p>
<p>高齢者の実態把握に力を入れたいが、現状では、取り組めない現状にある。高齢者がいつまでも自分らしく生活が継続できる様に支援していきたい。</p>
<p>今後さらなる格差社会の到来が予想され、住む場所や、就いている職業、自身を取り巻くコミュニティで「もっている者」と「もたない者」に大別される状況になると思われる。高齢者や障がい者、女性や子ども以外にもこの「もたない者」に大別される方が、加齢や病気、失業などで生活課題が一遍に表出される。そういった方は課題を自信が感じるようになってからは、適切な判断を下すことが難しいケースを散見する。また、日向市においても都市部であるような貧困ビジネスの進出も予想される。イギリスにおけるセツルメント運動の中のトインビーホールの様な取り組みが必要ではないかと考える。</p>
<p>児童生徒の製作したものを販売する機会がほしい。</p>
<p>利用者の皆様がひとりでも多く自立、または就労含め目標に少しでも近づけるようにお手伝いができればと思います。地域を巻き込んで利用者の皆様の日ごろの成果を知っていただけるような環境を増やせればと思います。</p>
<p>目指す姿があったが新型コロナ対応に追われ、現在は見失いつつある。</p>

保護者が安心して子どもを預けられる保育園。
認知症の「偏見」をなくす活動。
地域包括ケアシステムの深化（コロナ禍により、進めてきていない）。
学校という場所が、地域の方々をつなぐ場所のひとつであり続けたい。
従来の活動がコロナ影響で実施できていないため、従来の活動をまず再開させたいです。
交通弱者（通院、買物ができない人）に対する移送支援サービス活動を行いたい。各自治会でできないことを担っていければと思っている。
地域で稼ぐ（経済を回していく）活動。
毎年7月中は「社会を明るくする協調月間」と位置づけ啓発活動に取り組んでいるが、まだまだ活動があまり知られていないので、もっと認知度を上げ犯罪のない安心安全のまちづくりに貢献したい。
災害時の避難行動のあり方。
これからも地域福祉を推進する団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進していきたい。

問9 問8でご記入いただいた取り組んでみたいことや目指す姿の実現に向けて、あなた(または貴団体)はどのような行動をしていく必要があると思いますか。

着任2年目で、まだまだ研修が必要。
ピーアール、地道に続けること。
老後を充実したものと思う人はお金をかけて好きな趣味やスポーツに励んでもらう。スクールバスのような交通手段で区内をまわって目的地へ行く。無料ではできないと思う(高齢者が増えるため)。有料で老後を楽しむ方法を考えた方がよいのではないか?
まずは曾根区にも福祉部ができるとよいと思います。
区の行事などに参加協力してもらえるように、PR活動や声かけなどを行い、また親子会、サロン会、等役員OBなどの力をかり取り組みたい。
高齢者の親のことで单身帰省してきた。施設利用はせずヘルパーデイケアの力を借りてお世話をしている。单身帰省者は息子さん、結局会社退職したが、この先が不安である…。ヤングケアラー等…総合的トータル的(おひとりおひとりの)な付かず離れずの様でお節介に似たお世話役的なアンテナ発信活動をしたいし、現在この様な団体があれば交流や学習をしたいです。
防災について、「誰ひとり取り残さない」避難計画を立ててほしい。策定について区長が主になり立てるのではなく、自立支援協議会の各部所や社会福祉協議会、社会福祉法人、福祉事業所、学校関係、病院関係など包括的に話しあえる地域ケア会議を開催していきたい。
百歳体操などの活動に参加しやすいような送迎などの支援。また地域内へのPR。
本年度から男性の方も参加する様にしていますが、この方達が積極的に参加できる様なサロン活動をしたい。
地域住民、学校関係など(学校運営協議会)に呼びかけ、地域住民に出番をつくってもらう。
ひとり暮らし高齢者宅で困っている世帯の買い物、掃除、庭の手入れ(草取り、剪定)電球の取り替など、有償ボランティアで行って行く。
まず、自分の家の回りを一年中きれいにすること。水を大事に、水を美しく、小川のきれいな里づくり。神社など昔からある場所をいつも風通しのいい所にすること。
ともに協力してくれる仲間づくり。気軽に相談、声かけしてもらえるように体制を整え、区と連携してPR活動もしていく。
現在の仕事の関係をもうちよっと休みが取れる様にしたい。
まず地域の現状の空き家の状況を把握する必要がある。その上で住まれることができる家、そうでない家を分類し空き家パンフとして登録し、努めて空き家をなくす方向へ進めるべきでは!
協力者。継続していく上での課題などがわからないので調査が必要。ボランティアで行うにしても多少の経費がかかるので資金をどうするか。
現在自分が仕事をしているため、十分なことができない。
なかなか難しい問題なので、どうしたらよいのかわからない。
送迎付作業所の必要性を感じている。(例)障がい者福祉事業所、B型の内容のようなもの(ナプキンたたみなどの手作業)。
自治会と一緒に行動していく必要がある。
昔は、区内を二つに分け運動会が開催されていた。当時の区長さんを始め、役員さん達が住民同士

<p>の触れあいを重視されてのイベントだったのでしょう。皆が参加できる行事を提案し、行動できたらと思います。</p>
<p>皆でやりましょう！気楽に!!と1人でも多くの人に声をかける。何もかにもリーダーがするのではなく、やれること、例えばイス並べやビデオの準備など手分けしてやっていこうという姿勢づくり（言えばすぐにやってくれる優しい人たちではありますが…）。</p>
<p>地区の方々にできる範囲でお手伝いできることを実現できればよいと願っています。</p>
<p>資質向上のための講習や研修に積極的に参加していく必要があると考えます。</p>
<p>粘り強く訴えていく以外にないが、市民の福祉活動の向上につながることであるので、市にはもう一歩前にでてほしいと感じています。住民に訴える力は私達とは比較にならないと思います。</p>
<p>まずは、加入率の向上による地区の連携強化は必須である。独居見守りについては、区の加入、未加入問わずと言いたいが、区加入メリットが薄れる恐れもあるため難しい。また、なるべく見守る側の負担にならない仕組みづくりも必要である。</p>
<p>毎月20日の定例運営委員会に提案し、自前で実施したいと考えている。</p>
<p>区民ひとりひとりが声掛けの必要がある。</p>
<p>若い人達と打ち解けたいが、なかなかできない。</p>
<p>どのような形がとれるのか、先進事例収集と規約の調査。各種会員の権限と義務および組織図への落とし込みなど。</p>
<p>防災訓練の実施。</p>
<p>地区の高齢者クラブ、民生委員と連携して行く。</p>
<p>親子会長の地区会への参加。とくに3.4.7.8.9.12月の月には地区会に参加してもらい活動の計画への意見を出してもらいたい。</p>
<p>市内の遊歩道や運動（散歩、ちょっとした運動器具）できる道を整備してほしい。街中で人が運動でき、挨拶しあうことのできる空間を！</p>
<p>他の地域の活動状況や、専門家の話を聞く。</p>
<p>地域住民の要望に沿って実現に向けて行動していきたい。自治会の役員、班長などの協力を得ながら取り組んでいきたい。</p>
<p>イベント、行事の開催。</p>
<p>区民総意による計画となる様、機会あるごとにした情報提供と意見を聞く行動。地区内を定期的に回り、区民との会話の機会をつくる。</p>
<p>支え合い、助け合いの活動を理解するためには専門機関による研修を住民にしていく必要がある。定期的な研修会などを実施していく必要がある。</p>
<p>行事などに参加者を増し、コミュニケーションの場をつくる。</p>
<p>その時その時に応じて、取り組まねばならない課題をこなすだけ。</p>
<p>数多くの世代と意見交換できる場所を作ることが必要ではないかと思う。</p>
<p>地域の人を知ること。今は資源ゴミの日に参加して顔を知るようにしている。広報での発信（できれば毎月）。</p>
<p>若い世代のリーダーが必要です。国や地域の社会状況を考えると、地域福祉に目を向ける若い世代が育つことを期待するだけです。</p>
<p>区に加入が出来ない方に区協力費などを集める。そして市の広報を全区民に配布していく。</p>

相談施設などへの交通手段（健康教室などを含む）。
若者 60～70 代の会員が少ない。会員増活動をまず重点にする。
聴覚障害者への理解、出前講座などで市民へ手話を知ってもらう。手話パンフレットの作成。
今あるツールや技術を駆使して、逆境をバネに先駆的な取り組み、活動ができるよう行動して行きたいですね。
ご近所との安心の関係づくり。会話、せめて近隣の名前くらいは知りたい。
若い年齢の会員を入会させ、意識を向上していきたい。
現状では、入所者の生活スペースだけでも窮々としているため、二次避難者の皆様にも一定の居住環境を提供できる設備面の拡充が必要だと考えております。よって、二次避難者の受け入れも考慮した施設の建て替え計画を速やかに進めていただきたいと考えております。また、これまで同様、地域の方にも施設の情報を発信していきたいと思っております。
精神障がいに対する啓発啓蒙活動の場があれば参加する。
人材確保。施設内外での人材育成支援。
（１）第２期日向市子どもの未来応援推進計画によると、日向市の離婚率は 3.36%であり、全国平均 1.66%の２倍を超える状況です。宮崎県平均の 1.97%と比べても異常な高さであることがわかり、計画の中でも「本市の離婚率は極めて高い水準で推移しています。」と記載されています。しかし、その対応としてどのようなことをされているのかは見えてきません。園としては、母親の困り間に寄り添うなどの活動は行っていますが、園だけでは限界があります。（２）虐待のリスクは母親の孤立により高まるとされています。園では、産婦人科と連携し妊婦期からの支援を実施してきました。（現在コロナのため停止しています。）母親を孤立させないように情報発信を続け、寄り添う姿勢を伝え続けることが大切だと考えております。
①コロナ禍では難しいですが、地域住民との合同企画によるイベントを開催したいと思っております。②利用者世帯に対する福祉的情報の提供を、現在よりも積極的に行いながら取り組んでいきます。
まず求人活動を通じて職員を増やさなければ、現在の状況では施設外での活動に取り組むことはできません。今回日向市のホームページに記載されていた【人材不足でお悩みの事業所様】求職者に向けて自社の魅力を PR する動画作成に応募しました。職員の確保、育成、定着が喫緊の課題だと思います。
人材確保。
散歩中に高齢者に声をかけたり、自宅を訪問して手作りのものを届けたりしたい。
近隣のコミュニケーションをとるために、地区の行事などに積極的に参加する。
当事業所は主たる目的、法人理念がありますので、その理念に沿って日頃の業務を行っています。自分達で構想を練り、事業計画を立て実行することは可能と考えています。ただ時勢において機を見る必要があるため、現時点では留意しています。
実現に向けて何から始めればよいのかをまず考え、計画していくこと。社会福祉協議会との横のつながりが足りないと思うので、児童館（センター）ができること、何を求められているかを逆に知りたいと思う。
園主催の講演会やイベントの一般参加の促進。地域活動への職員参加の促進。
地域の催し物などに積極的に参加する。
子育ての相談窓口や安心して子どもを預けてもらえる園の体制づくり。地域活動への参加、協力を

<p>行い、園と地域との交流を図る。</p>
<p>どのような手段や方法があるのか相談できる機関があるのか、ないのか。尋ねてみたいと考えている。極端ですが、連携や統合も視野に入れて、経営のあり方を見直す必要があると思っている。</p>
<p>情報の発信や地域の人々との情報交換など。</p>
<p>児童館だよりや社会福祉協議会だよりやフェイスブックを通して児童館の存在を知ってもらう工夫をしていく。</p>
<p>地域一体となったケアを担うために自施設はどうあるべきか具体的に考えた上で、市町村自治体や各種事業者、保険・医療・福祉機関などと連携を図っていく必要がある。</p>
<p>以前、施設内敷地に「グランドゴルフ」が行えるスペースを整備し、地域に開放したが、施設の立地上、徒歩や自転車で来ることが体力的に難しく、車を運転する方がいないと利用できない方が多く、頓挫した経験がある。施設を地域に開放しても、それを使用するための手段がなければ意味がない。逆に、施設を開放するのではなく、施設から地域へ赴き、その機能を果たすことを考えなければならぬことは十分に承知されているが、それを遂行できる人材がいない。まずは、人材の確保を最優先課題として取り組む必要がある。</p>
<p>高齢者の実態把握に力を入れたい。</p>
<p>現在の「高齢者」「障がい者」といった枠組みを超え総括する、また相談のみに限らず、行政などへの提案能力を強化した機関の設立の必要性に関する発信。</p>
<p>販売する場の提供と確保。高速 Wi-Fi 回線の整備。本校には様々な特性や困難がある児童生徒が在籍しています。その子どもたちが販売活動を行うと考えたときに、場の提供だけでは参加できない子どもが出てきます。「移動手段がない」「医療的なケアが必要」…など様々な理由です。リモートで販売活動を行う、遠隔で接客ロボットを操作するなどの工夫をして、学校にいながら参加するには高速 Wi-Fi 回線は必要不可欠です。</p>
<p>地域の方、または商店街、企業の皆様に存在を知って頂くためにどのように活動すればよいか考えていく必要があると思います。</p>
<p>保護者支援、保育園の情報発信。</p>
<p>改めて市民への周知活動、関係団体との研修会などを行っていく。</p>
<p>「with コロナ」の視点で行事を見直し、地域の人達をつなぐ場所として何ができるかを考えていく。</p>
<p>当協議会で移送支援のあり方について十分検討を重ね、実現に向けて関係機関と協議を行うことが必要。</p>
<p>法人化。</p>
<p>現在も年度ごとに計画的に学校訪問を行っているが、中学生など若い人たちに犯罪防止の意識を持っていただくために警察署職員とともに中学校を訪問し、犯罪を起こさない、起こしても立ち直りのできる社会を築くための啓発活動を行っていきたい。</p>
<p>自治会と消防団との連携、話し合い。</p>
<p>地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりの推進は、本会の使命であるため、すべての職員が使命を理解し引き続き取り組んでいく。</p>

問 10 問 8 でご記入いただいた取り組んでみたいことや目指す姿の実現に向けて、市や社会福祉協議会からどのような支援があればよいと思いますか。

私達をひっぱってくれる機関の最たるもので、色々と指導してほしい。
今まで通りでいいと思います。
温泉施設がなくなったのは残念なことでした。ちょっと足腰が痛い時は 2～3 日温泉に通っていたら治っていたのですが、今は病院に行かなくてはなりません。高齢者の医療費が高くなったのではないのでしょうか？年寄りの集まる場所がなくなってしまいました。この件を早くどうにかしてほしいです。
小中学生、またはその親など地域で活動する機会が少ない。第 3 日曜日などを地域交流の日とかにしたらよいと思います。部活休みの日なども作ったらと思う。
講師などの役割を努めてもらいたい。今までも、市や社会福祉協議会などのお協力は受けています。大変助かっていますが、市職員さんの区に対する専門担当者がほしい。
地域ごとに窓口（何でも相談）があるとよいです。民児員や福祉サポーターや包括などの待機場合があるとよいなあ。状況に応じて相談窓口が変わるが、できれば、同じ窓口で（可動を減らす）対応できればよいと感じる。ふるさと納税を利用したらどうですか。
縦型の、一部の上層部のみが話し合い決定する形ではなく、全ての事業所が横でのつながれる会議を定期的で開催してほしい（ZOOM でもよい）。周知する機会が少ないと思う。
事業に参加困難な方への支援組織の構築。
①人口減、高齢社会でなかなか「つなぐ」キーパーソンがいない。高齢地帯をターゲットに地区の福祉部に、高齢者の見守り、訪問にシフトした、サポーター、ボランティア部隊を発足させたい。そして、日常のつながりを活かし、サロンやしゃべり場、小さい楽しいイベントをしたい。②そのための情報、研修、サポートを支援していただきたいですね。
日常生活での勉強会や地域のお話し会。また、昔話など。
他の市区町村の事例を市・社会福祉協議会で調査に頂き参考にする。
65 歳以上のひとり暮らし家庭や、75 歳以上の家庭に現在安心カードを作成している。急患になり救急車だったり、近所の方がかけつけた時冷蔵庫にはっておくカードで身内の電話番号、病名などが記されており、これを満遍なく作成していきたい。併せて黄色い旗運動（朝出し夕方引っこめる）をやり、安否の確認をし、孤独死を避けるのに現在社会福祉協議会の職員と一緒に取り組んでいる。
高齢化、担い手不足などの説明を区民に周知してもらえるために、積極的に勉強会など行ってほしい。
今のままで、自分としては十分です。
空き家問題は市全体にまたがると思われる。構造的問題でもあるので各方面（部署）と連絡し検討する必要があると思われる。
補助金などのシステムがあれば教えていただきたい。
平成 29 年までに提供していたひとり暮らし、夫婦世帯、高齢者世帯などの名簿があればと思います。区長さんに協力してもらい独自で作成しているけれど大変な作業です。名前など書いてなくてもあの様式のものがあると次の人への引き継ぎも取り組みもスムーズに行くのではと考えます。
活動の相談窓口。活動の支援、研修。

送迎付作業所の開設。障がい者施設に併設、またはデイサービス施設に併設する。
多世代交流の場。
高齢社会に向かう今だからこそ、民生委員制度創設 100 周年の「支えあう、住みよい社会・地域から」スローガンのような、社会実現にどう向き合ったらよいのか。私たちの後だてに市も背中を押して下さるようお願い致します。
手遊びやゲームなど、ちょっとした合間にするゲームなど教えて頂きたい。
指導協力支援場所づくり。
地域で支え合い、つなぐことの大切さを理解していただくために地域福祉部の未設置の自治体の班長まで「地域福祉部について」のパンフレットを配布していただきたい。市はその予算を補助してほしい。
見守りについては、予算もつけば、人材不足や体制もきちんと行えると思うが、それを区費からの捻出となると加入者へのサービスしか実際行うことができない。
必要なときは声かけします。
先進事例の紹介など。
防災意識の高揚のための人材派遣。
福祉学習で学校と地区をつないでくれている社会福祉協議会の活動を更に広げてもらいたい。
市で立案してほしい。
市の方でいろいろな情報を教えてほしい。
アパートに住居を構えている方が、区に加入してくれること。情報が共有できると、ゴミ出しなど問題は発生しないが。
その都度、課題解消に向けて支援をお願いしたい。
指導、助言、財政支援を願う。
活動に対する助成金の交付や研修会への講師派遣などの支援があるとよい。
地域づくり人材育成講座など。地域間交流視察。
似た様な地区の取り組みなど、教えてほしい。
市からの補助金や援助により、区が維持できるようにしていかなくてはなりません。そのためには、市や社会福祉協議会との話し合いが必要です。
南部地区は広範囲のため、やはり交通手段です。
以前 80 クラブ位あった高齢者クラブは現在 20 クラブ。会長など役員のなり手がいないことがあげられる。組織の運営の研修助成。報告事項などの簡略化や指導。
市からの助成金を増額してほしい。現在、市からの助成金 45,600 円。市高連の会費 14,000 円、負担金 4,000 円であり手元に残るのは 27,600 円である。
あなた任せ的な考えですが、市や福祉協議会などでボランティアで芸能関係の活動をしてくれるグループがあれば地域に紹介してくれれば高齢者クラブでは活気（楽しさ）が出てくると思う。
以前、市（福祉課）とパンフレット作成に向けて話し合いを進めていたが…途中で止まっているので、再度市民 PR できる何かを一緒に考えてほしい。
情報発信および活動を継続させるための支援や援助など、ボランティア団体と活動を希望する個人ボランティアの斡旋。若年層ボランティアの育成（学生・青年層）。個人ボランティアの活動の機会の提供。

<p>民生委員、もっと身近に感じていたい。その上で、区の民生員の補佐として動ける人（できれば若い人）をアドバイザーに！高齢者の名誉職と云う人もいますが、実際に動かれる方は大変です。2人3人チームになっていると、世代間のちがう困り感も対応できるし、民生委員の仕事が小さな子どもを持つ世代から意識されると、地域福祉が持続可能になるのでは？と感じます。</p>
<p>施設の建て替えに際し、災害時の二次避難所として市と共同することで実現できる機能面の拡充もあるかと思しますので、ご助言をいただきたいと考えております。</p>
<p>精神障がい者の啓発活動の場として、自立支援協議会主催の「こころの健康講座」があり、精神科医の講演や当事者の体験発表の場となっていた。平日日中の開催のため、興味のある人、仕事をしていない人の参加が主だったが、現在はコロナ禍でもあり中止が続いている状態であるため、講座もよいが、発信型の啓発活動があってもよいと思う。精神障がいに限らず地域に生活している障がい者のミニ体験などを市報などを使って発信の場があると、市民の皆さんも目に触れる機会が増え、障がい者の差別解消や啓発活動につながると思う。</p>
<p>身体障がい者にも対応できるハード面での建築費用の補助。人材育成のための研修講師派遣制度。</p>
<p>(1) 全子育て世代へのアンケートを行い、現状抱かれている困り感の抽出を行うことで、離婚率の高さの要因を探っていくことができないでしょうか？その結果をもって、どのような支援が求められているのかを明確にしていくことから始めるべきだと考えます。(2) 官民が一体となり、すべての子育て世代を包括できるような仕組みづくりを進めるべきだと思います。</p>
<p>民生委員さんや福祉員さんと連携していくための援助してほしいと思います。</p>
<p>社会福祉法人の一事業所として、地域の貢献活動に取り組みたいと思いますが、まず市内の各地域におけるニーズや要望が把握できるような情報があれば教えて頂けると助かります。</p>
<p>滞在保育士の就労支援や人材登録バンクなどがあればぜひ活用したい。</p>
<p>地域の高齢者（ひとり暮らし）の情報を知りたい。</p>
<p>当事業所においては情報提供（人・物資・支援金など）をお願いできればと思います。</p>
<p>社会福祉協議会や市から、児童館（センター）の持つ可能性やこんなことに取り組んでみてはどうか。というアドバイスを頂けたらと思う。自分達の思いつかない発想などが得られるかもしれない。橋渡し役的な取り組みをしていただけると助かります。こんな施設がこういった関わりを求めています的な紹介。</p>
<p>老人や地域の方々と交流できるようなイベント（規模は小さくて構わない）の開催。</p>
<p>この様な内容に対して、相談する機会を設けて頂ける支援があればと思っています。また、私的課題に対してどこに相談できるのか。また、できないのか教えてほしい。</p>
<p>地域の行事などの情報の提供や、活動の機会の提供。</p>
<p>様々な事業をしている社会福祉協議会であり、社会福祉協議会職員として自分の仕事のことだけではなく、他の部署のことも知って連携をとることも必要であると思う。だから局長（児童館の館長でもある）、次長、課長をはじめ、他の職員から、色々なこんなことはどうですか？こういう風にするのもっと良いですよ…と言うアイデアやアドバイスをくださると有難いなと思う。</p>
<p>意見交換の場（現状と課題報告→課題に対する指導や助言）。</p>
<p>施設を地域に開放する上で、「移動」に関する問題が一番の問題である。現在、施設で面会される方においても、徒歩や自転車で来られるかたはひとりもいない。この交通の不便さをどうにかして解消できないものかが長年の課題であり、未だ解決出来ていない。日向市においては、社会福祉協議会</p>

<p>と市内の社会福祉法人が連携して「日向市相乗りお買い物ツアー事業」が実施されている。新型コロナウイルス感染拡大を受け、現在事業は休止しているが、この移送サービスを他の地域福祉活動に活用できないが検討する余地はあると考えられる。</p>
<p>以前のように高齢者の名簿があると活用できると考えます。各申請書などの書類の簡素化などがあれば実態把握の時間ができると考える。また、65歳以上でひとり暮らしなどの名簿が以前の様に包括支援センターにあればよいと思います。</p>
<p>委託法人への趣旨説明。協力依頼。</p>
<p>通信回線の整備と福祉車両の導入。訓練やリハビリができる施設の確保。福祉事業所数の拡充。</p>
<p>事業所だけでは難しいと思いますので、企画や周知などを連携して行っていただければと思います。</p>
<p>研修会での地域づくりや我が事丸ごとの説明、講演。</p>
<p>地域公共交通機関などへの理解と開催に向けてのアドバイス、財政面での支援。</p>
<p>地域の自立を促すこと。市に頼りすぎの傾向が強くなっていると思います。</p>
<p>今までも協力していただいているが、この活動への市行政及び社会福祉協議会の理解は不可欠でありさらに連携を密にして事業を進めていきたい。</p>

問 11 地域福祉の実現には地域にお住まいの方一人ひとりの協力が必要不可欠です。問 8 でご記入いただいた取り組んでみたいことや目指す姿の実現に向けて、地域にお住まいの方のように働きかけをしていく必要があると思いますか。協働の取り組みに関するアイデアや住民と団体との理想的な関係があればご記入ください。

区には地域福祉部がありません。
地域福祉の内容がどういうことをするのかはまだわかっていない。
自分自身を守ることで精一杯の状況です。高齢化が進み若者、家族も県外に出ていって過疎化が進み何をすることも協力体制を作ることが無理です。地区の消防団も解散寸前です。このような僻地の長男が1人でも地区に残れば発展すると思います。是非僻地の長男を市役所の職員として採用していただきたい。1家族から1名としてほしい。何人も採用しなくてよいと思います。すると村は復活すると思います。
コロナ禍の中、住民同士のつながりが増々希薄化し、それに伴って班を離脱する住民が増えつつあります。脱班者が増えれば増える程、連鎖反応（隣が加入していないからうちも…とか）により通知、連絡などが届かない状況が見られます。また、以前は脱班の連絡により、区長三役などが説得に伺っていたようですが、近年ではそれも見受けられず、自然脱班の状況があります。区内のルールを守れない住民に班への未加入者が多いことなど地域福祉の充実・健全化のためにも、住民のつながりが最も大事と思われるので、基礎となる自治公民館活動に目を向け、立て直しに全力を注ぐべきだと思います。
ボランティア活動をする人が増えること。
子どもからお年寄りまですべての世代でできる歩こう会とかグランドゴルフ大会とかが一番いい事だと思いますが、部活だなんだと言って子供達の出席が少ない。高齢者の方達は結構集まってくると思います。
例えば、防災避難とか防災に努力して活動を行っていますが、対応が遅いのが実現になかなか到達しない。防災広場を区皆で作りました。高台なので広場と柵で囲みたいと相談したが、市の方も子ども達も危険と認めてくれましたが、支援については、何もない!!本当は市が広場などの準備も行ってよいと思いますが、区の活動で作った広場です。早々の希望が実現に向けて（市の協力もあり）できたら大変うれしいです。区皆でできることは努力していますが…お金がない!!物の提供をしてもらうと区皆で行います。市・区とパイプ役になってくれる担当者がほしいです。
何でもなくても大事な日常のひとこまでゴミの分別について、この夏休みや冬休みを利用して子どもと一緒に勉強するとよいのでは。子どもは吸収力が大きいので期待できると思う。限界があったとしても、様々な取り組み活動に子どもを巻き込んで学習することは、子ども達の未来へ反映されると感じます。
地区のニーズを拾い上げる場合、民生委員やケアマネ、相談支援専門員など、日頃から社会的に弱い立場の人達の相談に乗っている人達が一同に集まれる機会を設定してほしい。同じ課題を大きなまとまりとしていくつかに集め、課題を解決するためのプロジェクトチームを立ちあげる PDCA サイクルで解決した課題については発表の機会をつくる。シンポジウムの開催など。
コロナ禍で難しいとは思いますが、地域住民の交流。隣近所や世代間の交流ができればよいと思う。
ひとりひとりの住民はそれぞれのフットワークで出番を待っています。それこそ、住民が主人公、住民主体の地域社会を願っています。まずは、自治会役員会と運営委員会（班長会）が、課題を共存

<p>し、スキルアップすること。様々な参加型の行事を行って、住民の参加を取組み、充実感、達成感を共存することをコツコツ積み重ね、喜びの体験を共存していくことから始まるような気がしていますが。</p>
<p>高齢者世帯が多くなりつつ、現在、孤立にならない様に地域での挨拶、声かけをひとりひとりが心がけてもらいたい。</p>
<p>仲間づくり。百歳体操、サロン会など、地域住民と気軽に話せる場の設定。高齢者をひとりにさせない楽しめる場をつくる必要性がある。民生員活動のPR。まだまだ浸透していないので地域住民の理解度が低い。</p>
<p>こつこつと地域の方々との良好な関係づくりをしていく。地域の行事への参加協力で人を多く知ること。</p>
<p>地区公民館で各班長が区長とか民生児童委員にも、困りごと、出来事を知らせてくれたら民生児童委員も何かしらのお手伝いがさせて頂けるのでは思います。</p>
<p>各家庭のプライベートの問題もあるので、常日頃の声掛けが大事だと（コミュニケーション）思います。</p>
<p>コロナ禍で住民同志のつながりが薄れているのはいづこも同じだと考える。その様な中でどのようにつながっていくか、つながりを深めるか、今正にそれが問われていると思う。難しいけれど基本はそこに住む人々のつながりを絶やさないことだと考え、地道に活動をしている。これが本音！</p>
<p>地域の方とのコミュニケーションが大事だと思います。得意不得意が把握できれば協力の働きかけもスムーズに行くのではないかと考えます。</p>
<p>地域の中でも世代交代が進んでいる。新しい住宅が建ち、子ども達も増え、活気づいている地域であるが、交流が少なく、名前も知らない方もある。今はコロナ禍の影響もあり、道で会っても黙礼である時代であり積極的な繋がりをつくるのが難しい。</p>
<p>日常の生活を把握し、人間関係を築きながら、情報を提供していく。</p>
<p>地域性もあり難しいところもあるが、自治会と一緒にあって、育成会の協力も得ながら、負担にならない程度に活動をしていく。顔見知りになり声かけあう（多世代で）。</p>
<p>私の住む地域は若い人も高齢者との交流がない。以前のように敬老会とか公民館などでゲームをするとかがあるとよいと思いますけど、もう年齢的にできる人がいない。</p>
<p>区長連合会にお願いして、福祉部の設置や参考にしたり、誰もが利用しやすい環境づくりの一環として「地域福祉部について」や、福祉に関するパンフレットを置いてもらったらどうだろうか。</p>
<p>区の運営において、未加入者への対応も求めるのであれば、市からの一定の補助は必要である。</p>
<p>一層の高齢化、過疎化は避けられず（当地区）住居などの環境整備（草刈りなど）の委託できる団体（建設業など）を構築し、そのために必要な負担金を毎月少額治める。</p>
<p>座談会を含め、部員同士の共通認識を持ち、お互い補いながら進めていく必要があると思います。</p>
<p>コロナ禍で現在は行われていないが、寄付金集めなど、私が一軒一軒家を訪問して、なるべく話をしています。</p>
<p>現状の課題、将来取り組むべき課題について順を追って役員会班長会で提示をする。会議体を連絡事項などに絞らず、学習会の要素をもっと取り入れる必要があると考えます。</p>
<p>当区の福祉部、民生委員と連携していく。</p>
<p>区の班長会での計画話し合いで具体的な活動の準備の手順まで詳しく計画し、実践につなげていく。</p>

<p>人の本質は、「必要に応じて一致、懐疑において自由」助けが必要なときに手助けができるサポート体制ができていればよく。今の時代、個人個人が違った考えをもった十人十色の人間が住むところで必要以上の働きかけは、無用に想うところがある。適度なスタンスで安全・安心を支える存在がよいのでは？</p>
<p>隣近所の付き合いを大事にするような、取り組みをしていく。ただ、コロナのせいで何もできないのが痛い。</p>
<p>自治公民館だより（毎月）での啓発。公民館活動（百歳体操など）でのお知らせ。各専門部会での周知。などを通しての働きかけが必要である（現在では）。</p>
<p>地域活動への積極的な参加。</p>
<p>地域でできることは限界があり、民生委員と区が連携して見守りに力を入れて公的機関と連絡を密にしていく。</p>
<p>班長会などにおける研修会実施。ボランティア活動に対する協力会員への登録要請。世代間交流などによる福祉活動への理解。</p>
<p>高齢者の見守りなど近所づきあいは大切。</p>
<p>区長、区執行部、各種部会員、個人との意見交換の話し合いの場が必要ではないかと思う。</p>
<p>住民同士コミュニケーションできる様な行事をすること。</p>
<p>現在のコロナの中では、区としては無理！マスクも無しで話をする人が多く困っています。</p>
<p>有能な若いリーダーを見つけ、地域福祉に興味をもってもらうことが大事ですが？現状でも熱心なリーダーの居る部門では十分に活動できているのでひとりでもふたりでも、若いリーダーが育てば広い活動ができます。</p>
<p>区長の身分の保証が必要だと思います（手当について区長手当の支給）（区民が全員区に加入すること）。</p>
<p>研修活動や市全体の福祉活動に参加したい高齢者は多数いますが、やはり困るのは交通手段です。簡易に利用できる福祉バスなどの要望が多いようです。</p>
<p>育成会、区、高齢者クラブ、福祉事業など、単独の活動では大きな発展はない。個人、組織、完全にバラバラ。結びつける活動を組織してほしい。</p>
<p>何事を行うにも健康第一、安全第一、各人の健康第一の活動をやること。地域では、盛んに活動参加してもらっている。高齢者クラブ。いきいきサロン。健康体操。ダンス教育。GG 愛好会。これらにひとりでも多く参加できるように区などで協力要請してもらいたい。</p>
<p>区の加入促進。地域福祉はやはり民生委員だと思う。地区の民生委員を知らない人が多いため、民生委員さんの名簿を配布する。</p>
<p>聴覚障がいを理解していただき、交流を深めてほしい。意思疎通が難しい面もあるが、筆談や身振りで伝え合ってほしい。</p>
<p>地域住民の中にもボランティアな精神に富み、活動を希望する有志がおられると思いますので、団体とつなげる役割を担うとともに、地域課題についても制度で行き届かない部分のことで住民の力やボランティアの力で共に取り組む機会が増えてほしいですね。</p>
<p>区への加入促進（アパート住いだと隣は何をする人ぞの感じ）。地域福祉の一番の担い手は民生委員だと思う。年に何回か「何か困りごとありませんか？」など、地区の民生委員さんの名前入りチラシの配布（地域の民生委員さんの名前を知らない人が多い）。</p>

<p>公民館がいつも開いていること、誰かがいること、時間を共有する楽しみがあると思います。ラジオ体操で1日1回安全と健康を確認したり、比較的に元気がいい方が楽しいことやりたいこと（音楽でも、映画でも）を先ず始める人、協力する人（理解者）混じる人、時間を楽しく、大切に過ごせるといいな～と思います。</p>
<p>コロナ感染のこともあり、今すぐには対応できないですが、地域住民と利用者とのふれあいの時間を設けていながら、障がいのある方への支援のあり方などの研修の企画を行っていきたいと思います。</p>
<p>離婚率の原因がどこにあるのかが明確でない現状では、その実現の具体案は難しいと思います。ただ、一般論でいえば、子育ての困り感に地域が寄り添い続ける姿勢を明確に打ち出していくことは大切だと思います。現時点で日向では地域の力が非常に強く子ども達の見守りなどを積極的に行ってくれています。その状況をうまく活用していくことが大切だと感じます。地域で苦しんでいる子育て家庭の早期発見が地域にはできるのではないのでしょうか。民生児童委員の皆さん方などと我々児童福祉施設の連携強化が大切だと感じます。</p>
<p>当事業所は区に加入していますが、もっと区の会合や行事に積極的に参加していくことがひとつの方法であると思います。そのことによって信頼関係を深めて行きたいと思います。</p>
<p>年に一度、区の総会の出席や施設の第三者委員（区長）と話し合いの場を設けています。しかし、この2年間はコロナ禍により区の総会も第三者委員会との話し合いも中止になっています。日向市社会福祉施設等連絡会のなかで、地域住民、区長、民生委員、福祉関係者などが話し合える場を設けて頂けるとよいかなと思います。</p>
<p>回覧板などを使って、園の情報を伝える。</p>
<p>今はとにかく、近隣のひとりでも多くの方と挨拶を交わし、少しずつ交流を深めていきたい。</p>
<p>地域福祉の捉え方は千差万別、個人（住民・自治組織）や関係団体、事業所によって価値観が違うと思うのですが、住民と事業所がお互いの価値観や理念を共有して関係を築いていくことから始めることが肝要ではないのでしょうか。関係を築く中で協力の必要性がでてきたときに形（事業・活動）になり、その形は地域ニーズに応じた支援になるのではないのでしょうか。（具体性が乏しくて申し訳ありません。）</p>
<p>コロナ禍にあり、地区の行事などがなくなり、地域の方と顔を合わせるのも年に数回となっている。また、新しく転居されて来た方は区に加入されていない方も多く、地域のつながりが希薄になっていると感じます。児童館（センター）で何か催しを計画したとしても、そこへ参加してもらわなければ何も始まらないので、点々ではなく、線にしていろんなまわりの方と協力していく必要があります、なかなか難しいと感じます。</p>
<p>子育て世代以外の地域の方々との定期的な情報交換の場や時間を設ける。</p>
<p>自園からの発信は状況的（職員配置など）に厳しいので、地域の取り組みに参加の依頼ができればできる範囲で参加したい。そこからのネットワークづくりを期待する。</p>
<p>地域の方に協力を呼びかける段階がなく、行政の方に協力や支援をお願いすることが先と考えている。</p>
<p>地区の祭りや行事などへの参加を通して、地域住民の方々との交流していき、よりよい関係を築いていくこと。</p>
<p>大王谷児童館として、まず大王谷地区の区長さんや民生委員さんにお話を聞いてみる必要があります。大王谷地区はどのような地区なのか、年齢層、世帯数、小中学生の人数、幼児親子の世</p>

<p>帯数、そしてどんな問題があるのか、どういう未来を描いているのか…など。その中でこの児童館はどんな存在であるべきなのかを探っていく必要がある。</p>
<p>地域住民と交流し情報提供ができる機会をつくるために、自施設における地域貢献活動の推進を図っていきたい。具体的な活動としては、介護予防教室の開催、広報誌の発行、中高生などを対象とした介護体験などを考えている。</p>
<p>福祉人材の育成及び確保が最重要課題である。日向市の地域福祉活動の担い手として尽力されている方は担い手不足や高齢化が深刻な課題であると感じている。地域福祉の実現にはボランティアをはじめとした地域住民の協力が必要であり、特に若い世代が地域福祉に関心を持ち、活動の新たな担い手となるよう橋渡しや情報発信を積極的に推進していく必要がある。現状は、地域で行事などを企画しても、なかなか協力が得られず、特定の人達だけに負担がかかり、なおかつ高齢者の方が中心である。地域福祉活動を地域全体で一体的に推進していくためには、あらゆる世代に協力と参加を呼びかけ、人材不足の解消と情報の発信、企業や団体との連携の必要性が求められる。</p>
<p>昔みたいに、近所で助け合いが必要なため、自治会に加入が必要。住民対象にした行政による啓発活動の充実が必要と考える。</p>
<p>広報誌の配布や説明会の実施では「興味関心を持つ者」にしか情報が届かないと感じている。既に取り組まれているが、中高生へ対する学校カリキュラムでの対応が高効果ではと考える。取り組むことでメリットの可視化。団体、住民ともにこのメリットが共通であること。単純なサービスの需要と供給、提供と利用ではなく共同するという理解。</p>
<p>先日生涯学習について取り組んでいらっしゃる方とお話させていただく機会がありました。そのとき在学中に学び続けること喜びと意義をしっかりと体感させておくことが必要と感じました。その学びとは「学問」的な側面よりも、人から学ぶ、地域から学ぶという仕組みに自然に入っていくことから得られるものであってほしいと思います。卒業してから「さあ生涯学習だ！」と声かけしても理解は難しいと思っています。学校で人や地域との関わり方を少しずつ育んでいきたいと思っています。</p>
<p>イベントなどを行わず事業所や利用者の皆様のことを理解して知って頂くことは大切だと思います。それには関係機関のつながりは必要だと思います。理想的な関係は同じ目線で普通に接して頂ければと思います。</p>
<p>住民、団体がそれぞれの「強み」「特徴」を認識し、発揮する事。</p>
<p>公民館長会やまちづくり協議会での周知。そこから各地区の班長会やモデル地区をつくり、活動し広げていく。</p>
<p>学校に足を運んでもらう機会をつくり、案内する（※既にやっていることですが、コロナのため中止となっています）→高齢者クラブの方々との連携も既にできています。→皆さんに教えて頂くことが多いのですが、児童が皆さんに何かを教えたり、教えていただいたこと（成果）を発表するような機会があると良いかもしれないと思います。</p>
<p>移送支援には運転手の確保が重要な課題のひとつです。地域の方々やまち協委員が活動を理解し、献身的に取り組んでいただくことが重要だと思っています。安心して運転業務に従事していただくために賃金の支払いや車を整備し長い期間継続して取り組むことが必要です。</p>
<p>本会として、区長公民館長連合会や民生委員児童委員会などの各種団体、関係機関とも連携しながら自治会に出向き、座談会などを実施するなど、住民に対する意識の変化をうながしていく。また、本市でも日向市区長公民館長連合会を中心に進めている、住民が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みる体制作りとしての地域福祉部の設置についても、引き続き推進していく。</p>

問 12 次期計画において、地域に住む一人ひとりが福祉課題を「自分ごと」として考え、住民・地域団体・地域の事業所・社会福祉協議会・行政など全員で解決していくために、今後重要になると思う取り組みや地域の課題解決のアイデアがあればご記入ください。

<p>年をとり免許証返納が一番の問題です。1人暮らしどうすればよいのですか。通院、買い物、金融機関へのお金の出し入れ、支払い、その度に他人をやとって行くしかないのです。</p>
<p>コロナ禍の中、住民同士のつながりが増々希薄化し、それに伴って班を離脱する住民が増えつつあります。脱班者が増えれば増える程、連鎖反応（隣が加入していないからうちも…とか）により通知、連絡などが届かない状況が見られます。また、以前は脱班の連絡により、区長三役などが説得に伺っていたようですが、近年ではそれも見受けられず、自然脱班の状況があります。区内のルールを守れない住民に班への未加入者が多いことなど地域福祉の充実・健全化のためにも、住民のつながりが最も大事と思われるので、基礎となる自治公民館活動に目を向け、立て直ちに全力を注ぐべきだと思います。</p>
<p>「だれもが安心して暮らせるまちを目指して」福祉の課題などがまだ自分自身に大きく振りかかっているのかな。介護福祉などは全体的に整っていて住みやすい日向市になっているのではないのでしょうか。南海トラフなど、災害への準備は繰り返し繰り返し、広報などで知らせて行くしかないと思います。日本中、災害の場면을テレビなどで見ていれば、足腰が丈夫な人なら何とか避難できるでしょうが、私の地域でも10人位は絶対ひとりでは逃げられない人がいます。この人達をどうやって助けたらよいのかといつも思います。</p>
<p>優先順はわかります…安心・安全に暮らす準備を行っている区に対して、相談に（陳情含む）一早く対策協力が解決の決め手と思う。アイデアは区議会でもたくさん出ます。ただ実現するための資金がない!!のです。</p>
<p>集合住宅ではひとりや高齢者世帯が増加しそうな感じです。団地内にプチ重層的支援体制に似た機関があるとよいと思う。サロンなどもまわりの地域住民も巻き込んで活動するとか。（例）行政、地域団体、地域の事業所、社会福祉協議会、医療機関→住民（図で表す）。（似たような）重複している様にも思われる（それぞれの機関）。例題により住民（私だったり）のすすむ方向がわかると思う。不穏にとれるかもしれませんが、民児員は不要になる可能性もあると思います。</p>
<p>防災について。障がい者、要介護者、引きこもりの方など、地域で支えるための仕組みづくり。別府市のように、災害ケアプランを作成したり、地域の人達皆で要支援者がどういう特性で、避難するにはどういう方法が必要か公民館などで話しあい、実際に全体で避難訓練を実施してほしい。他県や他市ではすでに実行されています。他市をモデルとして日向市で実施することはできないのか？</p>
<p>高齢者と若い世代や子どもの交流の場。料理や遊びの伝承など。</p>
<p>現状の福祉課題を「自分ごと」とする調子の言説は、住民側からすると、少し違和感を覚える。様々な苦しい状況がややもすると、「自助」と「自己責任」という無言の圧力に感じてしまう。劣悪な労働環境、孤立、貧困…。住民の側にどれ程責任があるのでしょうか…。相次ぐ物価値上がり、年金減額と…なかなか住民の皆さんに希望や元気がでません。参加型の小さな体験サロンを各地区で2つ3つ実験的に行っていくことです。幸せ感、つながり、役割、共感が大切。お話サロン、料理サロン、俳句サロン、絵手紙サロンなどを公民館でコツコツ。講師は行政の皆さんで。</p>
<p>高齢化に伴い、いつ誰が独居老人になるかわかりません。ひとり暮らしの方がよく言われるのは「ちょっとした事ができなくなる」と。苦勞するのは文書などの記入、電池などの交換など。些細な事が</p>

<p>できなくなって情けない！と。業者に依頼する程ではない家事の困り事を地域で助け合える仕組みづくりができるとういなと思います。知人から聞いたのですが、大王谷では「自分は〇〇ができるカード」「〇〇をしてほしいカード」みたいなのがあって、多少の有料ではあるが庭の剪定やごみ出しなど利用されている様ですが問題もあるとの事でした。リサーチされてはいかがでしょう。</p>
<p>福祉推進委員と民生委員との合同で地域（その地区）を見守っていく姿が一番大事だと思っている。</p>
<p>地区民ひとりひとりが美しい、自分達の故郷を思い浮かべること。</p>
<p>地域の横のつながりの連携（地域の事業所などの行事に参加させてもらったり、開かれた関係づくりをしていく）。</p>
<p>最近、区への加入世帯が減少している。一戸建てで住宅を建設して、永住するであろう若い人達はメリットが無いという理由で区への加入を拒否している。これを国民全体の義務化の方向で促進できないだろうか。そうすることで近所の助け合い精神も芽生えるし、ひいては、避難支援や安否確認などにも通じる。</p>
<p>難しい事だが、自分がみんなから相談されやすい環境をつくること。</p>
<p>空き家問題への対策。</p>
<p>私達の団体としては、問題があれば、すぐ専門部署につなぐことをモットーとし、早めに解決できるように努めていきたい。少しでも、住民の方の声が聞けるよう努めたい。</p>
<p>笛吹けど踊らず。と言うことわざがありますが、今後は市も地域も一体となるべきだと思います。地域の総会などに市も立ち入って（これまた区長の理解が必要ですが）、日向市の目指す取り組みについて説明されたらどうでしょうか？市の広報も配布されますけれど、「ひと」が話すのは、また親しみが湧くのではないのでしょうか？日向市は頑張っているね。と他の県から言われてみたいものです。</p>
<p>理想は全世帯（一戸建て、アパート、マンション）区に加入すること。しかし現実には、一戸建ての方も区から抜けようとしている世帯が多くみられます。</p>
<p>縦のつながり、横のつながりあり、もっと個人情報が見えればよいと思います。</p>
<p>大事なことは、隣近所の人との付き合い。そして区の行事などを通しての付き合い。根本を大事にすることが一番大事だと思っています。そこから大きく広がっていくのだと思います。コロナで祭りごとが無くなっていますが、普段からの挨拶や声かけなどは気をつけてしています。</p>
<p>生活で使う移動手段を充実させてほしい。（高齢者が多くなるため）。市、社会福祉協議会、包括支援センターは積極的に区民の中に入ってきてほしい。</p>
<p>行政担当コーディネーターの件。社会福祉協議会には、地域担当コーディネーターが何名かいるが、行政にはいない、社会福祉協議会が連携することで地域福祉の実現に繋がると思います。</p>
<p>今までにないコロナ禍の状況の中、活動制限のあり方に頭を悩まされます。フレイル予防のため、活動制限をし過ぎてとも思われますし難しいです。コロナの終息を願うばかりです。そのリスクを考えなくてよくなったら、取り組みたいことのひとつとして、皆で自慢料理を作ってもらえるなどの料理教室を試みたいです。</p>
<p>区、行政、民生委員、コロナ禍で見守り相談できないが、区未加入世帯をなくし近所の人との交流ができればよいと思います（区を脱退の理由は高齢になり会合に行けない。人と交わりたくない。魅力がない。などの声を聞きます）。行政も区に任せるのではなく、区公連との連携、未加入世帯のことも考えてもらいたいものです。</p>
<p>塩見、富高、平岩地区などが農振地域（調整区域）に指定されたのか、1971年（昭46）からすでに</p>

<p>51 年が経過、この間線引きの見直しもなく農家の次、三男ですら住宅建築にしぶりがあり、ましてやサラリーマンや非農家の土地購入はこの地域はむずかしく地域間格差は広がるばかりです。少子化問題にしても塩見小学校の入学児童を単純に比較すると、1970 年（昭 45）70 名から 2022 年（令 4）20 名と生徒数の減少も甚だしい。農振地域を農政面からの評価だけでなく、多角的に検証しないまま、市の総合計画なり福祉計画を策定することは、この地域をさらに置きざりにして光があてられないまま、市政が進められることになるので第 4 次の策定の中でこの問題を検討してほしい。塩見小学校の全生徒はこの 4 年間で 20 名減少して 106 名です。</p>
<p>AI 技術がどんなに発達しても、対人間に関わる残業はマンパワーが必要であると思います。そのためにも働く人達の技術面の修養も大事ですが、職場環境（給付、休暇制度）を改善することも大変重要であると思います。</p>
<p>若者が集まるような地域づくりをしてほしい。高齢者よりは若者を集めてほしい。</p>
<p>ここに書いてある通り連携して取り組むしかない。現時点では残念ながらできていない。協働が必要です。</p>
<p>「自分ごと」として捉えるには当事者になる必要があり、一般市民も市民代表として参加できる円卓会議のような協議会で定期的に議論する必要がある。</p>
<p>自治活動の必要性、理解の拡充。リーダーの育成。</p>
<p>地域に住む一人ひとりが福祉課題を「自分ごと」として考え、住民・地域団体・地域の事業所・社会福祉協議会・行政など全員で解決していくことは大事なことと思います。そして、地域住民が福祉課題を「自分のこととして考えることが実現に向かう力があります」。そのような思いや考え方が皆さんに広がれば、よりよい地域社会が実現できると思います。私は、地域の役員、特に区長の考え方が様々な場面で進む方向を左右するのではないかと考えています。だから情報を区長には正しく伝えることが重要だと思います。8 年位前までは、社会福祉協議会の評議員会は、区長連合会会長、副会長、会長、各地区理事長全員…合計 11～12 名でありましたが、現在はその半分以下ではないですか？福祉活動を充実させるなら、せめて、社会福祉協議会の評議員を増やしできるだけ多く参加させて、皆さんの声を直に聴いてもらって発言させることが「自分のこととして」考えることにつながるようになると思います。</p>
<p>排気ガスゼロ、車のない社会。運動（散歩）ができる街。</p>
<p>こっちが教えてもらいたいくらい。若い世代の中には、そういう隣近所、地域の付き合いを面倒に考えている方が多い。その人達を地域活動に取り込む方法があるとよいのですが。</p>
<p>地域の事業所への働きかけが重要である。区加入促進についても同様です。</p>
<p>ナッジ理論の導入。</p>
<p>①行政担当職員などが地域に出向き、直接話を聞く。②日向市全体象と各地域の実情に応じた計画策定と実践。</p>
<p>地域に若手のリーダーを育成して核となって活動できる人を育てる教育制度と地域と各機関が整備する。</p>
<p>地域における困りごとを地域住民にアンケート調査し、アンケートの結果を地域住民に周知する。困りごとの内容を住民で共有するとともに、地域の福祉部や民生委員児童委員などと連携し、地域住民の困りごとを解決していく。有償ボランティア活動も有力な取り組みである。</p>
<p>横の連携が大事。</p>
<p>市街地の人口空洞化により住宅および人口減少対策。中心市街地のまちづくり。</p>

<p>地域活動または高齢者の悩みとして、買い物または通院とこれから先は増加して来る。プラットバスを運行しているが、制限があるので利用しにくいことが多い。空き地や空き家を利用した、人口が集中する対策などを検討することが必要ではないかと思う。</p>
<p>福祉に対する地域ひとりひとりの理解力は不可欠。人に対して思いやりが伺えない私は難しさを感じます。厄介なことには関わりたくない様に思います。</p>
<p>もう少し優しい気持ちを持ってほしい（一人一人が）。自分さえよければと思っている人が多くいる。</p>
<p>高齢者が多く、空き家が多く、持ち家の家主が県外にいて、色んな面で区民が困っています。</p>
<p>地域安全について、防災組織をつくる必要があります。今まで住民、地域の事業所、社会福祉協議会、行政など全員で話し合える組織が会長会などではあるが、住民と直接話し合えるのは、区の総会などである。その協議会を区ごと、又は地域（例えば、日知屋本郷地区会）でそのような会が開けるとよいと思う。</p>
<p>各種の施設が市内各地に存在しますが、人員が僅少で受け身的な存在に忙殺されているのではないのでしょうか？独居老人、及び高齢者宅を随時訪問できる様な人員の増加を望みます。</p>
<p>各組織の代表者の会をいろいろ組み合わせで行う。例えば区を中心にして、区と育成会、区と高齢者、高齢者と育成会など。各団体の長同士の意見交換会など実施。</p>
<p>何事を行うにも健康第一、安全第一、各人の健康第一の活動をやること。地域では、盛んに活動参加してもらっている。高齢者クラブ。いきいきサロン。健康体操。ダンス教育。GG 愛好会。これらにひとりでも多く参加できるように区などで協力要請してもらいたい。</p>
<p>高齢になると聴力も低下します。聞こえなくても見てわかる対応を増やしてほしい。</p>
<p>人の輪をつなげていく関係機関として行政や社会福祉協議会の役割は大きいと思います。まずは人や地域の組織、ボランティア団体、事業所などを顔が見える関係になるよう繋げてみてはと思います。</p>
<p>日向市地域テレビ（全公民館にWi-Fi 設置）。ZOOM で全市民会議ほか、市議会のオープン動画、市長の語りかけ、地域の紹介。ほか、高齢者サロンや子どもの生活活動、講師の人数は少なくても、多くの市民が有益と思う活動が広がることでつながる、共に知る、共に楽しむ、共に生きる。集まると会話が生まれ、安全確認ができる。不参加の人への訪問ほか、急な対応も多勢ならできる。今の60代が取り組めるうちに（IT 扱える人も多い年代）。</p>
<p>住民、地域団体、地域の事業所、社会福祉協議会、行政など全員で解決していくとあるが、行政の積極性がみられない。この点も改めてほしい。先頭に立って解決するという意気込みを示してもらいたい。</p>
<p>若い世代（次世代）に向けた情報発信、イベントなどの企画。地域の皆様に防災協力会を結成していただき、特に人員が手薄となる夜間の火災発生時に入所者の避難についてご協力頂いておりますが、円滑な避難を実現するためには、普段から地域の皆様に施設内の構造や入所者の状況を把握していただく必要があります。施設行事に地域の皆様に参加いただくことは、そのような意識も併せてもつという認識も大切だと考えております。</p>
<p>地域の今の困りごとを定期的に話し合う場。人材、ボランティアバンクを継続していく取り組み。生涯学習や情報発信の共有のための仕組みづくり。</p>
<p>日向の地域の力は素晴らしいものがあると思います。しかし、そのことを子育て世代が当たり前と感じてしまっている現状もあります。市がこの素晴らしい状況を内外に発信して、この状況を誇り</p>

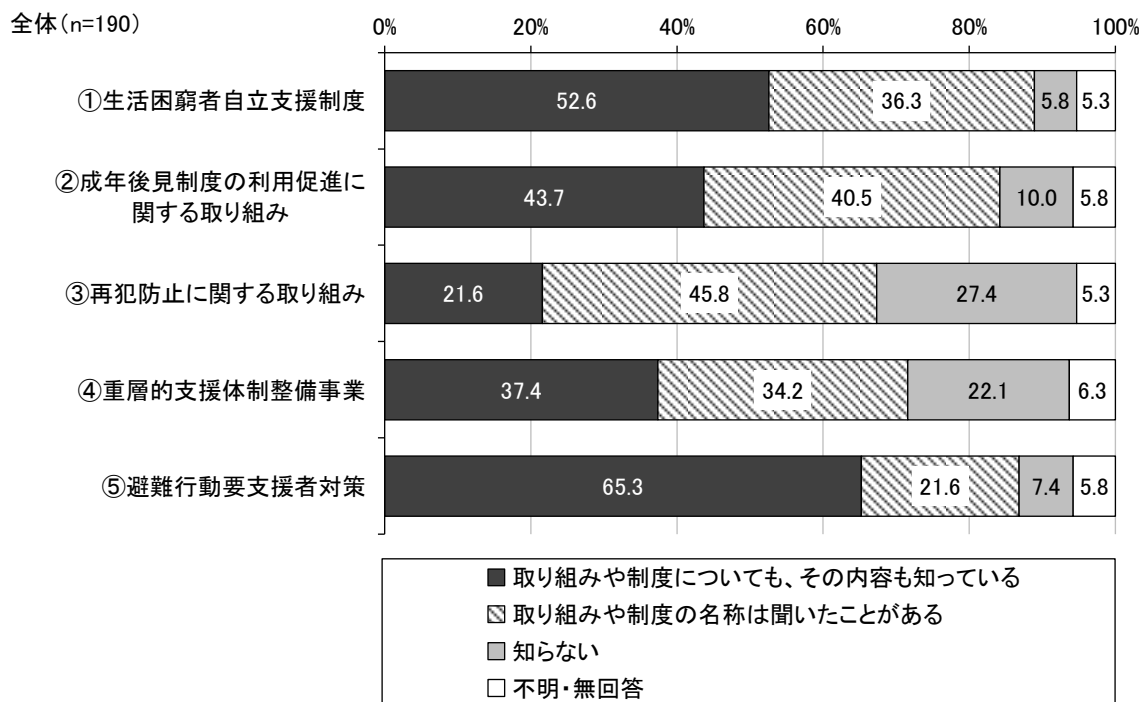
<p>に思えるような環境設定が大切だと思います。</p>
<p>地域住民が福祉問題を自分のこととして取り組みための座談会、ワークショップの開催が必要かと思ひます。それぞれが危機感を持つ共通のテーマ「防災」がよいと思ひます。地域の「防災」を考えながら、その地域の「福祉」（避難困難者など）について考えていきます。東日本大震災以上住民の福祉に対する考え方もずいぶん変わってきていると思ひます。少なくとも以前住んでいた地区ではそうでした。</p>
<p>日向市社会福祉施設等連絡会のなかで、地域住民、区長、民生委員、福祉関係者などが話し合える場を設定して、そこで現状の共通理解と課題について話し合いながら課題解決の取り組みができればと思ひます。</p>
<p>共感できる事柄からつなぎ合わせていき、地域（住民・自治組織）や事業所や関係機関が役割を分担した上で課題を解決するために行動することは可能と考えます。その際、活動の担い手側が負担を感じないよう（空気の読める）調整役として社会福祉協議会や行政の役割を期待しています。</p>
<p>まずは自分の住む地域にどんな困りごとがあるのかを地域住民が知らなければ、いつまでも「他人事」なのではないかと思ひます。今ある困りごとに対して、誰がどう関わっているのかを知り、何が足りないのか、どんな手助けが必要なのかを知ることで、自分に何ができるのかを考えるきっかけになるのではと思ひます。地域の方のことを「ちょっとだけ気にかける」ことは大きな負担ではないし、自分にもできる「何か小さなこと」を意識することから始めてみてはどうでしょうか。</p>
<p>保育事業をいかに継続していけるのかが優先問題なので、まずその解決に取り組んでいきたいので、今は地域の課題について考える余裕がありません。ただし、少子化や高齢者の問題は避けられない共通の課題であると認識している。今後、0歳から2歳児の保育料の無償化や乳幼児が安心・安全に遊べる施設の建設など子育てしやすい環境整備に今はもっとお金を使うべきだ。中学生までは医療費の全額負担など、子育てしやすい条件を整えることが出生数の増加につながり、日向市の人口増加が課題解決の糸口になる。今こそ、子どもにもっと投資をすべきである。そんなことは、誰も考えているでしょうが実行に移せていないことが問題で、それぞれの担当の人が「自分ごと」として考えているかどうか問われている。</p>
<p>地域バザーの開催。児童と高齢者との交流事業の開催。児童虐待や独り身世帯の孤独死を防ぐために、地域住民間での交流事業。</p>
<p>自分の立場でできることを考えて実行すること。私たちが言えば、児童館を取り巻く問題、課題を把握し、それを保護者や幼児親子の大人に向けて発信し、考え、協力してもらう。子どもには子どもが理解できる内容で伝え、子どもなりにできることを考えてやってもらうようにする。</p>
<p>意見交換や研修会などを計画する際は、可能な限り「小集団」「短時間」「易しく分かり易い内容」「リラックスして参加しやすい雰囲気づくり」に努める。※様々な問題が多様化・複雑化してきているために常に「よりシンプルに（ひとつずつ）」という考えは大切ではないかと思ひます。福祉課題を「自分ごと」と考えるきっかけを作るには、体験型の研修や、課題の対象となっている方の体験談を元にケース検討することもよいのではないかと思ひます。</p>
<p>あらゆる世代の地域福祉活動の参加が必要である。現在の地域福祉活動の担い手は、高齢者の占める割合がほとんどであり、他になり手がおらず特定の人に多くの負担がかかっているのが現状である。このままでは、多くの団塊の世代が後期高齢者となり、その方たちが求める地域福祉や介護サービスのニーズに対応できず、計画が頓挫することは明白である。地域に住むひとりひとりが直面する福祉課題を「自分ごと」として捉えることは難しく、特に若い世代においては、遠い未来を考える</p>

<p>ような感覚で現実味がないと考える。それらの世代の人に「自分ごと」として捉えてもらうには地域住民の意識改革が必要不可欠であり、意識を変えてもらわないことには継続した地域福祉活動は推進できない。どのように若い世代を地域福祉活動に取り込むのかは、どれだけ地域に必要な不可欠で、魅力的な活動であるか理解してもらうことが最も重要な課題である。</p>
<p>地域団体、地域の事業所、社会福祉協議会、行政、地域包括支援センターなどの団体以外に住民全体に啓発していく必要があると考えます。各団体いろいろと活動をされているが、地域住民が福祉課題について何も理解できなければならないと考えます。</p>
<p>公民館単位で、小さなコミュニティからその地域で「生きる」人々との関係性を構築させたい。障がい者のある方が地域で生きていくには、大人数ではなく核になる人との出会いが大事です。顔と名前が一致しない大人数よりも、その方が生きる地域の人々「顔」を知る機会を創出してほしい。夏祭りや料理教室、ボランティア活動など…。特別支援学校では卒業しても「追指導」として、日中の活動のみならず生活や地域での活動の様子を把握するなどしております。お声かけいただければ一緒に参加や促しをすることは可能です。困ったことを抱えている人が気軽に相談や愚痴を言える関係性を作りたいです。</p>
<p>当事者（精神障がい者やその家族など）と直接交流できる機会があるとよいのではと思います。</p>
<p>アイデアは特にありません。けれども、制度説明パンフレットなどの事務所内掲示や会員事業所配布については協力できると思います。</p>
<p>各区に「福祉部をつくれ」にはウンザリです。作ることが目的になってしまっているような気がします。福祉部はあくまでも手段のひとつであるはずですが。</p>
<p>全国的に見て新規の犯罪件数は減少しているが、再犯件数は多くなっている。罪を犯した人達の立ち直りのための地域社会の理解と協力は極めて重要であると考えられる。地域全体で更生事業の理解を深めていただく取り組みをしていきたい。</p>
<p>住民の意識の変化をうながすことや地域福祉部の設置。他、市内の社会福祉法人などの社会福祉法改正による地域貢献事業もあるため、課題解決機能として引き続き提案していく（日向市社会福祉施設等連絡会の研修などで周知）。また、地域福祉サポーターなどにも地域生活課題を伝え、解決機能の一助となる。</p>

3 地域福祉に関連する取り組みや制度について

問 13 現在、市や社会福祉協議会が実施している以下の取り組みや制度について知っていますか。
(それぞれ1つに○)

市や社会福祉協議会が実施している取り組みや制度についてみると、『③再犯防止に関する取り組み』では「取り組みや制度の名称は聞いたことがある」が45.8%と最も高く、次いで「知らない」が27.4%となっています。それ以外の取り組みや制度では、「取り組みや制度についても、その内容も知っている」が最も高く、次いで「取り組みや制度の名称は聞いたことがある」となっています。『⑤避難行動要支援者対策』では「取り組みや制度についても、その内容も知っている」が6割を超えています。



【団体別クロス】

①生活困窮者自立支援制度

上段:件数 下段:%	合計	取り組みや 制度につい ても、その 内容も知っ ている	取り組みや 制度の名称 は聞いたこ とがある	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	100 52.6	69 36.3	11 5.8	10 5.3
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	45 57.0	26 32.9	4 5.1	4 5.1
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	20 41.7	21 43.8	4 8.3	3 6.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	20 64.5	7 22.6	2 6.5	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

②成年後見制度の利用促進に関する取り組み

上段:件数 下段:%	合計	取り組みや 制度につい ても、その 内容も知っ ている	取り組みや 制度の名称 は聞いたこ とがある	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	83 43.7	77 40.5	19 10.0	11 5.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	32 40.5	37 46.8	5 6.3	5 6.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	20 41.7	18 37.5	7 14.6	3 6.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	17 54.8	9 29.0	3 9.7	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

③再犯防止に関する取り組み

上段:件数 下段:%	合計	取り組みや 制度につい ても、その 内容も知っ ている	取り組みや 制度の名称 は聞いたこ とがある	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	41 21.6	87 45.8	52 27.4	10 5.3
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	17 21.5	38 48.1	20 25.3	4 5.1
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	12 25.0	22 45.8	11 22.9	3 6.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	1 10.0	3 30.0	6 60.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	6 19.4	13 41.9	10 32.3	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

④重層的支援体制整備事業

上段:件数 下段:%	合計	取り組みや 制度につい ても、その 内容も知っ ている	取り組みや 制度の名称 は聞いたこ とがある	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	71 37.4	65 34.2	42 22.1	12 6.3
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	33 41.8	27 34.2	13 16.5	6 7.6
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	22 45.8	14 29.2	9 18.8	3 6.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	2 20.0	6 60.0	2 20.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	6 19.4	10 32.3	13 41.9	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

⑤避難行動要支援者対策

上段:件数 下段:%	合計	取り組みや 制度につい ても、その 内容も知っ ている	取り組みや 制度の名称 は聞いたこ とがある	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	124 65.3	41 21.6	14 7.4	11 5.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	68 86.1	7 8.9	0 0.0	4 5.1
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	30 62.5	12 25.0	3 6.3	3 6.3
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	11 35.5	9 29.0	8 25.8	3 9.7
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 14 問 13 であげた取り組みや制度を多くの方に知ってもらい、実際に活用してもらったり、理解・協力を得たりするためにどんな取り組みが必要だと思いますか。

■生活困窮者自立支援制度について

個別にきめ細かく親身になって対応していくことが基本で公にはいけないもの（個人の尊厳）を大切にすべき。
地区の班長会や行事に参加して住民との交流を大切にする。
広報などを活用した PR 活動の強化。
全世帯の区への参加。市の広報など本当に読んでほしい人は区に入っていない。
民生委員・児童委員をしていますので、この様な制度があることはわかっていますが、民生委員が訪問してこの様な取り組みがありますと言えない。一例ですが、民生委員が訪問すると生活保護を受けているように近隣に思われるので訪問しないでくれと言われた。実際この方は、生活保護を受けている方です。それぞれの関係機関で PR とか訪問を行った方が理解されるのでは！？個人のプライドが高く制度を利用したいとの声きたら、私はパイプ役に努力します。
問 13①～⑤＝1 年間（12 ヶ月）、噛み砕く様に公民館と広報誌で子どもから高齢者に伝えていく。「困窮しています！」なかなか手を挙げづらい（心が開かない、恥ずかしい等）。
子ども学習支援聞いたことはあるが、近隣に子ども食堂がない。日向市は少ないのでは！！
情報が少ない。
集会の場などを利用し、地道に話をしていく。
支援者となる方の近隣の人達に話を聞き、支援者の情報を集めることから。
困窮家庭の実態が民生委員に共有されていますか？
研修などでしても人に伝える範囲は限られます。広報などでひとつずつ特集という形で大きく取り上げた方が印象には残るし、手元に資料が残るので必要な人はすぐ問い合わせ、確認などできると思います。自分の視力が落ちて思うのは小さい記事は読みづらいです。今月はこれに関して特集という感じで図入りとかで大きく取り上げた方がよいと思います。勿論、研修なども必要だと思います。本人からの要請ではなく、他者からの申請が必要だと思う。
「広報ひゅうが」などを活用してもっとアピールが必要だと思います。
広報ひゅうがや社協だよりでコーナーを設け説明をしていく。
個人情報のあるのでとても難しいです。区に加入されていない方の日常が見えにくいので…。
目配り、気配り、思いやり、笑顔でのコミュニケーション。
地域毎の説明や研修会、パンフレット（見やすく、カラー刷り）
社協だよりや市の広報などで目にはしますが、わかりやすい内容のチラシを年に 2 回程度広報誌と一緒に配布し、周知を図ってはどうでしょうか。皆が知ることが一番大事だと思います。
地域の中で、なかなか相談を受けることがない。社会福祉協議会など直接相談することが多くて把握できていない。
現状の把握と声かけ、見守り。
わかりやすく劇などで広報活動をする。
相談の内容によって私達は対応すべきと思います。この制度の仕組みも勉強する必要ありだと思います。

身近に（手元に）携帯できるよう、大事なものの裏（保険証の裏とか）に表示したら知ってもらえるかな？
市報にてくわしく説明をのせる。
市民に知ってもらおうという意味で、自治会の班長会などを利用し、5つの制度や取り組みについて説明活動する。私も民生委員にならなければ知らない事ばかりでした。
このコロナ禍のなか、制度のあらましを時期に応じて市報や社協だよりで交互に出して活用を呼びかけてはどうだろうか。
相談を受けたら関係機関にひとりで行けなかったら一緒に行く。
生活困窮者がいらっしやることを聞きますが、どの程度の方が逼迫しているのかわかりません。生活保護を受けて生活されている方もいると思いますが、どういう審査をされて決定するのか？その後も受給者を調査しているのか、できる範囲で公表した方がよいのでは。
若年層に対しては、企業と連携し、当事者に労働を通じて、人間らしい生活を実感する機会をつくる。
活動への学習、研修の実施、人材活用を図り、地域への浸透を推進する。（行政主導の推進が必要）＝関係団体などの共働。
制度の周知。
自治会に対して研修の機会をつくっていく。市の広報などでの啓蒙。市からの回覧への情報提供。情報の伝達方法を確立することが必要だと思う。
市や社会福祉協議会の積極的な啓発活動。
周知の徹底。
わかりやすい資料と地区説明。
地域での広報活動。
担当機関による広報や研修を住民に実施する。
すべてチラシなどの広報活動で周知。
いずれの制度についても一般市民の認知度は低く、各区の班長会や役員会などに参加し周知の努力などしたらどうでしょう。気長に。
チラシなどの配布。
TVなどメディアで広く紹介。
自立支援サポーターの専門方でないと民生委員、児童委員では負担がかかるので、難しい。
地域（区）で取り組むには難しい。
区の活用。
民生委員の一層の活用。
個人情報がかましい現在、取り組める立場の人は、民生児童委員であり、この人達が動いてもらいたい。
福祉関係、イベントでのチラシ配布。
連携の拡大。
制度についての説明会の実施。チラシなどによる広報活動。
支援する側の知識と連携意識。
まずは行政、属性を外して教育、福祉、労働など関係支援機関の職員に対しての事業内容の説明や事

例検討の場を定期的に作っていく。支援者の理解が深まれば支援が必要な家庭にも深まっていくことが予想される。他の事項についても同じ。
使うことを恥ずかしいと感じている方は多いと思います。気軽に利用できる環境づくりを。
紙面ではなく、地域の福祉座談会などでの住民に対する直接の説明。
みやざき安心セーフティネット事業との違いがよくわかりません。
いずれの事業も総合相談窓口があって活かされるものと思いますので、受けた相談を適切に振り分けられるよう公共性の高い体制化された組織と教育された従事者および隅々まで行きわたる総合相談窓口の広報活動が必要ではないでしょうか。
今は SNS の時代なので、若い世代の方に情報を知ってもらうのには、Twitter などの活用を考えてみるのはどうでしょうか。チラシなど文章を読まない時代の流れがあるので、小・中・高の学生向けには、例えばアニメなどで学校で紹介してもらおう。高齢者には地区の公民館などで話を聞いてもらうなど。④⑤に関しては、特に地域の方の協力が必要とされるので何かしら意識していただいくことが大切ではないでしょうか。自分もそうですが文章を読むのは苦手。体験談や話を聞くことの方がより理解しやすいです。
「こんな取り組みをしています」といった明確な提示（のぼり旗など）。
当事者が必要に迫られないと直面しないことなので、一般の人の周知は困難だと思う。広報があるのでそれが一番よいと思うが、区の加入が少ないので啓発を図ることが大事。スマホでの情報発信もかなり有効。以下の項目についても同じです。
制度を活用してもらうために、仕組み（手続き）を簡略化する必要があると思う。
広報誌や SNS などを活用した情報発信。
※すべてのことについて言えること。社協だよりやチラシなどで周知し続けていく。イラストや写真を使ってわかりやすく伝えてほしい。
まずは関係事業所を対象とした制度内容や活用方法の説明会を開催していただきたい。
「生活困窮者」のための制度なので活用しづらい方は多いと考えられる。利用しやすい環境整備。
地域住民への啓発活動。
市報や社協だよりにて頻繁に啓発する。
制度理解のための周知。
事例などの情報を広報誌などで掲載したり、会合などで聞ける環境などがあればよいと思います。
見やすく分かりやすいパンフレット（地域にいる支援者が説明しやすいようなもの）。
地域住民への啓発活動。
いずれも、関係機関同士で集まる場で、共有することが必要だと思います。特にケース検討会などで具体的な活用方法を共有するとよいのではないかと思います。
いずれも啓発が必要ではないだろうか。
まだまだ認知度が低いように思われるので啓発の取り組みが必要。

■ 成年後見制度について

個別にきめ細かく親身になって対応していくことが基本で公にしてはいけないもの（個人の尊厳）を大切にすべき。
訪問活動で普通の会話であまり深く事情を聞くことなく回数を重ねる。
広報などを活用した PR 活動の強化。
全世帯の区への参加。市の広報など本当に読んでほしい人は区に入っていない。
民生委員・児童委員をしていますので、この様な制度があることはわかっていますが、民生委員が訪問してこの様な取組みがありますと言えない。一例ですが、民生委員が訪問すると生活保護を受けているように近隣に思われるので訪問しないでくれと言われた。実際この方は、生活保護を受けている方です。それぞれの関係機関で PR とか訪問を行った方が理解されるのでは！？個人のプライドが高く制度を利用したいとの声きたら、私はパイプ役に努力します。
問 13①～⑤＝1 年間（12 ヶ月）、噛み砕く様に公民館と広報誌で子どもから高齢者に伝えていく。実際関わったことがある。難儀であった（司法書士や家庭裁判等）。
集会の場などを利用し、地道に話をしていく。
一般的には、本人の代わりに代行することが多くなるので、信頼のおける人の選定、公証役場での書類の簡略化。
民児協と関係機関の定期的ケース会連携。
研修などでしても人に伝える範囲は限られます。広報などでひとつずつ特集という形で大きく取り上げた方が印象には残るし、手元に資料が残るので必要な人はすぐ問い合わせ、確認などできると思います。自分の視力が落ちて思うのは小さい記事は読みづらいです。今月はこれに関して特集という感じで図入りとかで大きく取り上げた方がよいと思います。勿論、研修なども必要と思います。
年に 1 回でもよいので、地域の公民館で説明会があるとよいと思う。
少子高齢化（ひとり暮らし）が進み親戚、身内が少なく利用者が多くなると思われる。
「広報ひゅうが」などを活用してもっとアピールが必要だと思います。
広報ひゅうがや社協だよりでコーナーを設け説明をしていく。
制度の活用の実例が今までないので、いきいきサロンなどの中で研修をやりたいです。
目配り、気配り、思いやり、笑顔でのコミュニケーション。
地域毎の説明や研修会、パンフレット（見やすく、カラー刷り）。
社協だよりや市の広報などで目にはしますが、わかりやすい内容のチラシを年に 2 回程度広報誌と一緒に配布し、周知を図ってはどうでしょうか。皆が知ることが一番大事だと思います。
日頃の活動の中で必要と思われる人の早めの相談と行政へのつながりが必要。
わかりやすく劇などで広報活動をする。
法務省がこの制度の不便さが指摘されてきたため、大幅に改正されたと新聞で知り、その内容の研修が必要と考える。
身近に（手元に）携帯できるよう、大事なものの裏（保険証の裏とか）に表示したら知ってもらえるかな？
市報にてくわしく説明をのせる。
パンフを公民館に置かせていただくとか。
学校でお金や契約などについて学ぶ時間を増やしてもよいと思う。

活動への学習、研修の実施、人材活用を図り、地域への浸透を推進する。（行政主導の推進が必要） ＝関係団体などの共働。
制度の周知。
自治会に対して研修の機会をつくっていく。市の広報などでの啓蒙。市からの回覧への情報提供。 認知が低いと思うので、いろいろな方法を使って制度やその取り組みを告知する！
市や社会福祉協議会の積極的な啓発活動。
わかりやすい資料と地区説明。
担当機関による広報や研修を住民に実施する。
いずれの制度についても一般市民の認知度は低く、各区の班長会や役員会などに参加し周知の努力などしたらどうでしょう。気長に。
チラシなどの配布。
TVなどメディアで広く紹介。
専門職業の方がよいと思います。
地域（区）で取り組むには難しい。
区の活用。
研修講座などで知ってはいますが、マスコミなどで悪例も報道されていますね。
個人情報がかましい現在、取り組める立場の人は、民生児童委員であり、この人達が動いて身内の 人へ、制度主旨を説明すべきだ。
福祉関係、イベントでのチラシ配布。
実際制度を利用したときの問題も多い。まずは制度の勉強会をしてほしい。
制度についての説明会の実施。チラシなどによる広報活動。
現在の成年後見制度は問題点が多い。被後見人やその家族その声が反映さえない。家族の考え方も 強権的である。改革必要。
支援する側の知識と連携意識。
制度のわかりやすい説明資料。申請にかかる費用を払えないことから利用できない人もいるので、 一旦どこかに費用負担してもらい、後見人などがついてから分割で払える仕組みづくり。
まずは行政、属性を外して教育、福祉、労働など関係支援機関の職員に対しての事業内容の説明や事 例検討の場を定期的に作っていく。支援者の理解が深まれば支援が必要な家庭にも深まっていくこ とが予想される。他の事項についても同じ。
紙面ではなく、地域の福祉座談会などでの住民に対する直接の説明。
成年後見制度を必要とされている方のニーズの把握。
いずれの事業も総合相談窓口があって活かされるものと思いますので、受けた相談を適切に振り分 けられるよう公共性の高い体制化された組織と教育された従事者および隔々まで行きわたる総合相 談窓口の広報活動が必要ではないでしょうか。
当事者が必要に迫られないと直面しないことなので、一般の人の周知は困難だと思う。広報がある のでそれが一番よいと思うが、区の加入が少ないので啓発を図ることが大事。スマホでの情報発信 もかなり有効。以下の項目についても同じです。
学校教育の場で、活動内容の紹介をし、小中学生の段階で一度は知る環境をつくる必要がある。
広報誌やSNSなどを活用した情報発信。

※すべてのことについて言えること。社協だよりやチラシなどで周知し続けていく。イラストや写真を使ってわかりやすく伝えてほしい。
まずは関係事業所を対象とした制度内容や活用方法の説明会を開催していただきたい。
本人の意思に反しての財政管理や契約などについては、「犯罪」であると認識してもらおう。
地域住民への啓発活動。
制度理解のための周知。
事例などの情報を広報誌などで掲載したり、会合などで聞ける環境などがあればよいと思います。
包括など関係機関と協働して制度についての説明会。
地域住民への啓発活動。
いずれも、関係機関同士で集まる場で、共有することが必要だと思います。特にケース検討会などで具体的な活用方法を共有するとよいのではないかと思います。
高齢化などによりますますこの制度の充実が望まれる。

■再犯防止に関する取り組みについて

個別にきめ細かく親身になって対応していくことが基本で公にしてはいけないもの（個人の尊厳）を大切にすべき。
求められることだけに答える。先ずは何でも聞いてやる。
広報などを活用した PR 活動の強化。
全世帯の区への参加。市の広報など本当に読んでほしい人は区に入っていない。
民生委員・児童委員をしていますので、この様な制度があることはわかっていますが、民生委員が訪問してこの様な取り組みがありますと言えない。一例ですが、民生委員が訪問すると生活保護を受けているように近隣に思われるので訪問しないでくれと言われた。実際この方は、生活保護を受けている方です。それぞれの関係機関で PR とか訪問を行った方が理解されるのでは！？個人のプライドが高く制度を利用したいとの声きたら、私はパイプ役に努力します。
問 13①～⑤＝1年間（12ヶ月）、噛み砕く様に公民館と広報誌で子どもから高齢者に伝えていく。近隣に再犯者がいます（本人やご家族はつらいと思う）。先頃、警察車両数台が駐車していた（また～？不安に思う）。※本人やご家族へのメンタルケア必要。大胆に民児協などの活動をお願いする。集会の場などを利用し、地道に話をしていく。
民児協と関係機関の定期的ケース会連携。
研修などでしても人に伝える範囲は限られます。広報などでひとつずつ特集という形で大きく取り上げた方が印象には残るし、手元に資料が残るので必要な人はすぐ問い合わせ、確認などできると思います。自分の視力が落ちて思うのは小さい記事は読みづらいです。今月はこれに関して特集という感じで図入りとかで大きく取り上げた方がよいと思います。勿論、研修なども必要と思います。
ニュースでよく耳にするが、一度入所すると再犯し元のもくあみ（住まいと三度の食事）。
「広報ひゅうが」などを活用してもっとアピールが必要だと思います。
広報ひゅうがや社協だよりでコーナーを設け説明をしていく。
実情がよく理解できずに民生委員として何をすべきか勉強が足りていないので答えづらいですね。
目配り、気配り、思いやり、笑顔でのコミュニケーション。
地域毎の説明や研修会、パンフレット（見やすく、カラー刷り）。

社協だよりや市の広報などで目にはしますが、わかりやすい内容のチラシを年に2回程度広報誌と一緒に配布し、周知を図ってはどうでしょうか。皆が知ることが一番大事だと思います。
保護司からの協力依頼があれば協力する。
本人の生活環境の理解と受入れ。
わかりやすく劇などで広報活動をする。
身近に（手元に）携帯できるよう、大事なものの裏（保険証の裏とか）に表示したら知ってもらえるかな？
市報にてくわしく説明をのせる。
活動への学習、研修の実施、人材活用を図り、地域への浸透を推進する。（行政主導の推進が必要）＝関係団体などの共働。
制度の周知。
自治会に対して研修の機会をつくっていく。市の広報などでの啓蒙。市からの回覧への情報提供。
認知が低いと思うので、いろいろな方法を使って制度やその取り組みを告知する！
市や社会福祉協議会の積極的な啓発活動。
わかりやすい資料と地区説明。
担当機関による広報や研修を住民に実施する。
いずれの制度についても一般市民の認知度は低く、各区の班長会や役員会などに参加し周知の努力などしたらどうでしょう。気長に。
チラシなどの配布。
区執行部、区民全体で防犯防止につとめる。
TVなどメディアで広く紹介。
社会復帰させることに対して理解は分かるけれど、対応するのは難しい。
地域（区）で取り組むには難しい。
区の活用。
福祉関係、イベントでのチラシ配布。
関係機関は、連携先を柔軟に幅広くしては…？
制度についての説明会の実施。チラシなどによる広報活動。
支援する側の知識と連携意識。
まずは行政、属性を外して教育、福祉、労働など関係支援機関の職員に対しての事業内容の説明や事例検討の場を定期的に作っていく。支援者の理解が深まれば支援が必要な家庭にも深まっていくことが予想される。他の事項についても同じ。
受け入れる社会づくりは大変難しいですが、この様な取り組みに関しても地域の福祉座談会などでの住民に対する直接の説明があるとよいと思います。
自分もよく知らないので、インターネットなどで調べようと思います。
いずれの事業も総合相談窓口があって活かされるものと思いますので、受けた相談を適切に振り分けられるよう公共性の高い体制化された組織と教育された従事者および隅々まで行きわたる総合相談窓口の広報活動が必要ではないでしょうか。
当事者が必要に迫られないと直面しないことなので、一般の人の周知は困難だと思う。広報があるのでそれが一番よいと思うが、区の加入が少ないので啓発を図ることが大事。スマホでの情報発信

もかなり有効。以下の項目についても同じです。
学校教育の場で、活動内容の紹介をし、小中学生の段階で一度は知る環境をつくる必要がある。
広報誌や SNS などを活用した情報発信。
※すべてのことについて言えること。社協だよりやチラシなどで周知し続けていく。イラストや写真を使ってわかりやすく伝えてほしい。
まずは関係事業所を対象とした制度内容や活用方法の説明会を開催していただきたい。
「犯罪」からの更生を自覚し、地域住民の信用と理解を得るためのサポート支援方法の明確化。
地域住民への啓発活動。
制度理解のための周知。
事例などの情報を広報誌などで掲載したり、会合などで聞ける環境などがあればよいと思います。
出前講座。
地域住民への啓発活動。
いずれも、関係機関同士で集まる場で、共有することが必要だと思います。特にケース検討会などで具体的な活用方法を共有するとよいのではないかと思います。
罪を犯した人が立ち直り、社会に溶け込めるように地域の理解と協力を深める。

■重層的支援体制整備事業について

個別にきめ細かく親身になって対応していくことが基本で公にしてはいけないもの（個人の尊厳）を大切にすべき。
広報などを活用した PR 活動の強化。
全世帯の区への参加。市の広報など本当に読んでほしい人は区に入っていない。
協力してくれる人がいればよいと思う。
民生委員・児童委員をしていますので、この様な制度があることはわかっていますが、民生委員が訪問してこの様な取り組みがありますと言えない。一例ですが、民生委員が訪問すると生活保護を受けているように近隣に思われるので訪問しないでくれと言われた。実際この方は、生活保護を受けている方です。それぞれの関係機関で PR とか訪問を行った方が理解されるのでは！？個人のプライドが高く制度を利用したいとの声がきたら、私はパイプ役に努力します。
問 13①～⑤＝1 年間（12 ヶ月）、噛み砕く様に公民館と広報誌で子どもから高齢者に伝えていく。地域一体→支援体制。※重層～…って（？）ほとんど知らないでしょう。
集会の場などを利用し、地道に話をしていく。
民児協と関係機関の定期的ケース会連携。
研修などでも人に伝える範囲は限られます。広報などでひとつずつ特集という形で大きく取り上げた方が印象には残るし、手元に資料が残るので必要な人はすぐ問い合わせ、確認などできると思います。自分の視力が落ちて思うのは小さい記事は読みづらいです。今月はこれに関して特集という感じで図入りとかで大きく取り上げた方がよいと思います。勿論、研修なども必要だと思います。
くらしの困りごと支援として子ども食堂など、もう少し PR 活動。
「広報ひゅうが」などを活用してもっとアピールが必要だと思います。
広報ひゅうがや社協だよりでコーナーを設け説明をしていく。
消防団員の方達とのつながりをもっと持つべきだと考えます。

目配り、気配り、思いやり、笑顔でのコミュニケーション。
地域毎の説明や研修会、パンフレット（見やすく、カラー刷り）。
社協だよりや市の広報などで目にはしますが、わかりやすい内容のチラシを年に2回程度広報誌と一緒に配布し、周知を図ってはどうでしょうか。皆が知る事が一番大事だと思います。
区役員としての位置づけの他に、ボランティアとしての部員の参加に広げた方がよい。
わかりやすく劇などで広報活動をする。
身近に（手元に）携帯できるよう、大事なものの裏（保険証の裏とか）に表示したら知ってもらえるかな？
市報にてくわしく説明をのせる。
この事業については知りませんでした。この事業と福祉部が繋がっていたのですね。重層的支援体制整備、少しわかりにくくないですか言葉…。
区長連合会にお願いして、福祉部の設置や参考にしたたり、誰もが利用しやすい環境づくりの一環として「地域福祉部について」や、福祉に関するパンフレットを置いてもらう。
役員のなり手もなく、新たに設置しても結局同じ人が重複して活動することになるのが現状です。
活動への学習、研修の実施、人材活用を図り、地域への浸透を推進する。（行政主導の推進が必要）＝関係団体などの共働。
制度の周知。
自治会に対して研修の機会をつくっていく。市の広報などでの啓蒙。市からの回覧への情報提供。
各自治体の現状はどれもそれぞれ厳しい、これからさらに難しくなる。問題は、役員や班長のなり手が少なくなっていること。
責任のある地位になると、なる人がいないが、私達の区は体調のこと、困っていることを班の福祉部、民生委員と相談している。
市や社会福祉協議会の積極的な啓発活動。
社会福祉協議会職員の増員。
わかりやすい資料と地区説明。
担当機関による広報や研修を住民に実施する。
いずれの制度についても一般市民の認知度は低く、各区の班長会や役員会などに参加し周知の努力などしたらどうでしょう。気長に。
チラシなどの配布。
地域福祉が企画する催しに参加していただいてコミュニケーションを図ることで地域に溶け込みやすくなる。
区役員などその他の日頃の活動を減らし、研修会を開いて意識、行動力を高める。
区の活用。
区の福祉部ができたが何もしていない。
長年の活動で、地域福祉部設置の働きかけをやったが、実現しない。地域福祉サポーターの養成、活動が急務。
福祉関係、イベントでのチラシ配布。
年代ごとの委員で組織中学生から～。
制度についての説明会の実施。チラシなどによる広報活動。

支援する側の知識と連携意識。
まずは行政、属性を外して教育、福祉、労働など関係支援機関の職員に対しての事業内容の説明や事例検討の場を定期的に作っていく。支援者の理解が深まれば支援が必要な家庭にも深まっていくことが予想される。他の事項についても同じ。
住民自ら自分のこととして捉えることができるようなワークショップなどの開催。
令和3年度より施行されたこの制度を知りませんでした。今後制度について精通したいと思います。
いずれの事業も総合相談窓口があって活かされるものと思いますので、受けた相談を適切に振り分けられるよう公共性の高い体制化された組織と教育された従事者および隅々まで行きわたる総合相談窓口の広報活動が必要ではないでしょうか。
当事者が必要に迫られないと直面しないことなので、一般の人の周知は困難だと思う。広報があるのでそれが一番よいと思うが、区の加入が少ないので啓発を図ることが大事。スマホでの情報発信もかなり有効。以下の項目についても同じです。
学校教育の場で、活動内容の紹介をし、小中学生の段階で一度は知る環境をつくる必要がある。
広報誌や SNS などを活用した情報発信。
※すべてのことについて言えること。社協だよりやチラシなどで周知し続けていく。イラストや写真を使ってわかりやすく伝えてほしい。
まずは関係事業所を対象とした制度内容や活用方法の説明会を開催していただきたい。
どのようにして若い世代を取り込むか、魅力的な活動であることの情報発信。
地域住民への啓発活動。
各支援団体に行政や社会福祉協議会より啓発が必要。
制度理解のための周知。
事例などの情報を広報誌などで掲載したり、会合などで聞ける環境などがあればよいと思います。
地域住民への啓発活動。
いずれも、関係機関同士で集まる場で、共有することが必要だと思います。特にケース検討会などで具体的な活用方法を共有するとよいのではないかと思います。
自治区など地域社会のコミュニティへの積極的な加入促進が必要。

■避難行動要支援者対策について

個別にきめ細かく親身になって対応していくことが基本で公にはいけないもの（個人の尊厳）を大切にすべき。
なかなか現実的には無理があるようです。協力者、支援者自身が高齢であったり 1 人暮らしであったりするからです。要支援者は避難場所で居場所がないようです。
広報などを活用した PR 活動の強化。
全世帯の区への参加。市の広報など本当に読んでほしい人は区に入っていない。
どこに避難すればよいか？などの話しは訪問した時に話している。
民生委員・児童委員をしていますので、この様な制度があることはわかっていますが、民生委員が訪問してこの様な取組みがありますと言えない。一例ですが、民生委員が訪問すると生活保護を受けているように近隣に思われるので訪問しないでくれと言われた。実際この方は、生活保護を受けている方です。それぞれの関係機関で PR とか訪問を行った方が理解されるのでは！？個人のプライド

<p>が高く制度を利用したいとの声きたら、私はパイプ役に努力します。</p>
<p>問 13①～⑤＝1年間（12ヶ月）、噛み砕く様に公民館と広報誌で子どもから高齢者に伝えていく。 この夏大雨による災害や復興がおきている（実際の民児協の活動を知りたい）。</p>
<p>歩行困難や障がいのある方の避難はどうしても隣近所の協力が必要になるのでは。</p>
<p>地域住民とのつながり。</p>
<p>公民館が古くて避難場所があやうい。</p>
<p>防災について。障がい者、要介護者、引きこもりの方など、地域で支えるための仕組みづくり。別府市のように、災害ケアプランを作成したり、地域の人達皆で要支援者がどういう特性で、避難するにはどういう方法が必要か公民館などで話しあい、実際に全体で避難訓練を実施してほしい。他県や他市ではすでに実行されています。他市をモデルとして日向市で実施することはできないのか？</p>
<p>集会の場などを利用し、地道に話をしていく。</p>
<p>宮崎県庁マップでの避難場所が決まっているので、各班の班長を中心にした話し合いで、支援行動を決める。</p>
<p>7月の役員会、班長会で要支援者の存在、地図を各班、班長さんで共有できました。</p>
<p>研修などでも人に伝える範囲は限られます。広報などでひとつずつ特集という形で大きく取り上げた方が印象には残るし、手元に資料が残るので必要な人はすぐ問い合わせ、確認などできると思います。自分の視力が落ちて思うのは小さい記事は読みづらいです。今月はこれに関して特集という感じで図入りとかで大きく取り上げた方がよいと思います。勿論、研修なども必要だと思います。</p>
<p>名簿登録者は災害時には助けに来てもらえると勘違いされている方が多いので説明不足である。</p>
<p>高齢化率が高くなりひとり暮らしや免許返納して車のない家庭が増えているので、避難先までの送迎を考えてあげないと困る。</p>
<p>「広報ひゅうが」などを活用してもっとアピールが必要だと思います。</p>
<p>市と区が連携をとる。大王谷区では名簿に記載された人の家庭を防災部長が中心になり聞き取り調査をします。区長、民生委員も同行し、各家庭の本人の事情を知ることが目的です。</p>
<p>春原区の場合、区長さんとの共有がしっかりできていますので、少し安心しています。</p>
<p>目配り、気配り、思いやり、笑顔でのコミュニケーション。</p>
<p>地域毎の説明や研修会、パンフレット（見やすく、カラー刷り）。</p>
<p>社協だよりや市の広報などで目にはしますが、わかりやすい内容のチラシを年に2回程度広報誌と一緒に配布し、周知を図ってはどうでしょうか。皆が知ることが一番大事だと思います。</p>
<p>本人、家族、行政などが協力して個人計画が必要だと思う。</p>
<p>地域住民の認識と協力が必要だが、個人情報共有を本人に認めていただく努力をする。</p>
<p>わかりやすく劇などで広報活動をする。</p>
<p>身近に（手元に）携帯できるよう、大事なものの裏（保険証の裏とか）に表示したら知ってもらえるかな？</p>
<p>市報にてくわしく説明をのせる。</p>
<p>時期に応じて市報や社協だよりで広報することと併せて、区員や民生委員、児童委員等で危険が予想される場所に住み名簿へ記載されていない方への制度の個別周知活動。</p>
<p>地区防災計画策定中。</p>
<p>避難訓練、講習が必要と思う。</p>

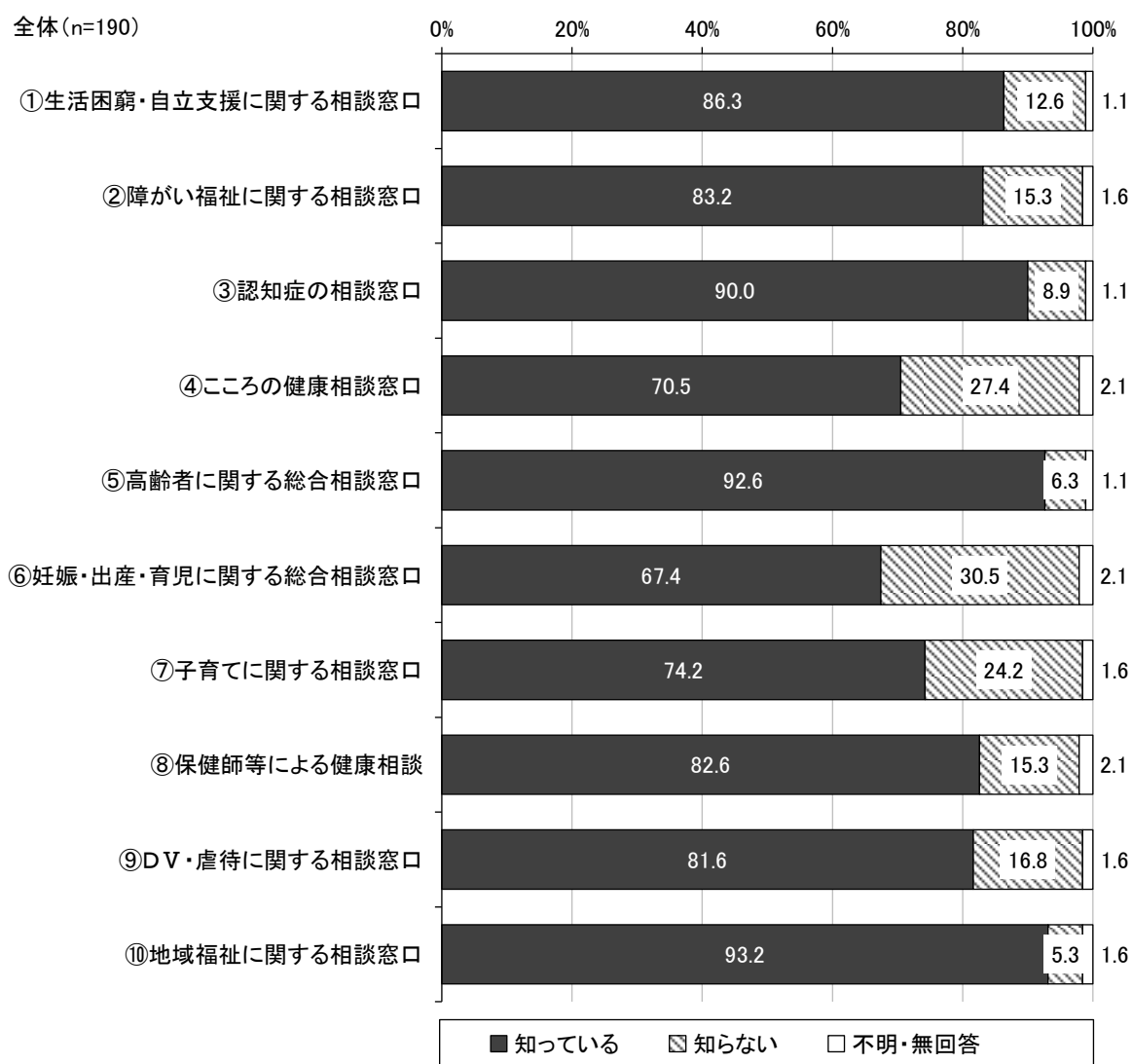
ひとりひとりの支援計画が必要である。
名簿を自治会（自主防災）に提供するにとどまっておらず、具体的な対策などは協議されていないのが現状では？
活動への学習、研修の実施、人材活用を図り、地域への浸透を推進する。（行政主導の推進が必要）＝関係団体などの共働。
制度の周知。
自治会に対して研修の機会をつくっていく。市の広報などでの啓蒙。市からの回覧への情報提供。
その地域の現状に合わせた避難計画が必要だと思うが、こちら辺は、災害に対する意識が低いと思うので低いなり避難訓練を考える必要があるのではないのでしょうか。
要支援者名簿の有効活用。
具体的取り組み。
わかりやすい資料と地区説明。
防災訓練と連動した日常の活動。
担当機関による広報や研修を住民に実施する。
年齢と独居だけで作成されているような名簿は、単に要支援者の数を増やすだけ。もっと面接などの調査に基づき作成してもらいたい。
個人情報保護とは言いながらその様な人々のことを地区内に知らせておくことが大事。
いずれの制度についても一般市民の認知度は低く、各区の班長会や役員会などに参加し周知の努力などしたらどうでしょう。気長に。
チラシなどの配布。
区長、執行部、民生委員、社会福祉協議会などで個人、団体などに対し声をかける。
市町村よりいろんな情報をいただいても東北のような津波が発生した場合は対処が難しいと考えられます。
広見区は水害の多い所で対策をお願いしたい。
区役員などその他の日頃の活動を減らし、研修会を開いて意識、行動力を高める。（要支援者名簿の作成だけでは成果見込めない）。
区の活用。
やっと区の役員会で承認し、班長に指示された。
今年、再希望者の調査があったが、文書回答でなく口頭調査が必要ではないか。本人判断ができない人、中身が理解できない人もいる。
福祉関係、イベントでのチラシ配布。
日頃からの交流。
制度についての説明会の実施。チラシなどによる広報活動。
とてもよい制度だと思うが、登録者も少なく、障がい者自身もあまり積極的でないように感じる。この要支援者対策の目的や、具体的な支援についてわかりやすく説明して理解を深める必要がある。
支援する側の知識と連携意識。
精神障がい者本人が他者に精神障がいがあることを知られたくないと思っていたり、知ってもらってもよいが信頼できる人であるならばとの意見があったので、偏見差別のない社会づくり。
まずは行政、属性を外して教育、福祉、労働など関係支援機関の職員に対しての事業内容の説明や事

<p>例検討の場を定期的に作っていく。支援者の理解が深まれば支援が必要な家庭にも深まっていくことが予想される。他の事項についても同じ。</p>
<p>対象者も参加していただく避難訓練など。</p>
<p>予め、要支援者の支援担当者を具体的に決めておくことができたらと思います。</p>
<p>いずれの事業も総合相談窓口があって活かされるものと思いますので、受けた相談を適切に振り分けられるよう公共性の高い体制化された組織と教育された従事者および隅々まで行きわたる総合相談窓口の広報活動が必要ではないでしょうか。</p>
<p>本人了承の元、ここにはこんな要支援者がいます。といった地図のようなものを作成して、近くの施設などに配布する。</p>
<p>当事者が必要に迫られないと直面しないことなので、一般の人の周知は困難だと思う。広報があるのでそれが一番よいと思うが、区の加入が少ないので啓発を図ることが大事。スマホでの情報発信もかなり有効。以下の項目についても同じです。</p>
<p>自主避難できない人の把握より、避難しやすい場所を各地域に早急に設定する必要がある。</p>
<p>広報誌や SNS などを活用した情報発信。</p>
<p>※すべてのことについて言えること。社協だよりやチラシなどで周知し続けていく。イラストや写真を使ってわかりやすく伝えてほしい。</p>
<p>まずは関係事業所を対象とした制度内容や活用方法の説明会を開催していただきたい。</p>
<p>「ハザードマップ」は、高齢者にはわかりづらく、簡略化したパンフレットの作成。</p>
<p>地域住民への啓発活動。</p>
<p>地域住民に十分な説明が必要。</p>
<p>制度理解のための周知。</p>
<p>事例などの情報を広報誌などで掲載したり、会合などで聞ける環境などがあればよいと思います。</p>
<p>地域住民への啓発活動。</p>
<p>いずれも、関係機関同士で集まる場で、共有することが必要だと思います。特にケース検討会などで具体的な活用方法を共有するとよいのではないかと思います。</p>
<p>命を守る重要な対策でありもっと地域の中の理解を深める。</p>
<p>防災と地域福祉活動に関する活動は何れも住民の生命や健康に直結するものであり、自治会コミュニティを如何に持続可能なものにするかだと思う。従って、地域のつながりが薄れている現代において、まずはしっかりと持続可能な自治会運営ができるように、市や社会福祉協議会などからのサポートも必要と考える。</p>

問 15 以下の相談窓口について、知っていますか。また、困りごとのある地域の方についての相談をしたり、窓口を紹介したりするなど、活用をしたことがありますか。(それぞれ1つに○)。

相談窓口を知っているかについてみると、『④こころの健康相談窓口』『⑥妊娠・出産・育児に関する総合相談窓口』『⑦子育てに関する相談窓口』を除き、「ある」が8割を超えています。特に『③認知症の相談窓口』『⑤高齢者に関する総合相談窓口』『⑩地域福祉に関する相談窓口』では「ある」が、それぞれ90.0%、92.6%、93.2%と高くなっています。

■相談窓口を知っているか



【団体別クロス】

①生活困窮・自立支援に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	164 86.3	24 12.6	2 1.1
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	73 92.4	6 7.6	0 0.0
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	40 83.3	8 16.7	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	6 60.0	4 40.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	25 80.6	4 12.9	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

②障がい福祉に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	158 83.2	29 15.3	3 1.6
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	70 88.6	8 10.1	1 1.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	38 79.2	10 20.8	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	25 80.6	4 12.9	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

③認知症の相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	171 90.0	17 8.9	2 1.1
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	76 96.2	3 3.8	0 0.0
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	41 85.4	7 14.6	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	26 83.9	3 9.7	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

④こころの健康相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	134 70.5	52 27.4	4 2.1
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	57 72.2	20 25.3	2 2.5
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	32 66.7	16 33.3	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	22 71.0	7 22.6	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑤高齢者に関する総合相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	176 92.6	12 6.3	2 1.1
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	77 97.5	2 2.5	0 0.0
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	44 91.7	4 8.3	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	26 83.9	3 9.7	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑥妊娠・出産・育児に関する総合相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	128 67.4	58 30.5	4 2.1
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	54 68.4	23 29.1	2 2.5
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	31 64.6	17 35.4	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	24 77.4	5 16.1	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑦子育てに関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	141 74.2	46 24.2	3 1.6
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	65 82.3	13 16.5	1 1.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	31 64.6	17 35.4	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	25 80.6	4 12.9	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

⑧保健師等による健康相談

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	157 82.6	29 15.3	4 2.1
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	65 82.3	13 16.5	1 1.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	42 87.5	5 10.4	1 2.1
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	25 80.6	4 12.9	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑨DV・虐待に関する相談窓口

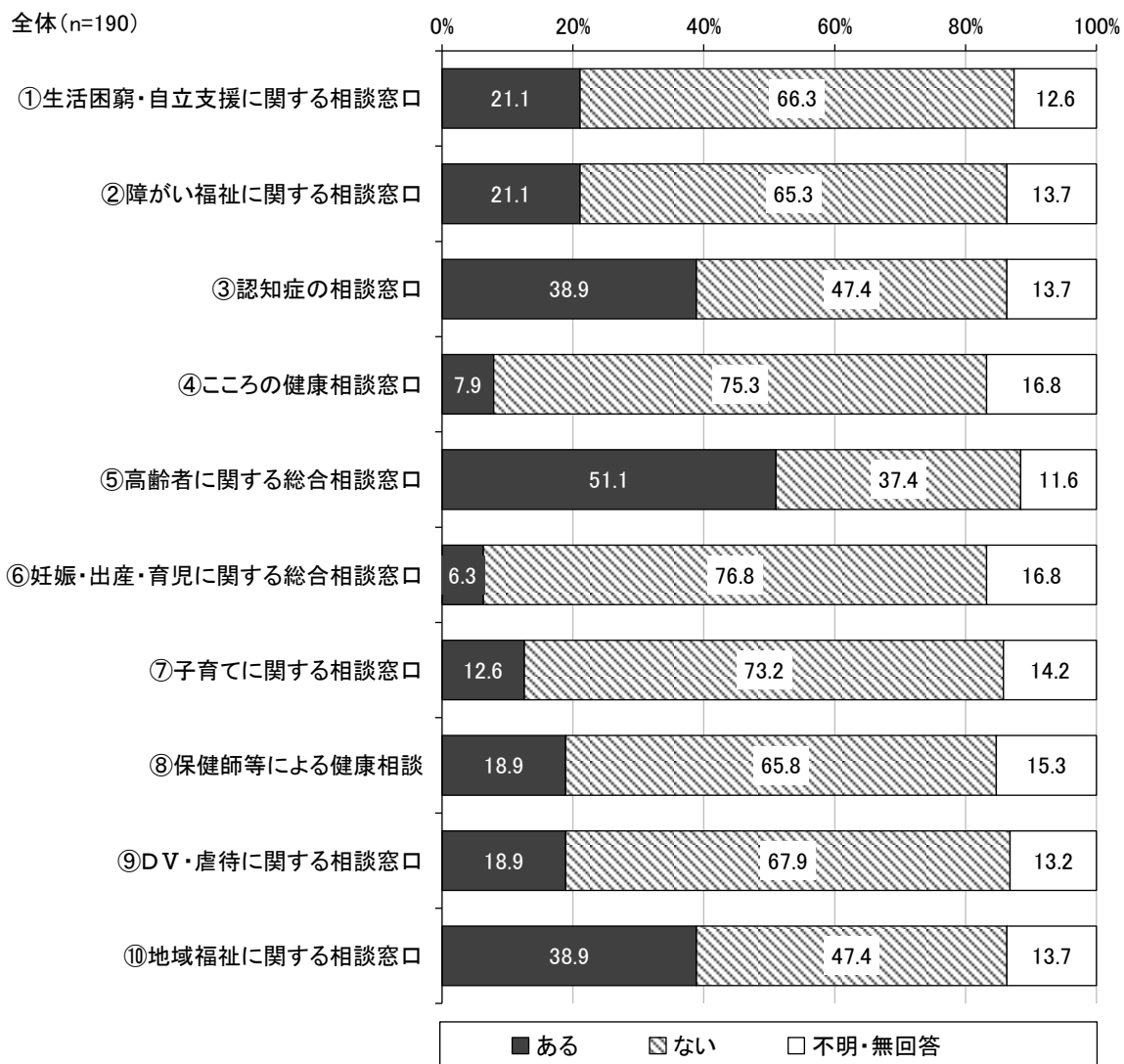
上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	155 81.6	32 16.8	3 1.6
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	66 83.5	12 15.2	1 1.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	37 77.1	11 22.9	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	25 80.6	4 12.9	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑩地域福祉に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	177 93.2	10 5.3	3 1.6
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	76 96.2	2 2.5	1 1.3
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	44 91.7	4 8.3	0 0.0
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	27 87.1	2 6.5	2 6.5
地域包括支援センター	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市小中学校校長会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

活用したことがあるかについてみると、『③認知症の相談窓口』『⑤高齢者に関する総合相談窓口』『⑩地域福祉に関する相談窓口』では他の相談窓口より「ある」の割合が高くなっています。

■活用したことがあるか



【団体別クロス】

①生活困窮・自立支援に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	40 21.1	126 66.3	24 12.6
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	19 24.1	51 64.6	9 11.4
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	3 6.3	39 81.3	6 12.5
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	12 38.7	15 48.4	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

②障がい福祉に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	40 21.1	124 65.3	26 13.7
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	10 12.7	57 72.2	12 15.2
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	6 12.5	36 75.0	6 12.5
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	0 0.0	7 70.0	3 30.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	12 38.7	15 48.4	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

③認知症の相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	74 38.9	90 47.4	26 13.7
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	45 57.0	24 30.4	10 12.7
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	10 20.8	32 66.7	6 12.5
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	11 35.5	16 51.6	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

④こころの健康相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	15 7.9	143 75.3	32 16.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	5 6.3	60 75.9	14 17.7
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	0 0.0	40 83.3	8 16.7
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	0 0.0	7 70.0	3 30.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	6 19.4	21 67.7	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

⑤高齢者に関する総合相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	97 51.1	71 37.4	22 11.6
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	57 72.2	15 19.0	7 8.9
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	16 33.3	27 56.3	5 10.4
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	13 41.9	14 45.2	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑥妊娠・出産・育児に関する総合相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	12 6.3	146 76.8	32 16.8
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	1 1.3	63 79.7	15 19.0
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	1 2.1	40 83.3	7 14.6
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	0 0.0	6 60.0	4 40.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	7 22.6	20 64.5	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

⑦子育てに関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	24 12.6	139 73.2	27 14.2
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	6 7.6	63 79.7	10 12.7
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	2 4.2	40 83.3	6 12.5
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	0 0.0	5 50.0	5 50.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	12 38.7	15 48.4	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

⑧保健師等による健康相談

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	36 18.9	125 65.8	29 15.3
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	15 19.0	52 65.8	12 15.2
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	8 16.7	34 70.8	6 12.5
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	1 10.0	5 50.0	4 40.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	8 25.8	19 61.3	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

⑨DV・虐待に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	36 18.9	129 67.9	25 13.2
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	14 17.7	55 69.6	10 12.7
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	2 4.2	39 81.3	7 14.6
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	11 35.5	16 51.6	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

⑩地域福祉に関する相談窓口

上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	不明・ 無回答
全体	190 100.0	74 38.9	90 47.4	26 13.7
日向市民生委員児童委員協議会	79 100.0	39 49.4	30 38.0	10 12.7
日向市区長公民館長連合会	48 100.0	12 25.0	30 62.5	6 12.5
日向市高齢者クラブ連合会	10 100.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0
日向市母子寡婦福祉連絡協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
日向市ボランティア連絡協議会	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
日向市障害者団体連絡協議会	5 100.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0
日向市社会福祉施設等連絡会	31 100.0	12 38.7	15 48.4	4 12.9
地域包括支援センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
日向市小中学校校長会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
日向保健所	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
東郷町商工会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
まちづくり協議会	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
保護司会	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
社会福祉協議会	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

■ 困りごとの相談などに関する意見

窓口をもう少しわかりやすくしてほしい。最初にどこに相談すれば良いかわからない。
ひとり暮らしの80歳以上の方に、ケアしてもらいたいです。区としては、できるだけことはやっていますが、あまり入れない所もあるので。
知識はあっても具体的な体験（研修）などがなければ何もできない。
ボランティアの役割でできることは限られます（特にデリケートな部分）が、ニーズがあれば検討させていただきます。
市内、福祉施設、事業所、団体、NPO法人、地域福祉と課題を考える。会議（ZOOM）で市民参加しやすい時間に？
市に相談しても親身になって動いてくれない。
保護者支援、子育て支援をお願いする場合、どうしても平日だと時間的に無理だという方がいるので、行政で土・日の対応ができない場合の手立てが必要です。

第4次日向市地域福祉計画策定のための
関係団体紙面インタビュー調査
結果報告書

発行:日向市役所 福祉部 福祉課 福祉政策係
TEL:0982-66-1019
FAX:0982-54-4350

発行年月:令和4年 10 月